

ごみ処理基本計画

平成29年3月

(第1回中間見直し 令和4年3月)

八幡平市

目 次

第1章	ごみ処理基本計画概要	1
第1節	計画策定の趣旨	1
第2節	計画の位置付け	2
第3節	計画対象区域	3
第4節	計画目標年次	4
第2章	関係法令・上位計画の状況	5
第1節	関係法令体系図	5
第2節	上位計画の状況	6
第3章	地域の概況	10
第1節	自然的状況	10
第2節	社会的状況	12
第4章	ごみ処理の現況	21
第1節	ごみ処理体系	21
第2節	ごみ処理体制	23
第3節	ごみ排出量及びごみ処理量の実績	29
第5章	現況の評価と課題の抽出	39
第1節	現況の評価	39
第2節	課題の抽出	44
第6章	計画処理量の予測	48
第1節	ごみの発生量及び処理量推計	49
第2節	減量化・資源化の目標設定	66
第7章	ごみ処理基本計画	76
第1節	基本方針	76
第2節	排出抑制・再資源化計画	77
第3節	中間処理計画	78
第4節	最終処分計画	78

第1章 ごみ処理基本計画概要

第1節 計画策定の趣旨

循環型社会の形成に向けては、家庭や事業所から排出されるごみは、単に燃やして埋める処理ではなく、できる限り排出を抑制することが必要である。また、廃棄物となったものについても、環境への負荷の低減に配慮しつつ、再使用や再生利用、熱回収の順で循環的な利用をすることが求められている。このように、排出抑制と循環的利用を徹底したうえで、なお循環的利用が行われぬものについては、適正な処分を行うべきとされている。

循環型社会形成のための基本的な枠組みとして、環境基本法（平成5年法律第91号）、循環型社会形成推進基本法（平成12年法律第110号）が制定されている。

これら各法に基づく「環境基本計画」及び「循環型社会形成推進基本計画」、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号。以下「廃棄物処理法」という。）に基づく「廃棄物処理法基本方針」によって、ごみの資源化・適正処理に関する市町村等の役割、廃棄物の減量等に関する目標値などが定められている。

八幡平市（以下「本市」という。）では、平成29年3月に上位計画となる関係法令や県計画、県内のごみ処理広域化の状況など、ごみ処理に関して本市を取り巻く現状と課題を整理し、本市としての今後のごみ処理の方向性や方策を明らかにした「ごみ処理基本計画（以下「本計画」という。）」を策定した。

今回、策定から5年が経過したことから中間見直しを行った。なお、上位計画である第2次八幡平市総合計画（後期基本計画）に盛り込まれているSDGs※（持続可能な開発目標）の理念に沿い、各施策に取り組んでいくこととする。後期基本計画では、本計画と関連性が高いゴール（目標）として、「11.住み続けられるまちづくりを」「13.気候変動に具体的な対策を」「17.パートナーシップで目標を達成しよう」の3つが掲げられており、計画の推進とともに各目標の達成に寄与していくこととする。



※SDGs（持続可能な開発目標）：2015年9月の国連サミットで採択され、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成されている。

第2節 計画の位置付け

廃棄物処理法第6条第1項の規定において、市町村は区域内の一般廃棄物の処理に関する計画（以下「一般廃棄物処理計画」という。）を定めなければならないとされている。

平成28年9月に改訂された国の「ごみ処理基本計画策定指針」により、一般廃棄物処理計画は、一般廃棄物の処理に関する基本的な事項について定める基本計画（一般廃棄物処理基本計画）及び当該基本計画の実施のために必要な各年度の事業について定める実施計画（一般廃棄物処理実施計画）から構成することが示されている。

また、それぞれ、ごみに関する部分（ごみ処理基本計画（本計画）及びごみ処理実施計画）と生活排水に関する部分（生活排水処理基本計画及び生活排水処理実施計画）から構成されている。

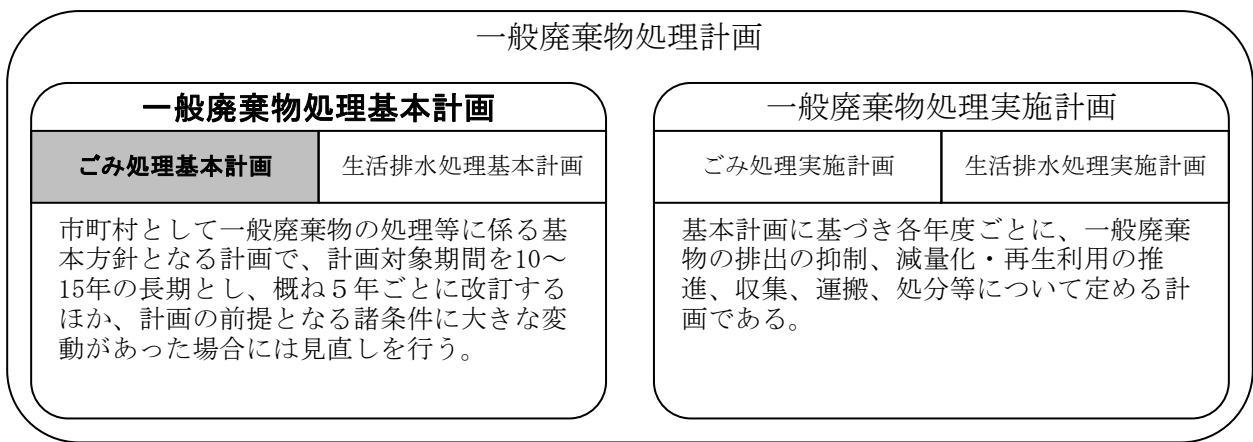


図1-2-1 一般廃棄物処理計画の構成と本計画の位置づけ

第3節 計画対象区域

本計画の対象区域は、本市全域とする。

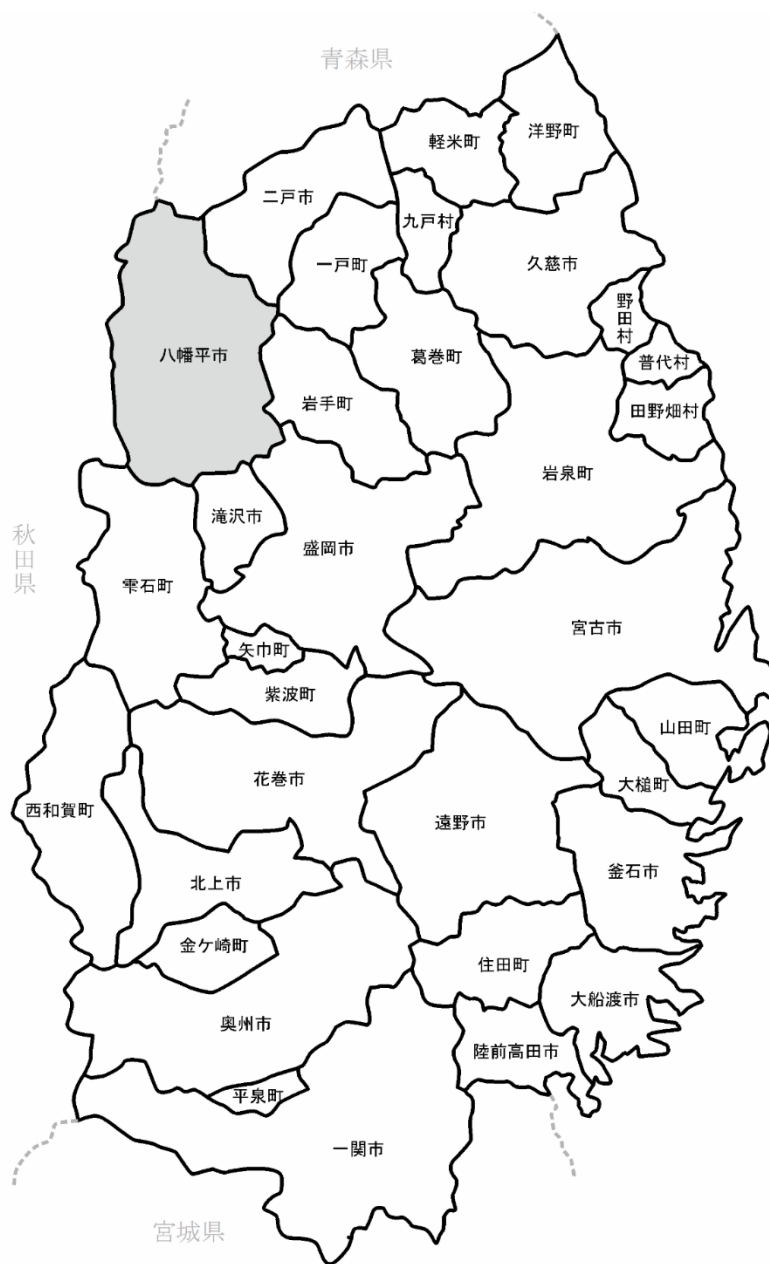


図1-3-1 計画対象区域

第4節 計画目標年次

本計画は、計画策定年度（平成28年度）を初年度とし、15年先の令和12年度を計画目標年次とし、見直しを5年ごとに行うものとする。

なお、諸条件に大きな変動のあった場合は、適宜見直しを行うものとする。

計画目標年次 = 令和12年度

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
計画期間・目標	前期					中期					後期				
	計画策定					計画見直し (今回)					計画見直し				計画目標年次

図1-4-1 計画の目標年次

第2章 関係法令・上位計画の状況

第1節 関係法令体系図

本計画に関係する法令及び上位計画の体系は下図のとおりである。

環境基本法及び循環型社会形成推進基本法による基本的枠組みのもと、一般的な枠組みが廃棄物処理法と資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号。）で定められており、さらに個別分野ごとに法令が整備されている。

また、岩手県はこれらの関係法令に基づき、「循環型社会形成推進計画（廃棄物処理計画）」を定めるとともに、広域処理を推進する目的で県内自治体を複数のブロックに区分して廃棄物処理施設の統廃合を目指した「岩手県ごみ処理広域化計画」を策定している。

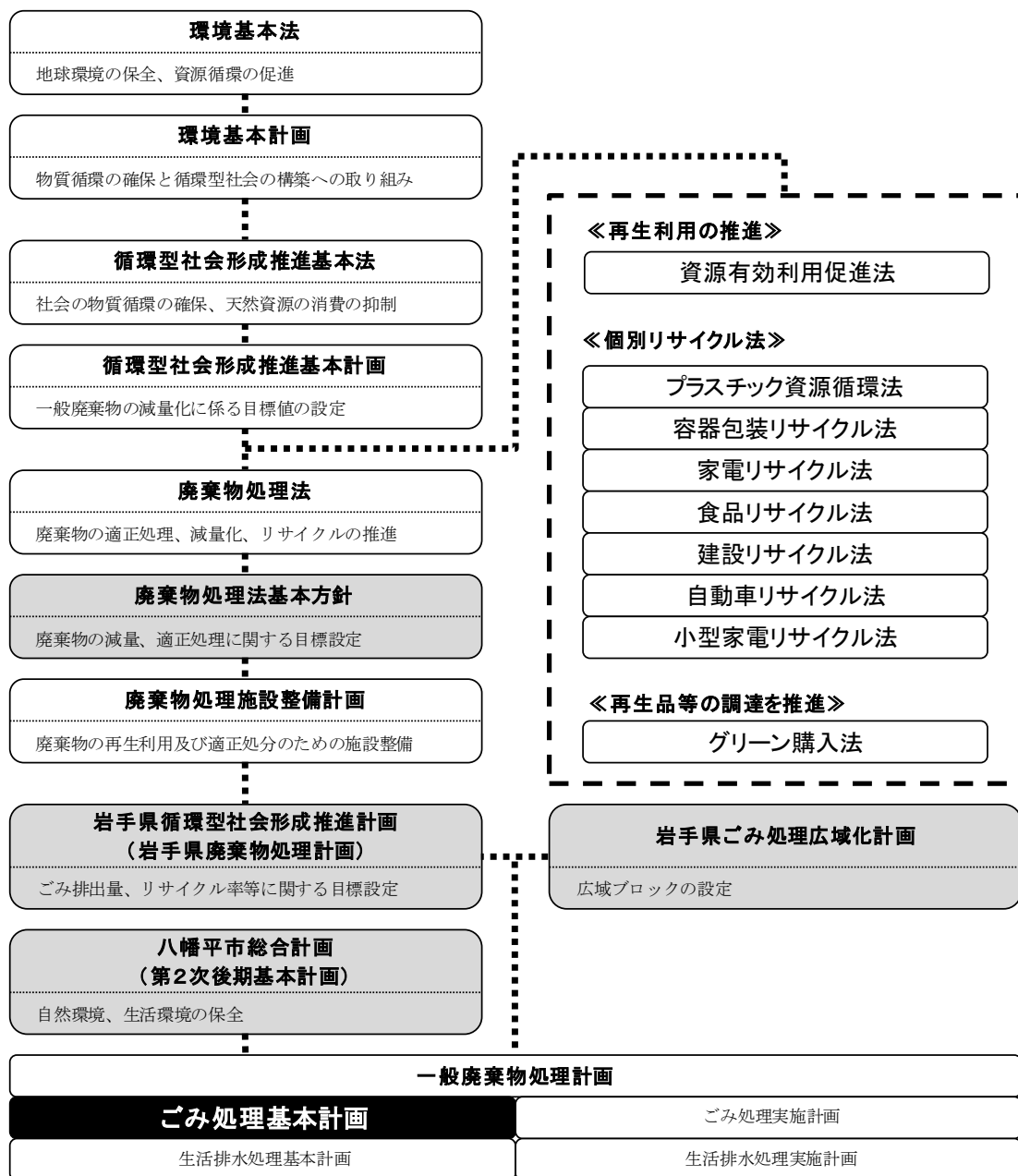


図2-1-1 関係法令・上位計画と本計画との関係

第2節 上位計画の状況

1. 廃棄物処理法基本方針（平成28年1月）

国は廃棄物処理法第5条の2第1項の規定に基づき、廃棄物の排出抑制、再生利用等による廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針（廃棄物処理法基本方針）」を策定している。

なお、廃棄物処理法基本方針は、主に令和2年度を目標年度としていたが、基本方針の内容に大幅な変更の必要がないことから令和2年度は改定を行わず、令和2年度以降については、循環型社会形成推進基本法に基づく第4次循環型社会形成推進基本計画（平成30年6月閣議決定。）等の目標を参考にすることとされている。

参考となる数値目標は下表のとおりである。

表2-2-1 廃棄物処理法基本方針における目標値

項目	現況 (平成24年度)	目標値 (令和2年度)
排出量	4,523万 t	平成24年度実績に対し 約12%削減
再生利用率	約21%	約27%
最終処分量	約465万 t	平成24年度実績に対し 約14%削減
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量	—	500 g

再生利用率：資源の回収等による資源化量をごみ排出量で除した値

2. 岩手県ごみ処理広域化計画（令和3年3月）

岩手県ごみ処理広域化計画では、県内を6つのブロックに区分している。

本市は「県央ブロック」に位置づけられており、構成自治体は本市のほか、盛岡市、滝沢市、葛巻町、岩手町、矢巾町、紫波町、雫石町を合わせた3市5町となっている。これら構成自治体は、「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」を設立し、「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」を平成27年1月に策定している。

令和3年度の協議においては、ブロック内構成自治体から排出される可燃ごみ等を処理対象物とした新ごみ焼却施設について、令和14年度の稼働開始を目指している。

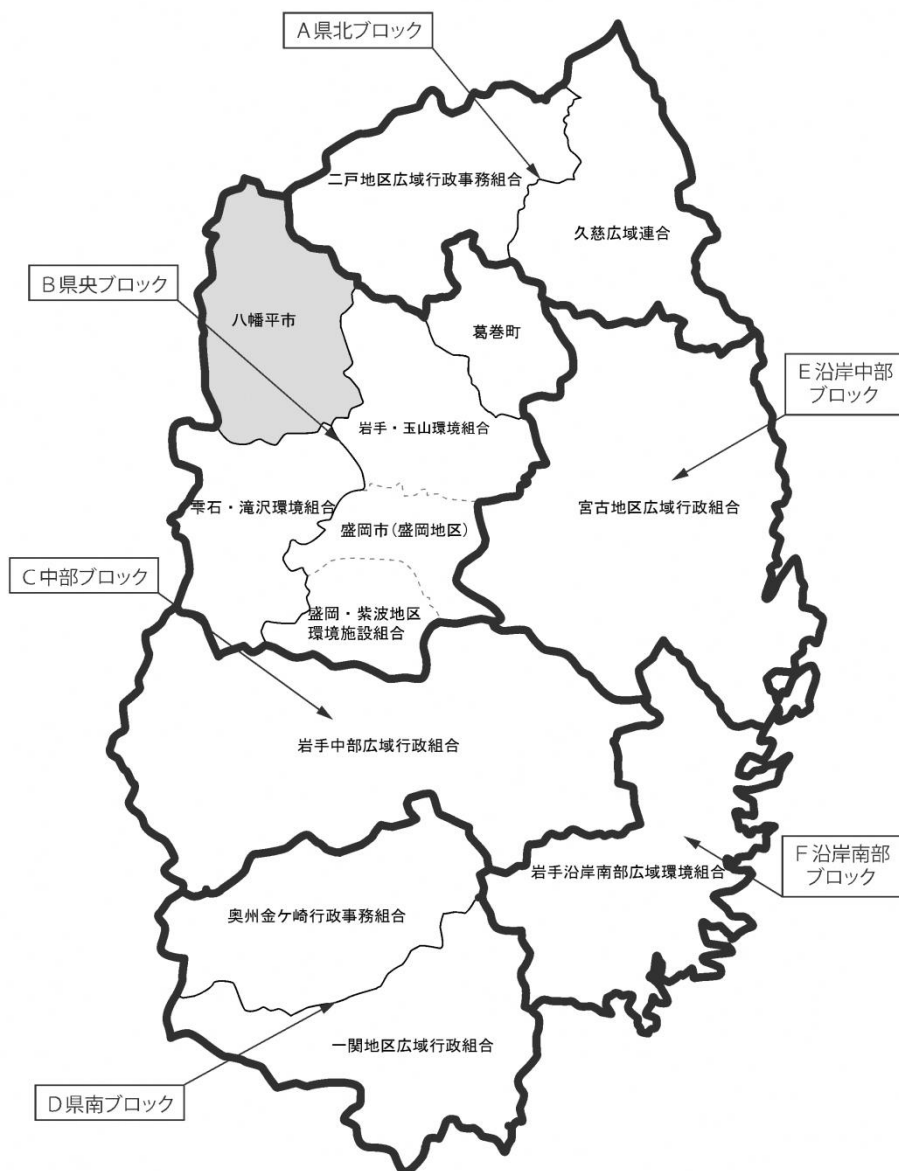


図2-2-1 岩手県ごみ処理広域化計画における広域ブロック図

3. 第3次岩手県循環型社会形成推進計画（令和3年3月）

県は廃棄物処理法第5条の5に基づいて、第3次岩手県循環型社会形成推進計画（第5次岩手県廃棄物処理計画）を策定した。当該計画は、県における循環型社会形成を推進するための基本計画であり、県内市町村が策定する一般廃棄物処理基本計画の直接的な上位計画に位置付けられる。

国の廃棄物処理法基本方針と同様に、廃棄物の適正な処理に関する目標値が定められている。

表2-2-2 第3次岩手県循環型社会形成推進計画における現況と目標値の比較

項目	現況 (平成30年度)	目標値 (令和7年度)
県民一人1日当たり 家庭系ごみ排出量	506 g/人・日	465 g/人・日
県民一人1日当たり 事業系ごみ排出量	295 g/人・日	271 g/人・日
リサイクル率	18.2%	23.0%
最終処分量	41.3 千t	35.8 千t

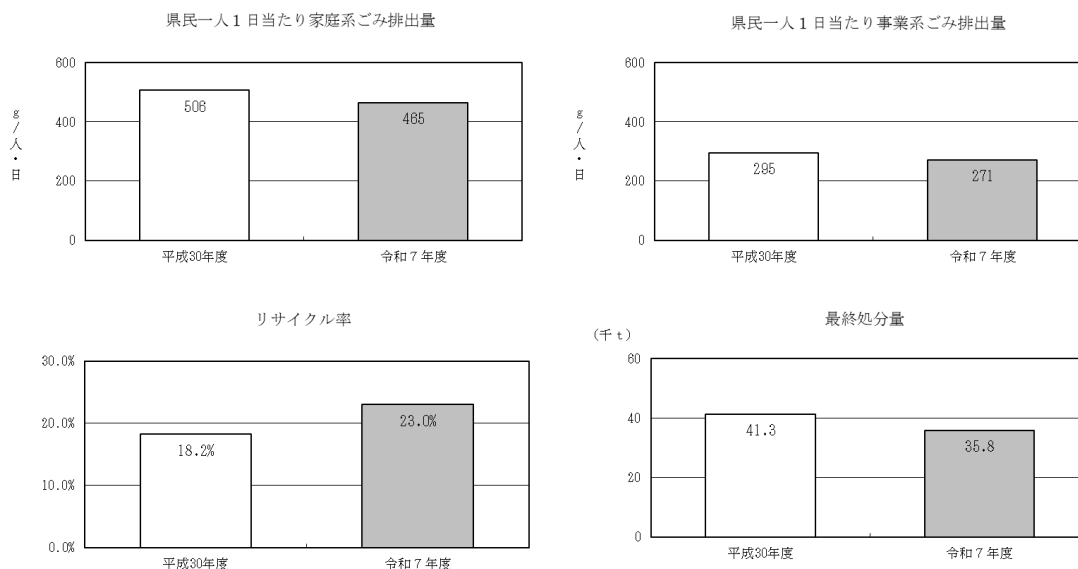


図2-2-2 第3次岩手県循環型社会形成推進計画における現況と目標値の比較

4. 第2次八幡平市総合計画（後期基本計画）（令和3年4月～）

八幡平市総合計画では、「農と輝の大地～ともに暮らし、しあわせ感じる八幡平市～」を本市の将来像として掲げ、第4章「自然をはぐくみ、景観にすぐれたまちづくり」において、ごみの資源化や減量化に取り組むことを定めている。



2. 気象

令和3年の年間降水量は946.5mm、平均気温は10.0℃、平均風速は2.4m/s、平均日照時間は140.7hとなっている。

表3-1-1 気象の概況（令和3年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計平均	単位
降水量	59.5	59.5	41.0	121.5	92.0	70.5	64.5	132.0	33.0	60.0	118.0	95.0	946.5	mm
平均気温	-4.6	-1.8	4.7	7.8	13.9	19.4	23.3	22.4	17.8	11.5	6.2	-0.3	10.0	℃
平均風速	2.4	2.7	3.0	3.1	3.2	2.4	2.4	2.2	2.4	1.9	1.9	2.2	2.4	m/s
日照時間	100.9	112.5	168.3	201.4	166.2	211.1	159.1	96.1	172.1	108.9	116.1	75.5	140.7	h

(資料：気象庁HP 岩手松尾地域気象観測所)

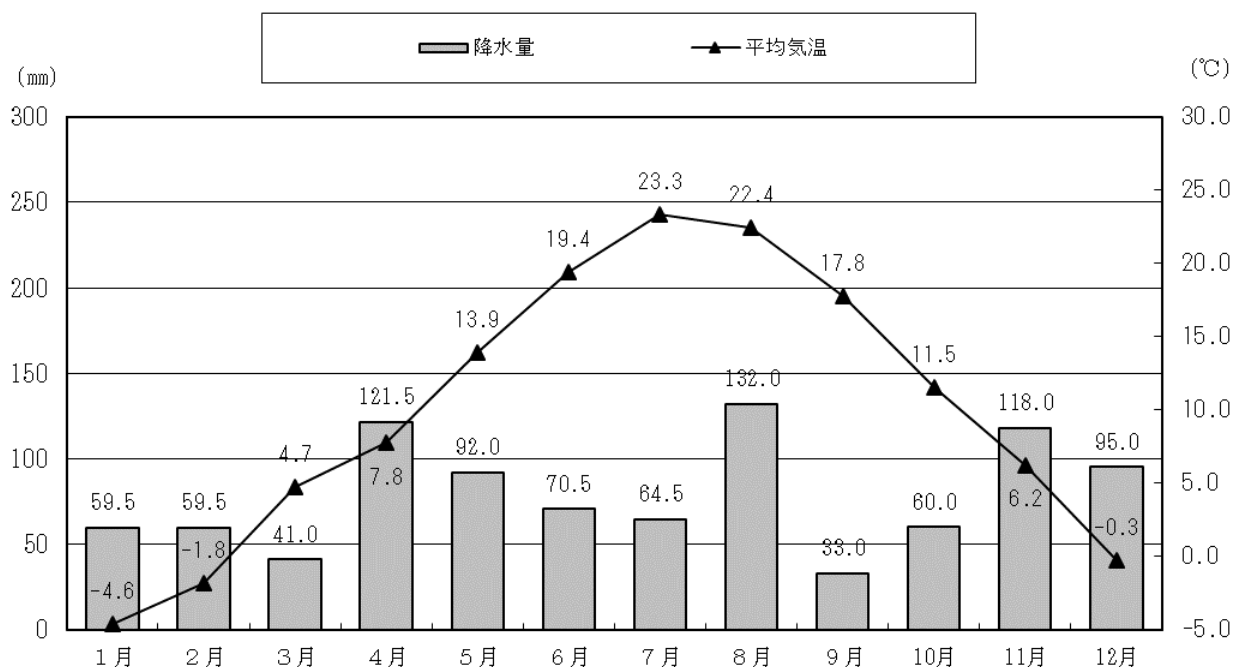


図3-1-2 気象の概況（令和3年）

第2節 社会的状況

1. 人口

令和3年10月1日現在における人口は24,414人であり、過去10年間は一貫して減少傾向にある。10年前の平成23年10月1日現在の人口と比較すると4,560人の減少となっている。

表3-2-1 人口の推移

(各年10月1日現在)		
	人口	前年比
平成23年	28,974人	-378人
平成24年	28,615人	-359人
平成25年	28,170人	-445人
平成26年	27,758人	-412人
平成27年	27,268人	-490人
平成28年	26,784人	-484人
平成29年	26,338人	-446人
平成30年	26,002人	-336人
令和元年	25,371人	-631人
令和2年	24,906人	-465人
令和3年	24,414人	-492人

(資料：岩手県人口移動報告年報)

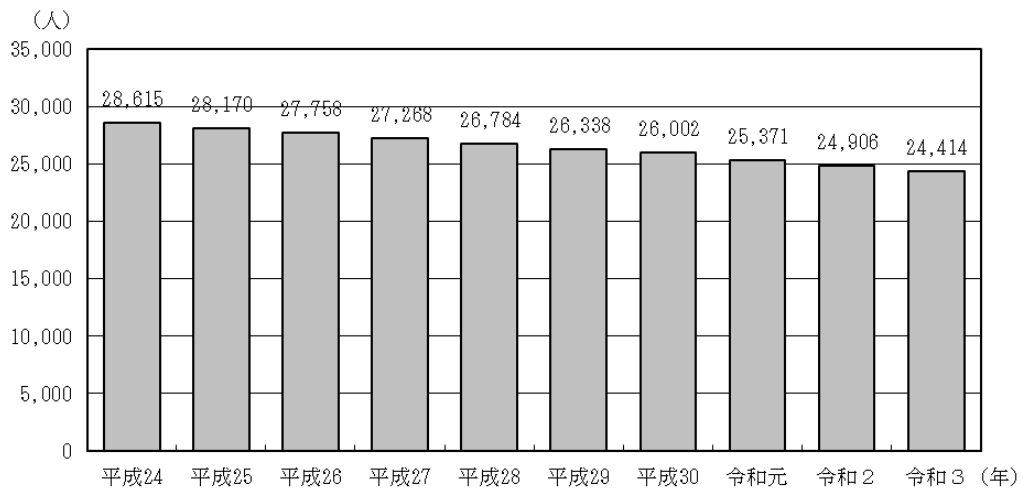


図3-2-1 人口の推移

2. 産業の動向

1) 就業構造

平成27年度における就業構造は、第1次産業3,222人(23.3%)、第2次産業3,486人(25.2%)、第3次産業7,122人(51.4%)、分類不能15人(0.1%)となっている。

過去15年間を通じて、第1次及び第2次産業の就業者数及びその割合は減少している。また、第3次産業の就業者割合は、一貫して増加してきたものの、平成27年度の就業者数は平成12年度に比べて減少している。

表3-2-2 就業構造の推移

(各年10月1日現在)

	第1次産業		第2次産業		第3次産業		分類不能		合計 (人)
	就業者数 (人)	割合 (%)	就業者数 (人)	割合 (%)	就業者数 (人)	割合 (%)	就業者数 (人)	割合 (%)	
平成12年度	4,595	25.9%	5,347	30.1%	7,816	44.0%	6	0.0%	17,764
平成17年度	4,157	25.2%	4,453	27.0%	7,913	47.9%	0	0.0%	16,523
平成22年度	3,363	23.5%	3,631	25.4%	7,297	51.0%	24	0.1%	14,315
平成27年度	3,222	23.3%	3,486	25.2%	7,122	51.4%	15	0.1%	13,845

(資料：国勢調査)

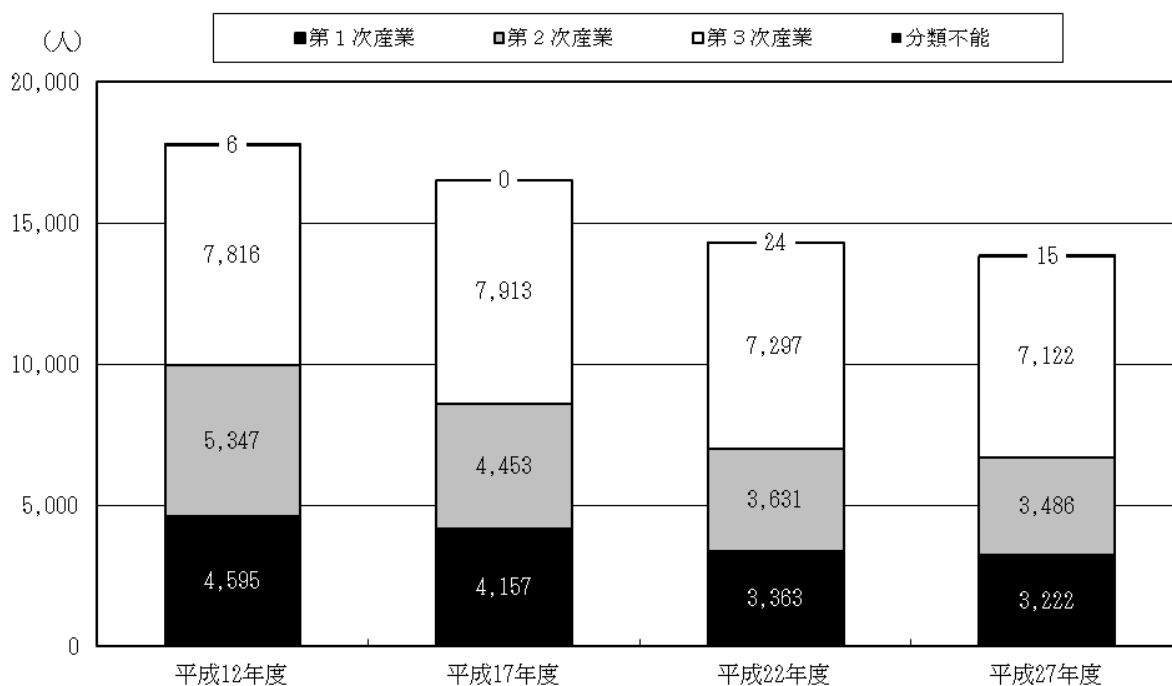


図3-2-2 就業構造の推移

2) 農 業

令和2年度における総農家数は2,497戸であり、そのうち専業農家数は445戸、第一種兼業農家数は302戸、第二種兼業農家数は1,093戸、自給的農家数は657戸となっている。過去20年間の推移をみると、総農家数と第二種兼業農家数は一貫して減少傾向にある一方、自給的農家数は増加傾向を示している。

表3-2-3 農家数の推移

	総農家数 (戸)	専業農家 (戸)	兼業農家(戸)		自給的農家 (戸)
			第一種兼業	第二種兼業	
平成12年度	3,966	471	802	2,271	422
平成17年度	3,802	616	581	2,084	521
平成22年度	3,488	745	388	1,748	607
平成27年度	3,005	612	430	1,316	647
令和2年度	2,497	445	302	1,093	657

(資料：農林業センサス)

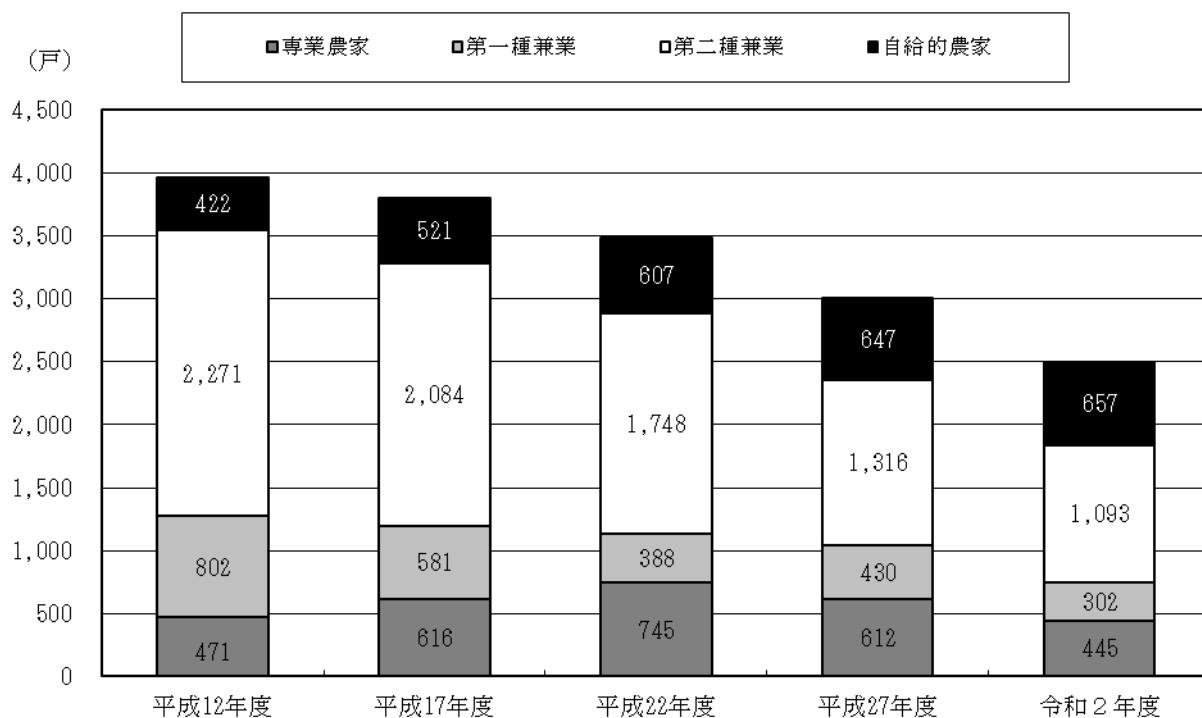


図3-2-3 農家数の推移

3) 経営耕地

令和2年度における経営耕地面積は、総面積7,014haのうち、田が53.4%、畑が46.2%、樹園地が0.4%となっている。全体的に田の占める割合が多く、各年度とも50%以上の割合となっているものの、経営耕地面積は減少傾向にある。

表3-2-4 経営耕地面積

年度	経営耕地面積 (ha)			
	田	畑	樹園地	総面積
平成12年度	4,659 (63.8%)	2,607 (35.7%)	39 (0.5%)	7,306
平成17年度	4,377 (64.7%)	2,348 (34.7%)	41 (0.6%)	6,766
平成22年度	4,351 (54.8%)	3,538 (44.6%)	47 (0.6%)	7,936
平成27年度	4,108 (54.8%)	3,349 (44.7%)	35 (0.5%)	7,492
令和2年度	3,746 (53.4%)	3,240 (46.2%)	28 (0.4%)	7,014

(資料：農林業センサス)

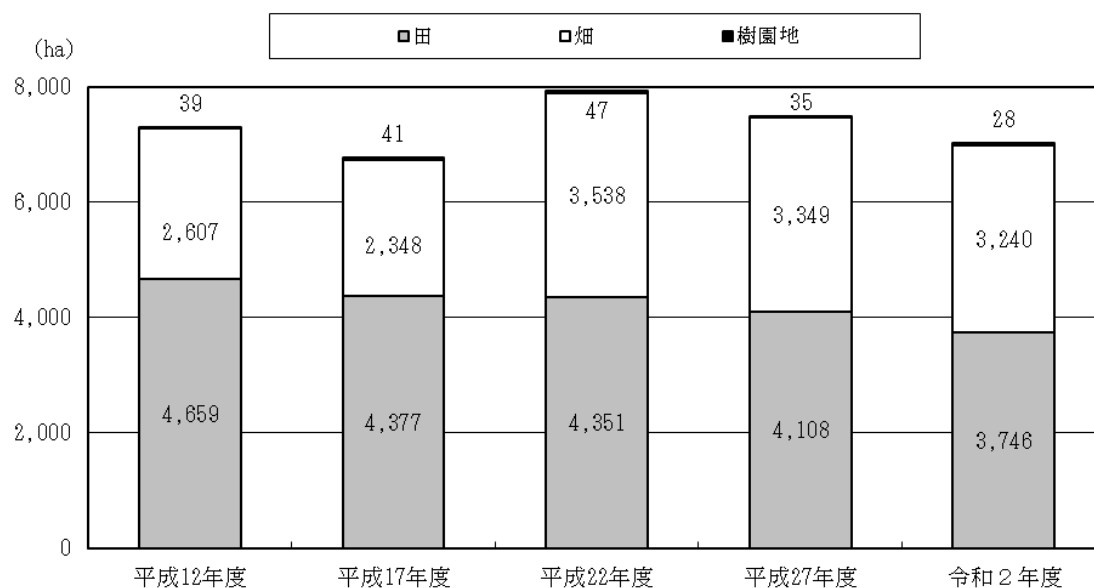


図3-2-4 経営耕地面積

4) 土地利用状況

平成31年1月1日現在の土地利用状況については、山林の占める割合が69.43%と全体の約7割を占めており、続いて田(5.87%)、畑(4.60%)の順となっている。

表3-2-5 地目別土地利用面積(平成31年)

平成31年1月1日現在

区分	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	合計
合計(k㎡)	50.580	39.680	12.538	0.314	598.730	9.411	26.534	11.531	112.982	862.300
構成比(%)	5.866	4.602	1.454	0.036	69.434	1.091	3.077	1.337	13.102	100.000

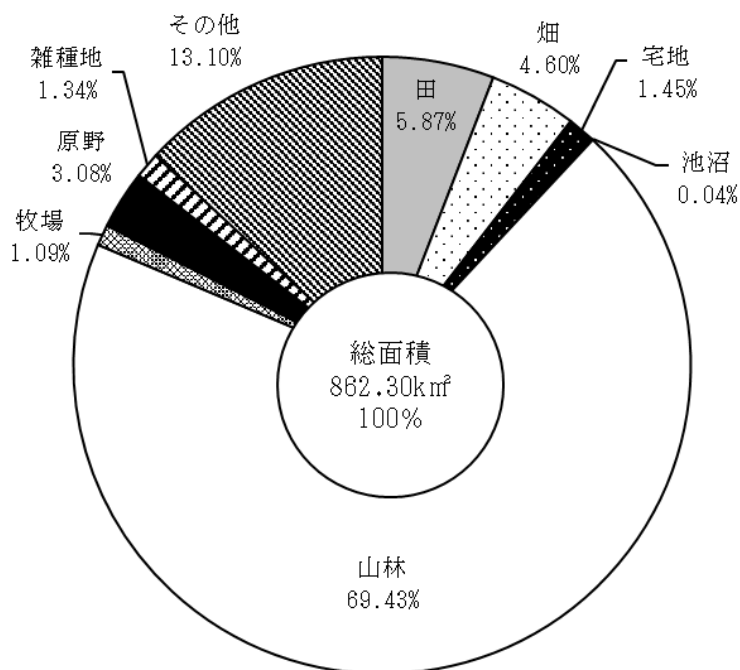


図3-2-5 地目別土地利用面積(平成31年)

5) 商業

平成28年度経済センサス活動調査における商店数は256件、従業者数は1,452人、商店販売額は291億8,900万円となっている。

商店数は平成14年度から一貫して減少傾向、従業者数と商品販売額は平成19年度までは増加又は横ばい傾向にあった。平成26年度に大きく落ち込んだが、平成28年度は平成26年度と比べて若干の増加となっている。

表3-2-6 商業の推移

	商店数 (件)	従業者数 (人)	商品販売額 (百万円)
平成14年度	388	1,841	32,971
平成16年度	384	1,878	34,183
平成19年度	379	2,013	34,035
平成26年度	264	1,353	26,002
平成28年度	256	1,452	29,189

(資料：商業統計調査、平成28年度経済センサス活動調査)

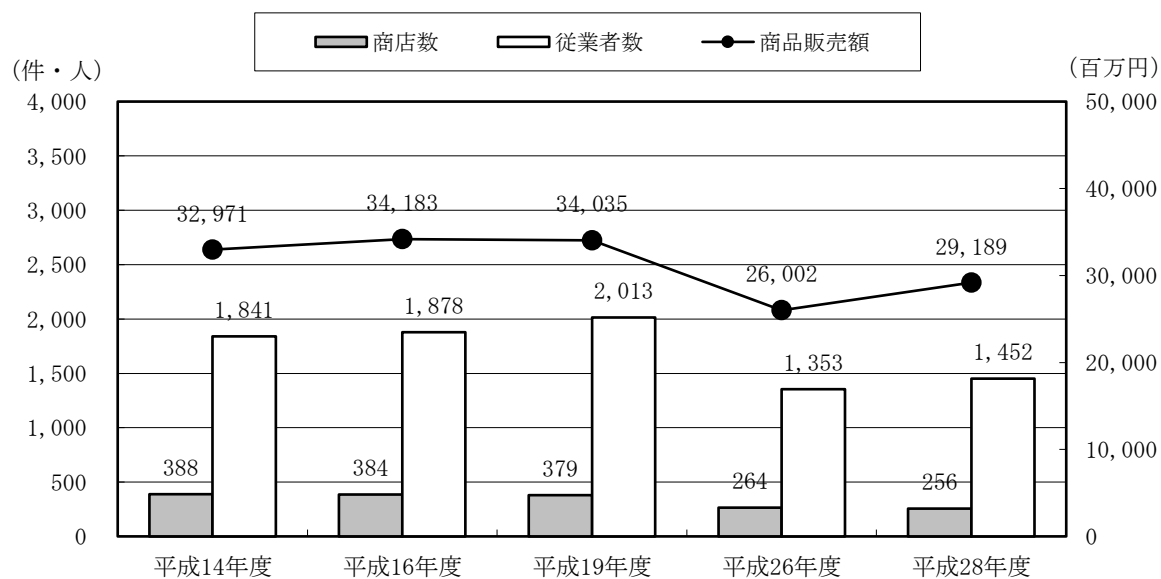


図3-2-6 商業の推移

6) 工業

令和元年度における事業所数は61件、従業者数は2,188人、製造品出荷額等は317億6,800万円となっている。

事業所数及び、従業者数は、平成27年度から横ばい傾向となっているが、製造品出荷額等は平成27年度から若干の減少となっている。

表3-2-7 工業の推移

	事業所数 (件)	従業者数 (人)	出荷額等 (百万円)
平成27年度	60	2,077	34,383
平成28年度	56	2,083	32,564
平成29年度	57	2,154	31,510
平成30年度	58	2,113	32,931
令和元年度	61	2,188	31,768

(資料：工業統計調査)

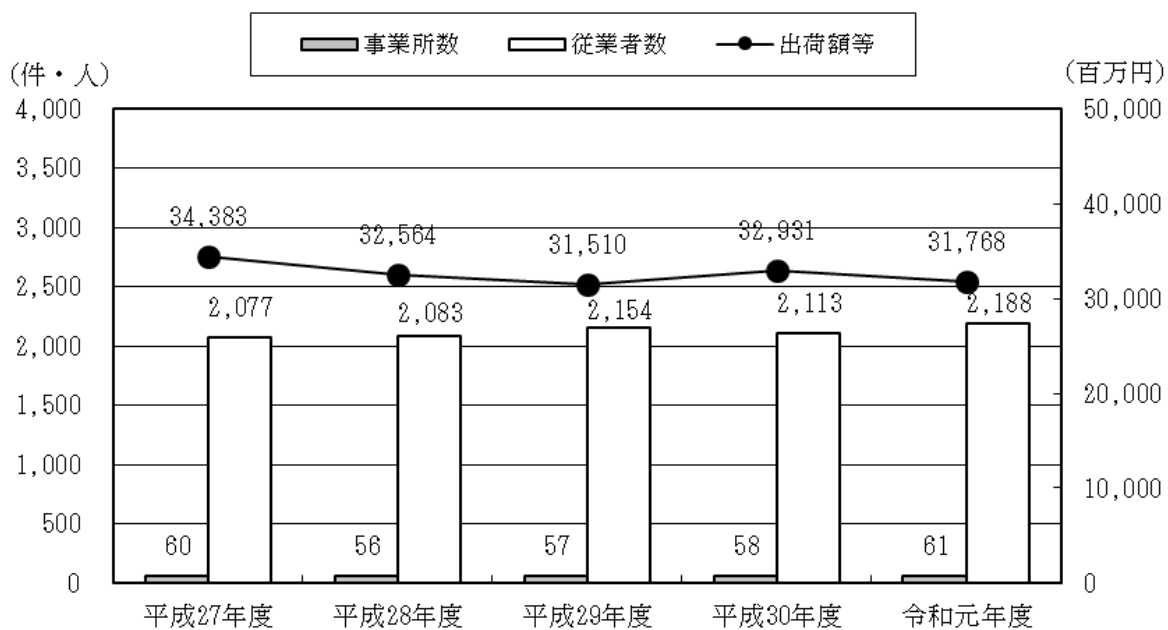


図3-2-7 工業の推移

3. 観 光

令和2年度における観光客数は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、約137万人と大きく減少しているが、令和元年度までは、増減はあるがおおむね200万人の入込数となっている。

表3-2-8 観光客数の推移

	入込数 (人)	前年度比 (%)
平成28年度	1,922,014	9.5
平成29年度	1,920,915	-0.1
平成30年度	2,064,258	7.5
令和元年度	2,011,912	-2.5
令和2年度	1,375,009	-31.7

(資料：八幡平市商工観光課作成)

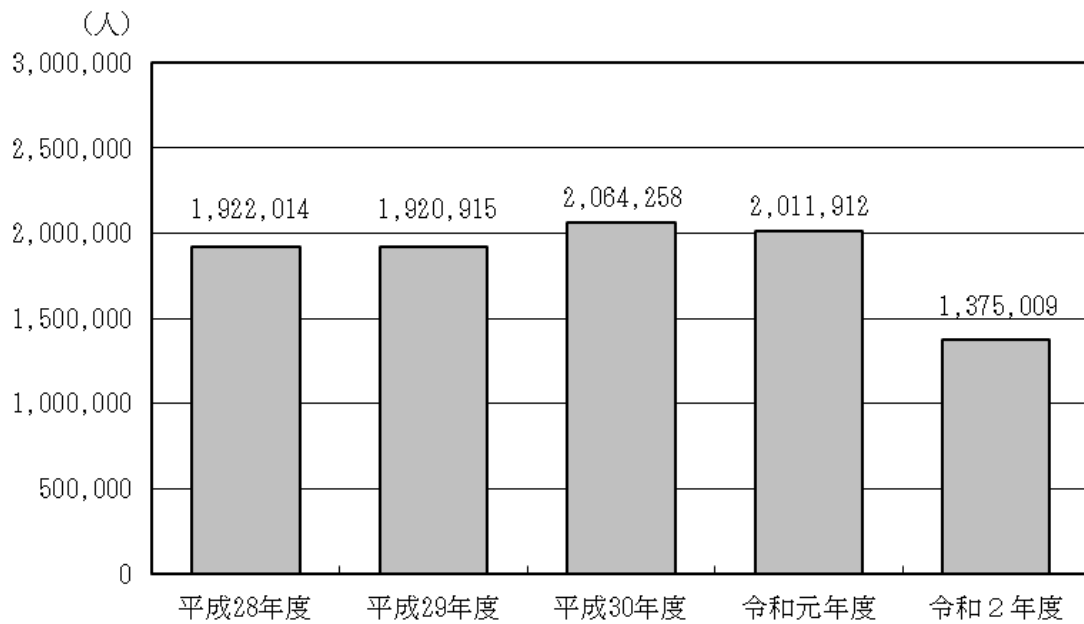


図3-2-8 観光客数の推移

4. 交通網

古くから、秋田県や青森県へ通じる鹿角街道が縦貫し、現在では東北自動車道・八戸自動車道と国道 282 号、さらには J R 花輪線が縦貫しており、基礎的な交通基盤が整った地域であるとともに、秋田県や青森県を含めた北東北 3 県の中心に位置する交通の要衝である。

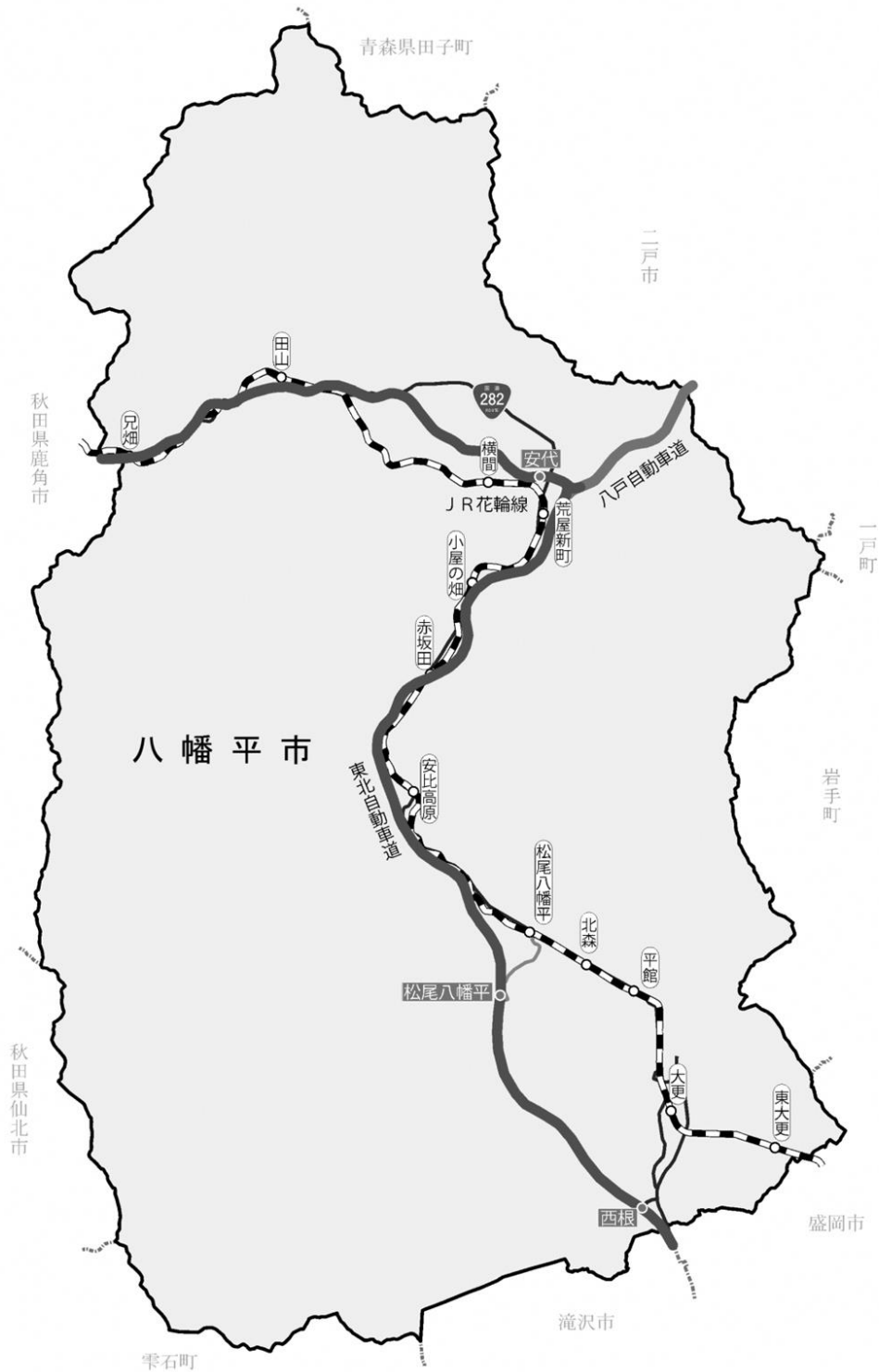


図 3-2-9 交通の概要

第4章 ごみ処理の現況

第1節 ごみ処理体系

本市におけるごみ処理体系を図4-1-1に、ごみ処理・処分に関連する施設の位置を図4-1-2に示す。

本市で発生した燃えるごみ（可燃ごみ）のほか、粗大ごみ処理施設から発生する破砕可燃物及び手選別処理施設から発生する可燃不燃物は、八幡平市清掃センター（ごみ焼却施設）で焼却処理している。焼却処理後の焼却灰と飛灰は八幡平市一般廃棄物最終処分場（最終処分場）にて埋立処分している。

燃えないごみ、粗大ごみ及び空き缶類は、八幡平市清掃センター（粗大ごみ処理施設）で破砕・選別処理している。破砕可燃物はごみ焼却施設で焼却処理、破砕不燃物は最終処分場で埋立処分、鉄・アルミ・その他の資源物は再資源化している。

空きびん類、ペットボトル及びトレイ類は、八幡平市清掃センター（手選別処理施設）で手選別処理された後、不適物は焼却処理又は埋立処分している。

紙類（段ボール、新聞紙、雑誌、紙パック、雑紙、シュレッダー）、古着、小型家電は保管施設にて一時保管された後、再資源化している。

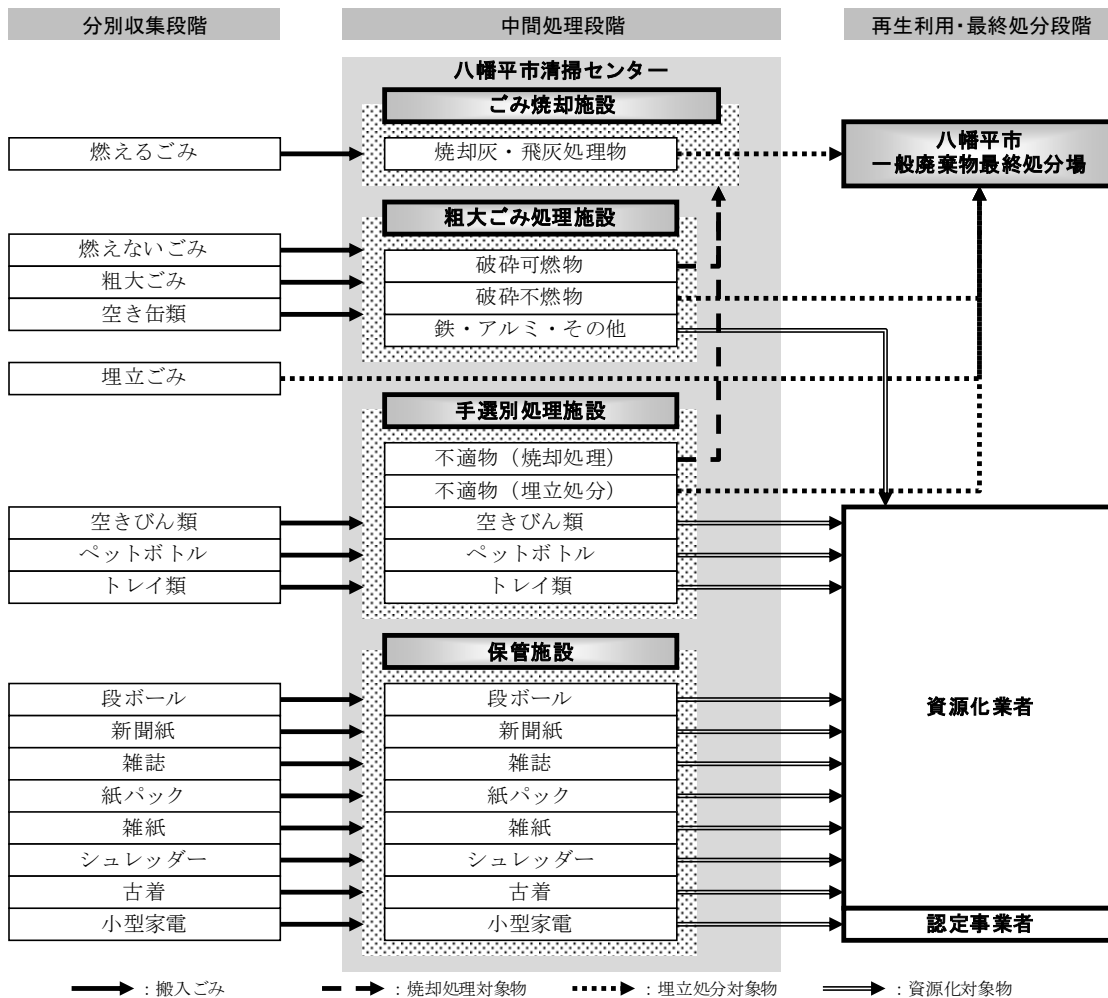


図4-1-1 ごみ処理体系 (ごみ処理フロー)



図 4-1-2 ごみ処理関係施設位置

第2節 ごみ処理体制

1. 排出区分

本市が定めている排出区分は表4-2-1に示すとおりである。

排出ごみの区分は大きく4種（燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみ、危険ごみ）に分けており、ごみの種類に応じて排出形態を定めている。

表4-2-1 排出形態と排出区分

収集区分		ごみの種類/出し方の注意	排出形態	排出場所	
燃えるごみ (可燃ごみ) ※	台所のごみ 紙くず類 木くず類 プラスチック類 その他燃やすごみ	生ごみ(水を切る)、食用油(凝固もしくは布等にしみこませて)、貝殻、プラスチック容器、使い捨てカイロ、紙おむつ(汚物は取る)、ポリ容器、綿クズ、ボロ、繊維くず、台所のアルミホイル類、スキー靴、CD・DVD	専用指定袋	指定集積所	
燃えないごみ (不燃ごみ)	青いカゴに入るもの 4リットルを超える容器 化粧びん、窓ガラス、電球等	瀬戸物等の食器類、鍋・やかん等の金属製品、4リットルを超える缶、電球類、トタン類など(50cm以下にまとめて出す) リサイクルできないびん(油、化粧品、注ぎ口が取れないもの、割れているもの、汚れのとれないもの)	青色のカゴ	指定集積所	
資源ごみ	空き缶類	スチール缶、アルミ缶、金属製のふた類、4リットル以下の容器	缶詰缶(中を水洗い、もしくは不用な衣類等で拭き取る)	赤色のカゴ	指定集積所
	空きびん類	茶色びん 白色びん その他の色びん	食品・飲料のびん ビールびん、一升びん(酒販売店、集団回収へ) キャップを取り中身を取り除き水洗い	赤色のカゴ	指定集積所
	ペットボトル※	ペットボトル	キャップを取り中身を取り除き水洗い リサイクルマーク(PET)の表示があるもの	専用指定袋	指定集積所
	新聞紙	新聞紙 折込みチラシ	二つ折りか四つ折りにして	紙ひも	指定集積所
	雑誌	雑誌	ビニール類は取り除く	紙ひも	指定集積所
	段ボール	段ボール	平たく伸ばす(付着している発泡スチロール、ガムテープ、ビニール等は取り除く)	紙ひも	指定集積所
	紙パック	飲料用紙パック	洗って乾かし、切り開く(プラスチック製の注ぎ口は取り除く)	紙ひも	指定集積所
	雑紙	上記以外の紙類 菓子箱、ノート、葉書 名刺、コピー用紙	平たく伸ばして持ちやすい大きさにたたむ 名刺等の小さいものは封筒に入れ他の紙とまとめる (汚れや臭い、特殊加工されているもの以外)	紙ひも 専用指定袋紙	指定集積所
トレイ類※	白色食品トレイ 白色発泡スチロール	白色無地のもの(ラップやシールを取り除き洗って乾かす)	専用指定袋	指定集積所	
危険ごみ※	カセット式ボンベ スプレー缶	スプレー缶、卓上コンロのボンベ(必ず中身を使い切って穴をあけ、キャップ、噴出し口は取り除く)	専用指定袋	指定集積所	
指定袋に入らない燃えるごみ		枯れ枝(50cm位に切る)、布団、毛布等	指定なし	清掃センター	
青いカゴに入らない粗大ごみ		スコップ、スノーダンプ、自転車、スキー板等			
ペットの死体		犬、猫等			
引越し等によって一時的に大量に出るごみ		燃えるごみ・粗大ごみ等			
引火の恐れのあるごみ		シンナー、ガソリン、灯油、塗料等を入れた空き容器、石油ストーブ、ファンヒーター			
有害性のごみ		家庭菜園等の農薬の使い残り(少量のみ)			
埋立をするごみ		燃えがら(残灰)、土砂及び土砂が混じったもの、コンクリート及びブロック片			
事業活動によるごみ		会社・事業所・商店・旅館・ペンション・保養所・飲食店等から発生するごみ			

※令和2年度より、専用指定袋「氏名・行政区名記入欄」を廃止

2. 収集運搬体制

本市では、収集回数を排出区分に応じて定めている。燃えるごみは週2回、燃えないごみは隔週1回などとなっている。

具体的な収集回数は表4-2-2に示すとおりである。

表4-2-2 収集回数

収集地域		西根地区		松尾地区		安代地区	
		大更	田頭・平館・寺田	松尾・野駄・畑・安比	温泉郷・寄木・柏台	細野・畑・荒屋・浅沢	舘市・田山・五日市
燃えるごみ	2回/1週	月曜・木曜	火曜・金曜	火曜・金曜	月曜・木曜	月曜・木曜	火曜・金曜
燃えないごみ	1回/2週	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜
空き缶類	1回/2週 1回/1週	隔週金曜	隔週木曜	木曜	金曜	金曜	木曜
空きびん類	1回/2週	隔週火曜	隔週月曜	隔週月曜	隔週火曜	隔週火曜	隔週月曜
ペットボトル	1回/2週	隔週火曜	隔週月曜	隔週月曜	隔週火曜	隔週火曜	隔週月曜
新聞紙・雑誌・段ボール ・紙パック・トレイ類・雑紙	1回/2週	隔週水曜	隔週木曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜
危険ごみ (スプレー缶、ボンベ類)	1回/2週 1回/1週	隔週金曜	隔週木曜	隔週水曜	隔週水曜	金曜	木曜

3. 中間処理施設（ごみ焼却施設）

収集又は持ち込まれた燃えるごみなどは、八幡平市清掃センター（ごみ焼却施設）で焼却処理している。

表 4-2-3 に施設の概要を、図 4-2-1 に処理フローを示す。

表 4-2-3 ごみ焼却施設の概要

項目	内容
施設名称	八幡平市清掃センター
事業主体	八幡平市
所在地	岩手県八幡平市野駄第27地割621番地
処理能力	50t/16h（50t/16t×2基、片炉運転） ※平成30年2月22日変更
供用開始年月	平成10年4月
処理方式	機械化バッチ燃焼式

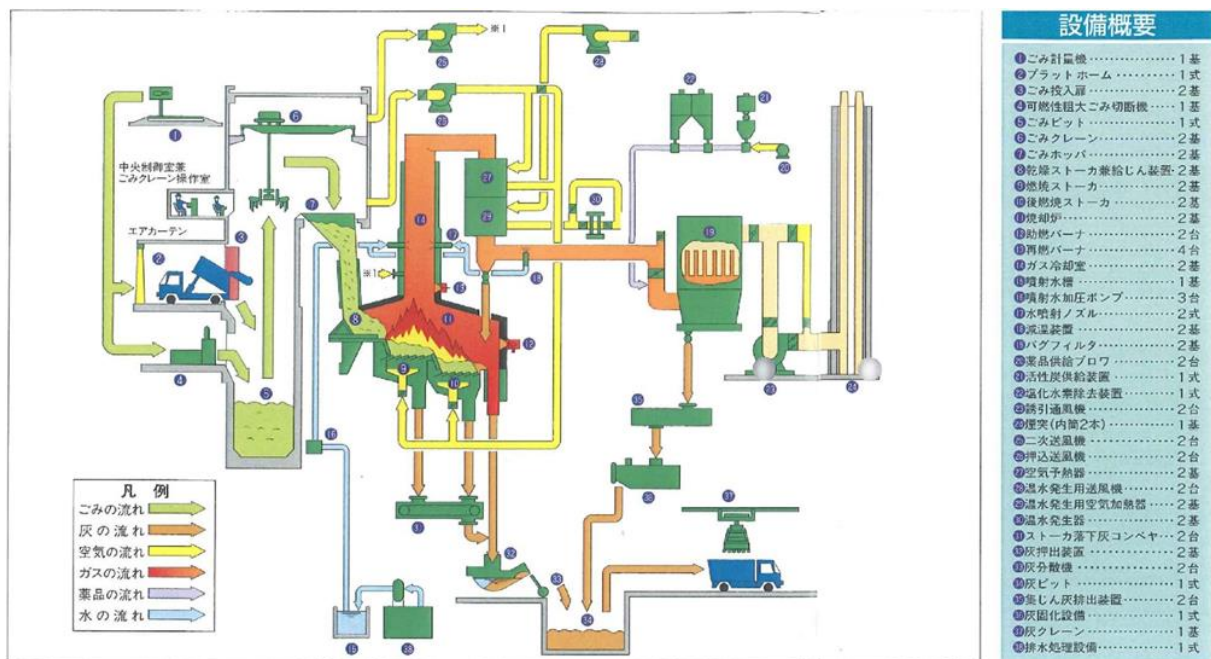


図 4-2-1 ごみ焼却施設の処理フロー

4. 中間処理施設（粗大ごみ処理施設・手選別処理施設）

燃えないごみ、粗大ごみ及び空き缶類は、八幡平市清掃センター（粗大ごみ処理施設）にて破砕・選別処理を行っている。また、空きびん類、ペットボトル及びトレイ類は、八幡平市清掃センター（手選別処理施設）にて手選別処理を行っている。

表4-2-4及び表4-2-5に両施設の概要を、図4-2-2に両施設の処理フローを示す。

表4-2-4 粗大ごみ処理施設の概要

項目	内容
施設名称	八幡平市清掃センター
事業主体	八幡平市
所在地	岩手県八幡平市野駄第27地割621番地
処理能力	15t/5h
供用開始年月	平成10年4月
選別種別	4種類選別（可燃ごみ・不燃ごみ・アルミ・鉄）

表4-2-5 手選別処理施設の概要

項目	内容
施設名称	八幡平市清掃センター
事業主体	八幡平市
所在地	岩手県八幡平市野駄第27地割621番地
供用開始年月	平成10年4月
処理方式	手選別
選別種別	3種類選別（空きびん類、ペットボトル、トレイ類）

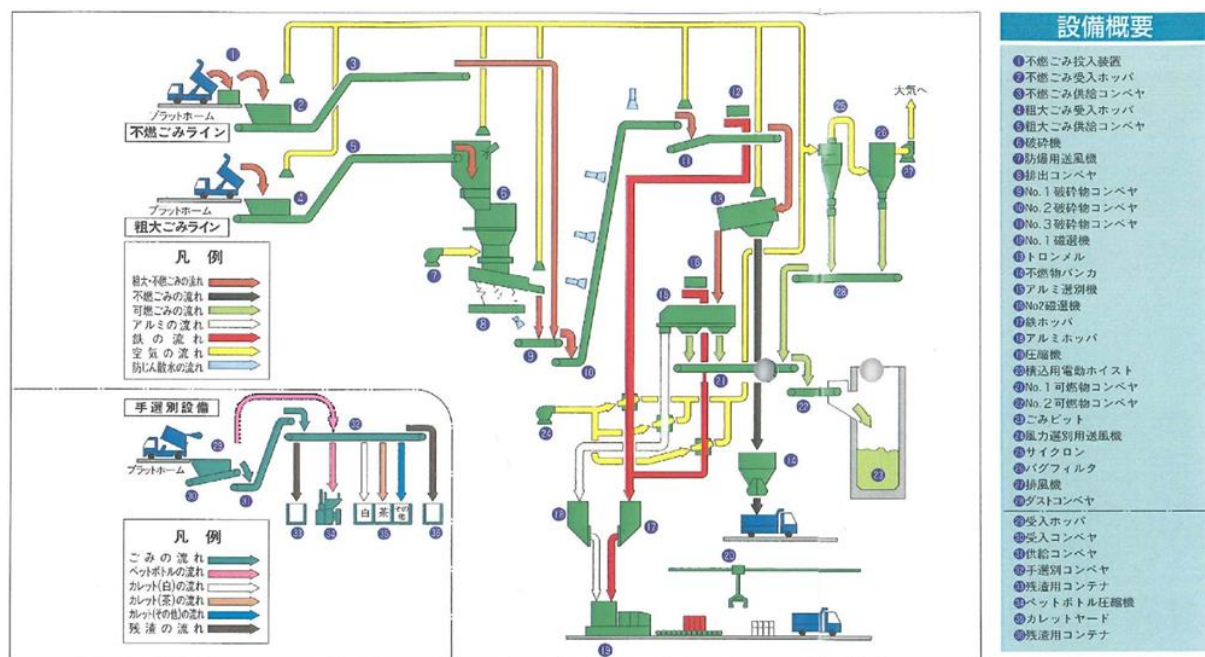


図4-2-2 粗大ごみ処理施設及び手選別処理施設の処理フロー

5. 最終処分場

埋立ごみのほか、ごみ焼却施設で発生した焼却灰及び飛灰、粗大ごみ処理施設で発生した破砕不燃物、手選別処理施設で発生した不適物は、本市が所有する最終処分場で埋立処分を行っている。

表4-2-6及び、表4-2-7に最終処分場の概要を、図4-2-3及び図4-2-4に最終処分場浸出水処理フローを示す。なお、栗日影沢最終処分場の埋立は終了している。

表4-2-6 八幡平市栗日影沢最終処分場の概要

項目	内容
施設名称	八幡平市栗日影沢最終処分場
事業主体	八幡平市
所在地	八幡平市松尾第1地割709番地
供用開始年月	昭和62年12月
浸出水処理能力	30m ³ /日
埋立面積	10,620m ²
埋立容量	56,090m ³

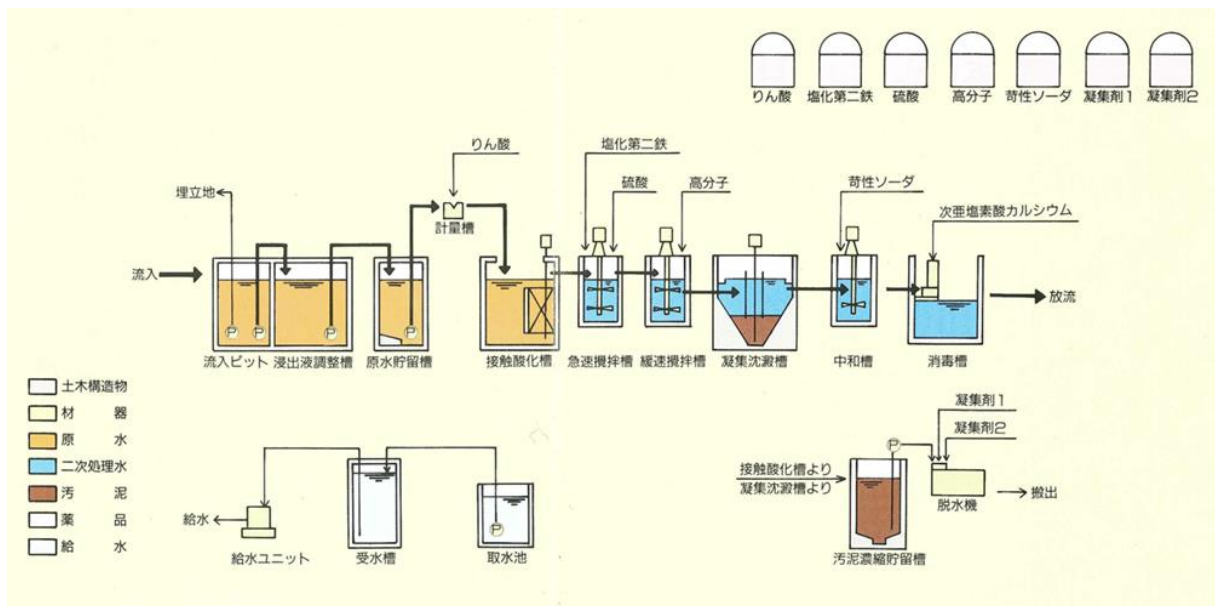


図4-2-3 八幡平市栗日影沢一般廃棄物最終処分場浸出水処理フロー

表 4-2-7 八幡平市一般廃棄物最終処分場

項目	内容
施設名称	八幡平市一般廃棄物最終処分場
事業主体	八幡平市
所在地	八幡平市松尾第1地割808番地
供用開始年月	平成24年12月
浸出水処理能力	15m ³ /日
埋立面積	5,300m ²
埋立容量	24,700m ³

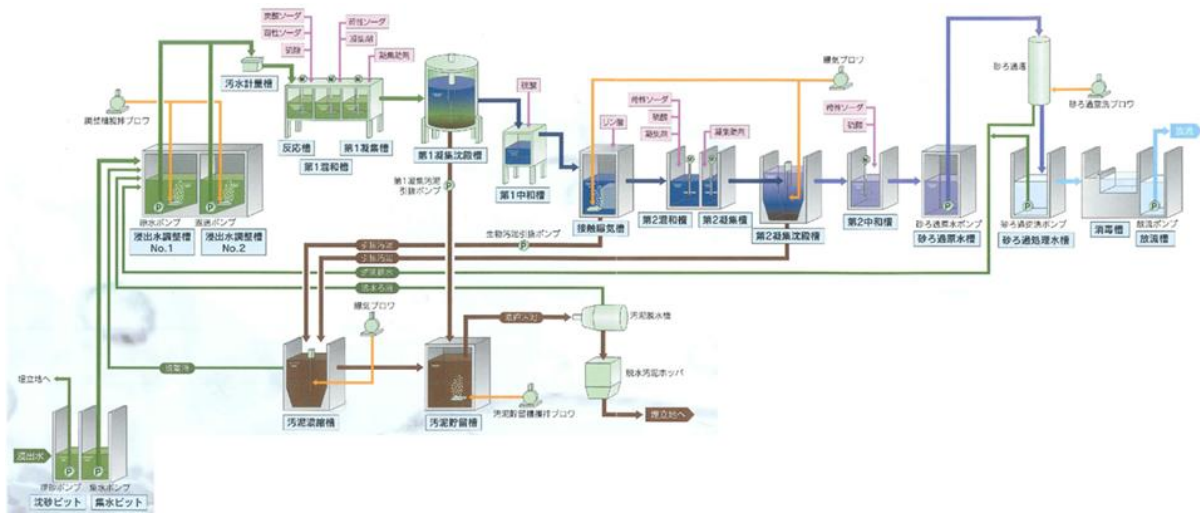


図 4-2-4 八幡平市一般廃棄物最終処分場浸出水処理フロー

第3節 ごみ排出量及びごみ処理量の実績

1. ごみ排出量

本市におけるごみ排出量実績を表4-3-1及び図4-3-1に示す。

平成28年度以降、総ごみ量及び1人1日当たりごみ排出量はほぼ横ばいとなっている。
 なお、1人1日当たりごみ排出量は1,000gを超過した状態が続いている。

表4-3-1 ごみ排出量実績

種類別実績	(単位：t/年)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総ごみ量	10,392.08	10,167.67	10,243.81	10,355.91	10,075.84
燃えるごみ	8,743.14	8,574.60	8,630.63	8,734.56	8,402.83
生活系ごみ	5,686.45	5,447.08	5,532.71	5,635.76	5,665.98
事業系ごみ	3,056.69	3,127.52	3,097.92	3,098.80	2,736.85
燃えないごみ	223.09	216.03	233.04	234.03	251.61
生活系ごみ	223.09	216.03	233.04	234.03	251.61
事業系ごみ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
粗大ごみ	292.46	297.39	332.78	345.53	438.57
生活系ごみ	213.40	210.71	241.79	263.38	330.50
事業系ごみ	79.06	86.68	90.99	82.15	108.07
埋立ごみ	42.06	6.47	3.28	8.46	11.47
生活系ごみ	18.23	2.40	2.64	7.53	11.36
事業系ごみ	23.83	4.07	0.64	0.93	0.11
資源ごみ	1,091.33	1,073.18	1,044.08	1,033.33	971.36
生活系ごみ	792.30	790.95	768.74	770.03	779.26
集団回収	186.45	168.70	164.10	155.63	103.14
事業系ごみ	112.58	113.53	111.24	107.67	88.96
総ごみ量(集団回収を除く)	10,205.63	9,998.97	10,079.71	10,200.28	9,972.70
1人1日当たりごみ排出量	1,101g	1,096g	1,120g	1,159g	1,153g
1人1日当たりごみ排出量(集団回収除く)	1,081g	1,078g	1,102g	1,142g	1,141g
1人1日当たりごみ排出量(生活系資源ごみ除く)	997g	993g	1,018g	1,055g	1,052g
計画収集人口	25,861人	25,411人	25,055人	24,412人	23,939人
年度日数	365日	365日	365日	366日	365日

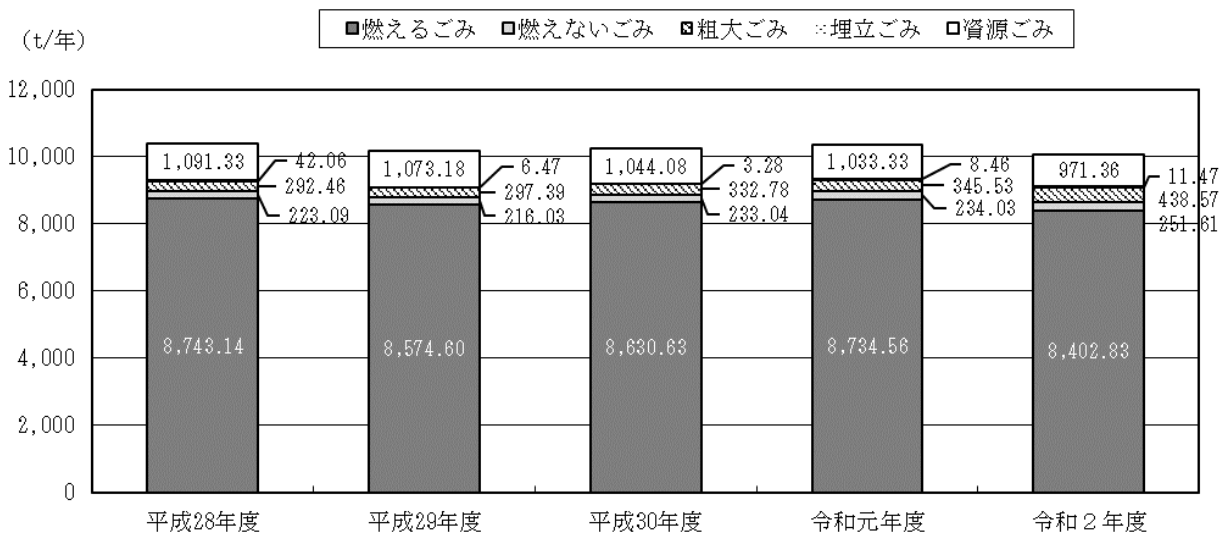


図4-3-1 ごみ排出量実績

2. 焼却処理量

燃えるごみなどの焼却対象物を処理した量及び焼却残渣量（焼却灰及び飛灰）の実績を表4-3-2及び図4-3-2に示す。

災害廃棄物を除く本市圏域内から発生する燃えるごみなどの焼却対象物は概ね 9,000 t/年程度となっている。また、焼却残渣率は11～13%程度となっている。

表4-3-2 焼却処理量の実績

(単位：t/年)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
焼却処理量	8,875	8,712	8,801	8,950	8,660
焼却残渣量	1,047	1,104	1,083	1,096	1,114
残渣発生率	11.8%	12.7%	12.3%	12.2%	12.9%

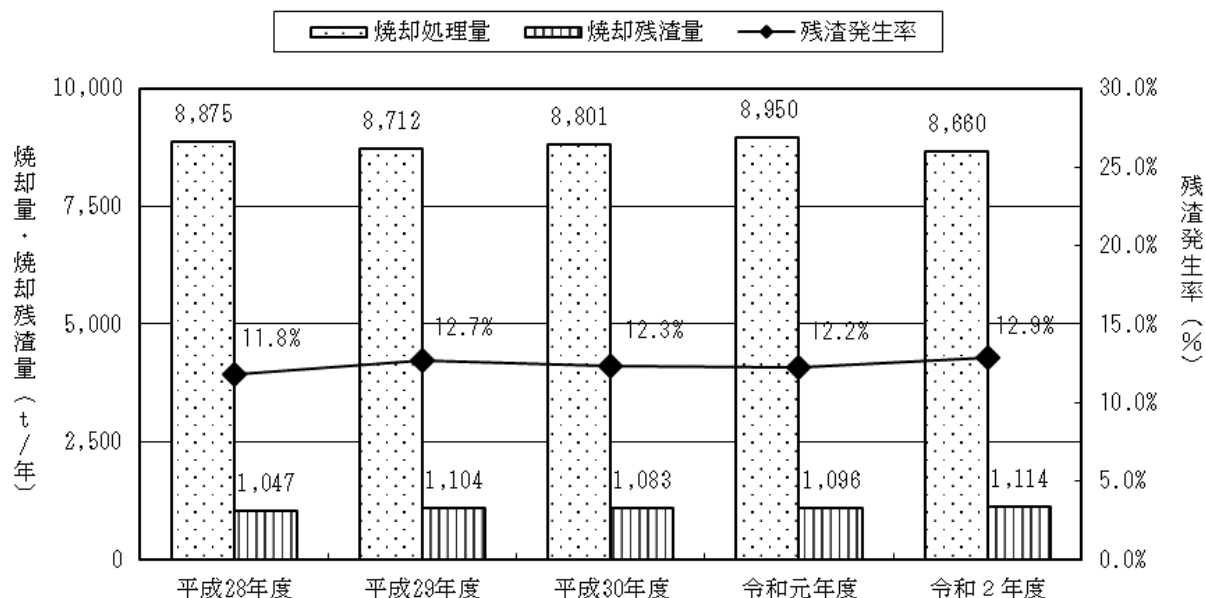


図4-3-2 焼却処理量の実績

3. 資源ごみ量

本市における資源ごみ排出量実績を表4-3-3及び図4-3-3に示す。

総ごみ量の減少に伴って総資源ごみ量も減少傾向にあるが、なかでも集団回収資源物及び事業系資源ごみの減少が目立っている。原因としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による集団回収の中止等が挙げられる。また、資源ごみの割合も減少傾向にあり、近年は10%程度に留まっている。

表4-3-3 資源ごみ排出量実績

(単位：t/年)

資源ごみ実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総資源ごみ量	1,085.68	1,065.96	1,035.94	1,026.99	969.31
生活系	788.93	788.42	766.45	767.76	778.61
紙類	377.00	366.29	357.00	348.50	367.21
プラスチック類	60.58	64.33	65.12	70.11	69.84
金属類	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44
びん類	261.41	260.33	249.37	247.94	235.12
集団回収資源物	185.99	168.69	164.10	155.60	103.11
紙類	133.85	113.92	109.25	101.65	62.52
金属類	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28
びん類	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30
事業系	110.76	108.85	105.39	103.63	87.59
紙類	14.69	16.55	15.47	13.21	12.18
プラスチック類	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02
金属類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
びん類	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39
総資源ごみ量（集団回収を除く）	899.69	897.27	871.84	871.39	866.20
資源ごみの割合	10.4%	10.5%	10.1%	9.9%	9.6%
資源ごみの割合（集団回収を除く）	8.8%	9.0%	8.6%	8.5%	8.7%

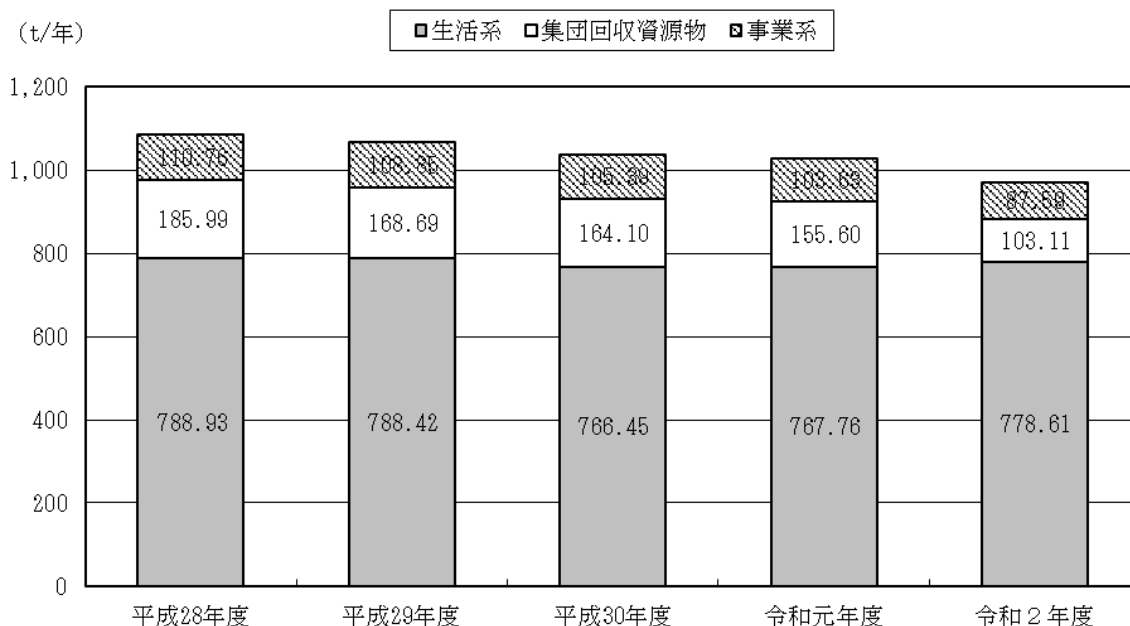


図4-3-3 資源ごみ排出量実績

4. 埋立処分量

本市における埋立処分量実績を表4-3-4及び図4-3-4に示す。

本市圏域内から発生する埋立対象物は概ね 1,500 t/年程度となっている。また、最終処分率は 14～15%程度となっている。

表4-3-4 埋立処分量の実績

(単位：t/年)

埋立処分量実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
埋立ごみ	42.06	6.47	3.28	8.46	11.47
焼却灰(焼却残渣)	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32
粗大不燃残渣	211.85	208.18	230.35	225.76	261.06
手選別不燃残渣	151.31	145.94	136.98	133.74	117.79
最終処分量合計	1,452.08	1,464.83	1,453.82	1,463.75	1,504.64
最終処分率 (%)	14.0%	14.4%	14.2%	14.1%	14.9%

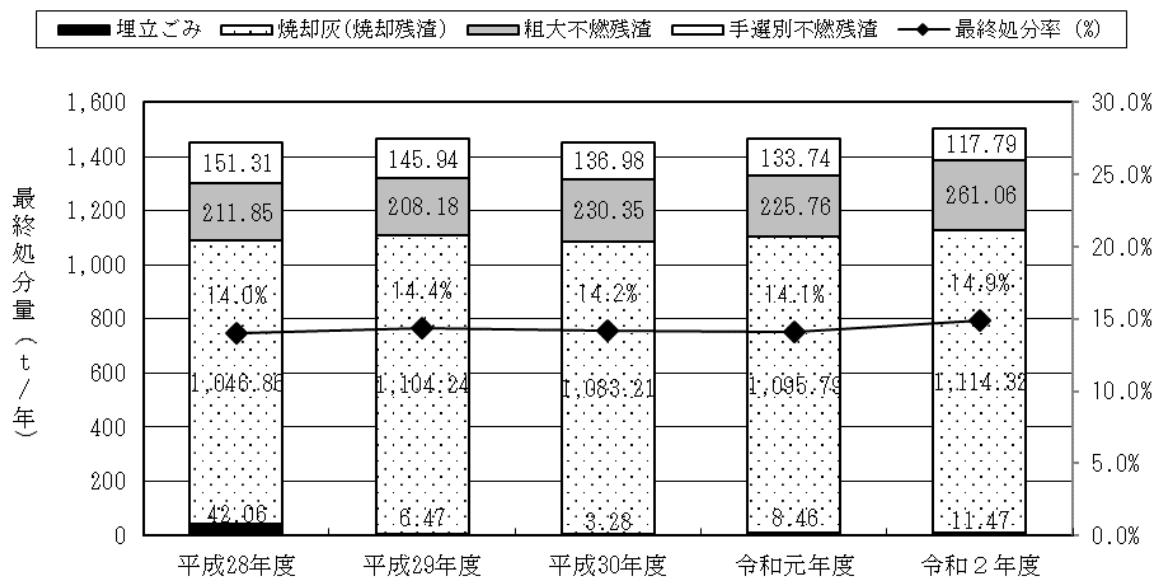


図4-3-4 埋立処分量の実績

5. ごみ質

過去5か年度のごみ質分析結果を表4-3-5に、低位発熱量の推移を図4-3-5に示す。低位発熱量の最高値は12,640kJ/kg、最低値は5,560kJ/kg、平均値は8,874kJ/kgであり、平均値は八幡平市清掃センターの設計上の高質ごみと基準ごみの間に位置している。

設計上の最高値である高質ごみを超えるケースも見られ、高質ごみ化が進んでいる状況にある。

表4-3-5 ごみ質調査結果

区分 年度・No・測定日	種類別組成						三成分			単位容積重量 (kg/m ³)	低位発熱量 (kJ/kg)	
	紙布類	合成樹脂	木、竹、わら	厨芥類	不燃物	その他	水分	灰分	可燃分			
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)			
平成28年度	1 平成28.05	59.1	31.6	2.1	5.1	0.5	1.6	46.2	7.5	46.3	141.4	7,540
	2 平成28.08	46.8	33.9	4.0	9.7	0.7	4.9	54.5	5.3	40.2	178.8	6,180
	3 平成28.11	48.6	31.5	11.7	6.4	0.1	1.7	46.8	4.7	48.5	176.4	7,960
	4 平成29.02	56.4	23.7	5.1	6.4	6.3	2.1	52.6	8.7	38.7	166.5	6,480
平成29年度	5 平成29.05	66.9	24.6	3.8	2.1	2.0	0.6	27.6	9.9	62.5	152.9	12,640
	6 平成29.08	25.4	32.0	5.3	33.5	2.1	1.7	58.1	3.7	38.2	213.3	8,300
	7 平成29.11	54.3	29.1	5.1	9.6	0.5	1.4	42.9	7.6	49.5	126.2	11,090
	8 平成30.02	38.8	40.0	0.9	15.9	0.5	3.9	50.0	5.8	44.2	115.2	10,130
平成30年度	9 平成30.05	38.1	36.5	3.9	16.3	3.4	1.8	52.1	5.9	42.0	144.0	9,080
	10 平成30.08	23.3	42.8	4.8	24.4	2.0	2.7	52.6	6.0	41.4	153.0	9,370
	11 平成30.11	49.6	19.5	21.0	6.6	1.4	1.9	54.0	4.3	41.7	137.0	7,190
	12 令和元.02	27.1	48.0	1.3	21.5	0.7	1.4	47.3	5.4	47.3	103.8	11,740
令和元年度	13 令和元.05	47.5	21.6	5.3	20.3	1.3	4.0	45.9	6.7	47.4	125.2	8,270
	14 令和元.08	67.2	23.4	4.6	3.8	0.1	0.9	39.9	5.5	54.6	160.5	10,570
	15 令和元.11	51.1	22.8	8.3	9.8	3.9	4.1	47.8	5.8	46.4	164.2	7,970
	16 令和2.02	44.2	45.8	1.3	7.1	0.0	1.6	51.9	7.1	41.0	145.2	9,560
令和2年度	17 令和2.05	63.8	24.0	1.6	7.9	0.0	2.7	31.2	8.7	60.1	151.0	11,520
	18 令和2.08	56.5	19.5	14.5	4.5	3.5	1.5	53.8	5.1	41.1	164.5	5,560
	19 令和2.11	57.7	17.9	20.2	2.6	0.3	1.3	59.0	2.8	38.2	214.7	7,910
	20 令和3.02	61.3	22.1	1.9	9.9	3.7	1.1	46.5	6.3	47.2	155.8	8,410
	最大値	67.2	48.0	21.0	33.5	6.3	4.9	59.0	9.9	62.5	214.7	12,640
	最小値	23.3	17.9	0.9	2.1	0.0	0.6	27.6	2.8	38.2	103.8	5,560
	平均値	49.2	29.5	6.3	11.2	1.7	2.1	48.0	6.1	45.8	154.5	8,874

(資料：R2.09精密機能検査報告書、R2ごみ質分析結果)

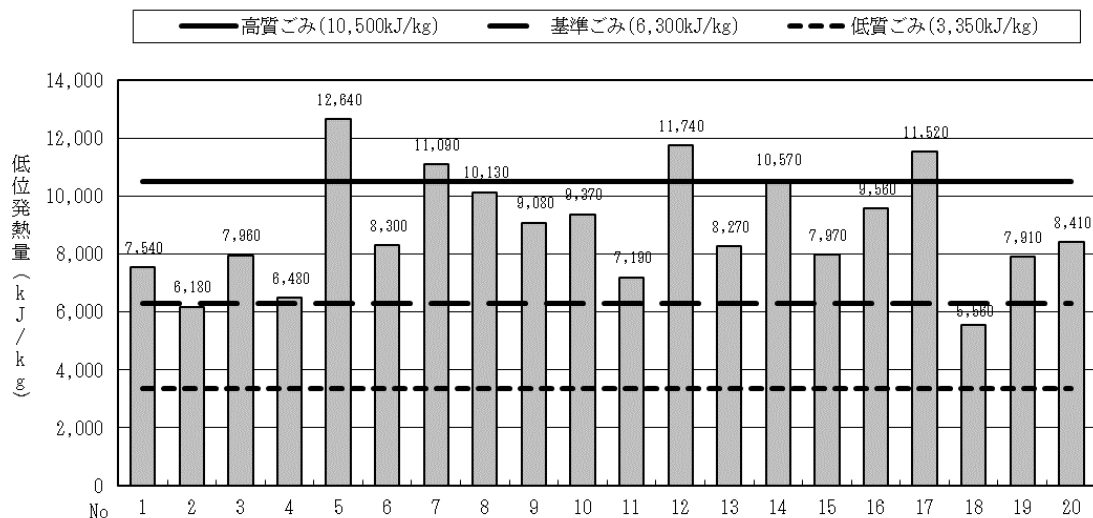


図4-3-5 低位発熱量の推移

6. 公害防止

1) 熱しゃく減量

過去5か年度における熱しゃく減量※の測定結果を表4-3-6及び図4-3-6に示す。測定結果は概ね6%以下となっており、維持管理基準である10%以下となっている。

表4-3-6 熱しゃく減量の推移

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成28年度	2.2	2.0	3.1	3.4	3.6	3.6	5.1	3.8	4.8	2.7	0.6	1.7	3.1
平成29年度	4.1	4.2	4.5	4.6	3.8	3.3	5.5	3.9	3.1	4.9	4.0	3.8	4.1
平成30年度	4.7	4.1	6.2	4.5	6.1	6.3	5.7	5.1	4.0	6.1	6.1	5.1	5.3
令和元年度	5.0	4.3	5.6	4.7	4.4	4.4	5.3	4.7	4.3	5.1	5.2	6.1	4.9
令和2年度	3.7	3.8	4.4	5.1	6.1	4.8	4.5	3.2	6.3	6.1	3.5	4.6	4.8

※R. 6月については1炉・2炉の平均値である。

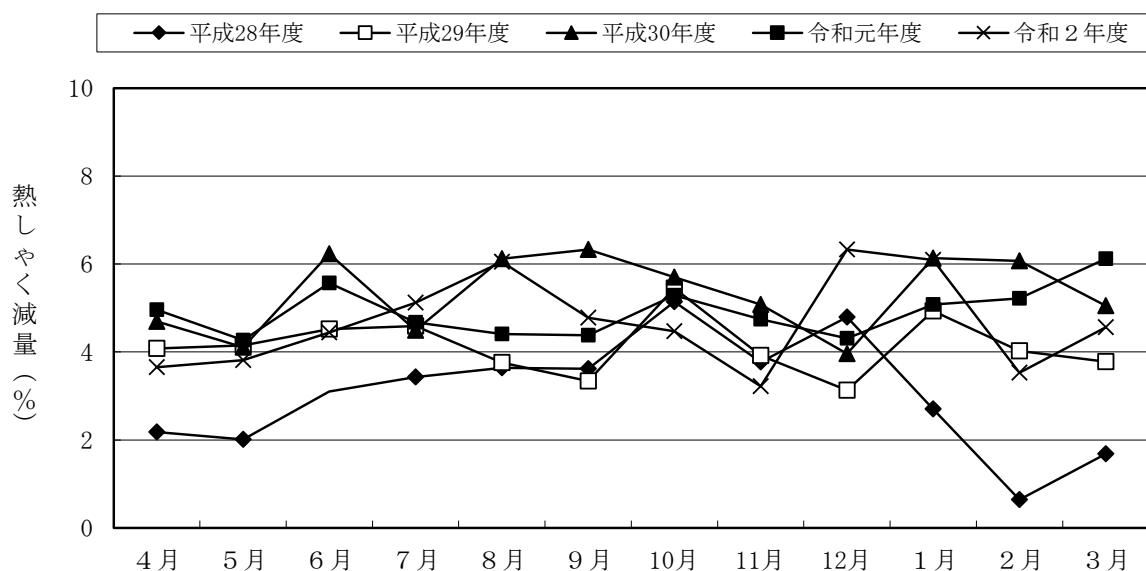


図4-3-6 熱しゃく減量の推移

※「熱しゃく減量」とは、焼却灰を高温に熱した際に減る量を熱する前の量で除した値である。高温に熱する前の焼却灰に含まれる未燃焼成分がどの程度あるかを示す指標であり、燃えるごみが焼却炉において完全燃焼されているか否かを示している。

2) 排ガス

過去5か年度における排ガス中のばい煙分析結果を表4-3-7に示す。
測定項目のいずれについても、基準値を下回っている。

表4-3-7 排ガス測定結果

区分	項目	ばいじん		硫黄酸化物		窒素酸化物※1		塩化水素		水銀	
	基準値	0.05		100		250		200		50	
	単位	g/Nm ³		ppm		ppm		ppm		(μg/Nm ³)	
		1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉
平成28年度	1回目	0.0016	<0.0008	54	50	150	150	100	110		
	2回目	<0.0009	0.0026	30	25	97	120	18	80		
平成29年度	1回目	<0.001	<0.001	54	51	130	120	32	130		
	2回目	<0.001	<0.001	35	73	130	110	36	74		
平成30年度	1回目	<0.001	<0.0008	11	32	130	130	<20	110	0.61	0.09
	2回目	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	2.6
令和元年度	1回目	<0.001	0.007	18	36	110	150	<19	<17	26	46.00
	2回目	<0.001	0.002	46	<7	120	140	57	20	8.1	0.48
	3回目	0.006	<0.0008	44	22	140	130	93	<16	5.5	1.6
令和2年度	1回目	<0.001	0.002	29	31	120	130	83	61	4.0	6.0
	2回目	<0.001	0.003	30	40	130	140	93	<26	1.8	1.2
	3回目	0.003	<0.001	<10	10	120	140	<26	<23	3.6	3.0
最大値※2		0.007		73		150		130		46	
最小値※2		0.002		10		97		18		0	
平均値※2		0.003		36.05		128.95		73.13		7.31	

※1 窒素酸化物に係る基準は目標値

※2 未満表示は除外して算出

3) ダイオキシン類

過去5か年度におけるダイオキシン類（排ガス、焼却灰、ばいじん）の測定結果を表4-3-8に示す。

ばいじん中のダイオキシン類濃度が基準値（3.0ng-TEQ/g）を超過している場合があるが、薬剤処理を行って適正に処分している。

表4-3-8 ダイオキシン類測定結果

区分	項目	排ガス		焼却灰		ばいじん	
	基準値	1		3		3	
	単位	ng-TEQ/m ³ N		ng-TEQ/g		ng-TEQ/g	
		1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉
平成28年度		0.22	0.19	0.0013	0.0076	5.0	13.0
平成29年度		0.31	0.63	0.0038	0.015	3.3	10.0
平成30年度		0.15	0.77	0.00029	0.013	3.1	4.1
令和元年度		0.31	0.034	0.00045	0.0066	8.4	2.9
令和2年度		0.028	0.059	0.00033	0.0047	9.6	8.9
最大値		0.77		0.02		13.0	
最小値		0.03		0.00		2.9	
平均値		0.27		0.01		6.8	

7. 温室効果ガス排出量

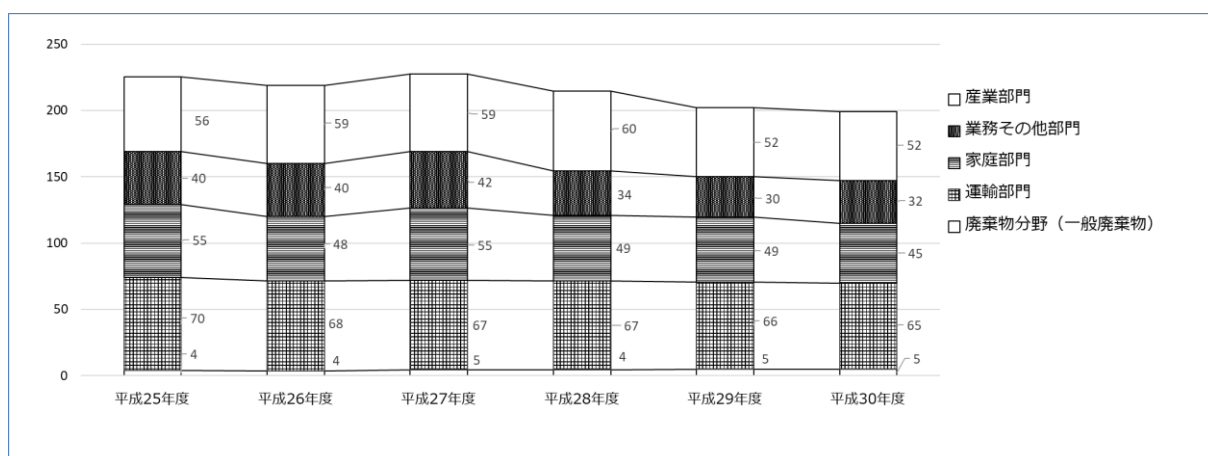
本市における温室効果ガス排出量の経年変化、部門・分野別構成比の比較を表4-3-9、図4-3-7及び図4-3-8に示す。

本市の温室効果ガスの排出量は、全国・県平均と比べると産業部門、業務その他部門は低い数値となっているが、家庭部門、運輸部門、廃棄物分野に関してはいずれも上回った排出量となっている。

表4-3-9 部門・分野別の温室効果ガス排出量の経年変化

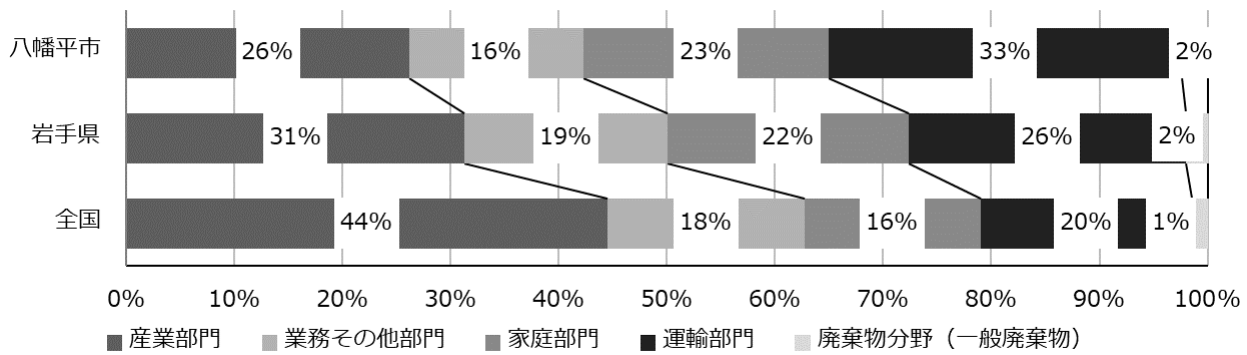
部門・分野	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	排出量 (千t-CO2)	排出量 (千t-CO2)	排出量 (千t-CO2)	排出量 (千t-CO2)	排出量 (千t-CO2)	排出量 (千t-CO2)
合 計	225	219	228	215	202	199
産業部門	56	59	59	60	52	52
製造業	34	36	38	36	30	31
建設業・鉱業	4	4	4	4	4	3
農林水産業	18	20	17	21	18	18
業務その他部門	40	40	42	34	30	32
家庭部門	55	48	55	49	49	45
運輸部門	70	68	67	67	66	65
自動車	68	66	66	65	64	63
旅客	30	28	28	27	27	26
貨物	38	38	38	38	37	37
鉄道	2	2	2	2	2	2
船舶	0	0	0	0	0	0
廃棄物分野(一般廃棄物)	4	4	5	4	5	5

(引用：自治体排出量カルテ、環境省)



(引用：自治体排出量カルテ、環境省)

図4-3-7 部門・分野別の温室効果ガス排出量の経年変化



(引用：自治体排出量カルテ、環境省)

図 4-3-8 部門・分野別構成比の比較（平成 30 年度）

8. ごみ処理経費

過去5か年度におけるごみ処理に係る経費を表4-3-10及び図4-3-9に示す。

処理及び維持管理費は、概ね4億円で推移している。

なお、平成29年度から平成30年度の建設・改良費における中間処理施設の工事費は、主に八幡平市清掃センターの基幹的設備改良事業に要した費用である。

表4-3-10 ごみ処理経費

(単位：千円)

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
建設・改良費	工事費						
	収集運搬施設	0	0	0	0	0	
	中間処理施設	0	10,584	1,186,433	0	0	
	最終処分場	0	0	486	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	工事費小計	0	10,584	1,186,919	0	0	
調査費	0	0	0	0	0		
組合分担金	0	0	0	0	0		
建設・改良費小計		0	10,584	1,186,919	0	0	
処理及び維持管理費	人件費	一般職	2,844	3,044	2,965	3,239	3,076
		技能職	0	0	0	0	0
		収集運搬	0	0	0	0	0
		中間処理	0	0	0	0	0
	最終処分	0	0	0	0	0	
	人件費小計		2,844	3,044	2,965	3,239	3,076
	処理費	収集運搬費	0	0	0	0	0
		中間処理費	1,008	980	446	458	461
		最終処分費	96	79	79	80	142
		処理費小計		1,104	1,059	525	538
	車両等購入費		0	0	0	0	0
	委託費	収集運搬費	119,648	121,760	125,653	128,962	128,962
		中間処理費	300,202	277,563	283,048	291,935	293,496
		最終処分費	31,817	30,823	31,433	32,418	32,594
		その他	172	0	0	0	0
委託費合計		451,839	430,146	440,134	453,315	455,052	
組合分担金		0	0	0	0	0	
調査研究費		0	0	0	0	0	
処理及び維持管理費小計		455,787	434,249	443,624	457,092	458,731	
その他		0	0	0	0	0	
合計		455,787	444,833	1,630,543	457,092	458,731	

(資料：環境省一般廃棄物処理実態調査)

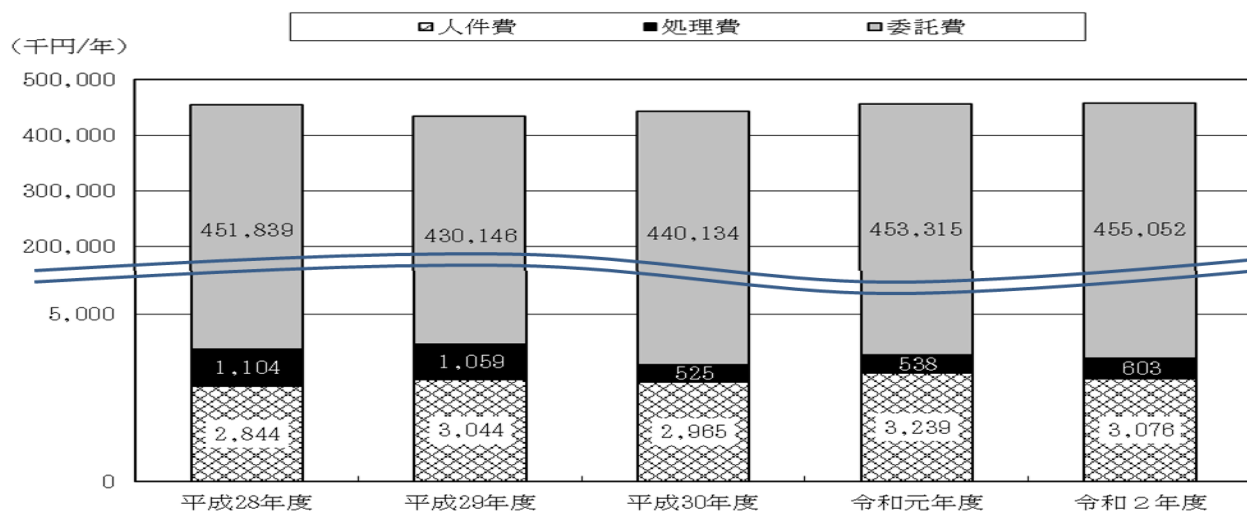


図4-3-9 ごみ処理経費 (処理及び維持管理費)

第5章 現況の評価と課題の抽出

第1節 現況の評価

1. 目標の達成状況

平成29年3月策定の当初計画における各種目標値の達成状況を表5-1-1に示す。

ごみ排出量の減量は、生活系ごみ、事業系ごみともに計画どおりに進捗していない状況にある。

資源化率は、概ね計画どおりの値となっている。

最終処分量は、ごみ排出量の減量と同様に計画どおりに進捗していない状況にある。

表5-1-1 当初計画における各種目標値の達成状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値 (令和12年度)
計画値 (現行)	生活系ごみ	722 g/人日	716 g/人日	709 g/人日	704 g/人日	697 g/人日	633 g/人日以下
	事業系ごみ	336 g/人日	331 g/人日	327 g/人日	324 g/人日	320 g/人日	278 g/人日以下
	資源化率	11.6%	11.6%	11.7%	11.8%	11.9%	20.6%以上
	最終処分量	1,396 t	1,356 t	1,321 t	1,294 t	1,255 t	1,000 t以下
実績値	生活系ごみ	754 g/人日 (+32)	737 g/人日 (+21)	759 g/人日 (+50)	791 g/人日 (+87)	818 g/人日 (+121)	
	事業系ごみ	347 g/人日 (+11)	359 g/人日 (+28)	361 g/人日 (+34)	368 g/人日 (+44)	336 g/人日 (+16)	
	資源化率	11.1% (-0.5)	11.9% (+0.3)	10.9% (-0.8)	10.4% (-1.4)	10.7% (-1.2)	
	最終処分量	1,452 t (+56)	1,465 t (+109)	1,454 t (+133)	1,464 t (+170)	1,505 t (+250)	

※ () 内の数値は前計画の計画値と実績値の差を示したものである。

2. 一般廃棄物処理に係る国の指針

平成19年6月に策定(平成25年4月改訂)された「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針(以下「処理システム指針」という。)」、「一般廃棄物処理有料化の手引き(以下「有料化の手引き」という。)」及び「一般廃棄物会計基準」は、「3つのガイドライン」として、地方自治体における循環型社会の形成に向け、3Rに重点を置いた最適なりサイクル・処理システムの構築を図るため環境省が策定したものである。

3. 分別収集区分

処理システム指針では分別収集区分が類型化されて示されており、分別収集区分の現状に応じて見直しの際の目安を以下のとおり示している。

- ・ 類型Ⅰの水準に達していない市町村にあつては類型Ⅰ又は類型Ⅱ
- ・ 類型Ⅰ又はこれに準ずる水準の市町村にあつては類型Ⅱ
- ・ 類型Ⅱ又はこれに準ずる水準の市町村、その他の意欲ある市町村にあつては類型Ⅲ

表5-1-2に、処理システム指針における一般廃棄物の標準的な分別収集区分と本市の適合状況を示す。現時点における本市の分別収集区分は、類型Ⅱに相当すると考えられる。

表5-1-2 処理システム指針における一般廃棄物の標準的な分別収集区分と本市の適合状況

類型Ⅰ	類型Ⅱ	類型Ⅲ	本市の適合状況
① 資源回収する容器包装 ①-1 アルミ缶・スチール缶 ①-2 ガラスびん ①-3 ペットボトル	① 資源回収する容器包装 ①-1 アルミ缶・スチール缶 ①-2 ガラスびん ①-3 ペットボトル ①-4 プラスチック製容器包装 ①-5 紙製容器包装	① 資源回収する容器包装 ①-1 アルミ缶・スチール缶 ①-2 ガラスびん ①-3 ペットボトル ①-4 プラスチック製容器包装 ①-5 紙製容器包装	【 類型Ⅱに相当 】 ① 資源回収する容器包装 ①-1 設定済 ①-2 設定済 ①-3 設定済 ①-4 未設定 ①-5 設定済 (雑紙として回収)
② 資源回収する古紙類・布類等の資源ごみ (集団回収含む)	② 資源回収する古紙類・布類等の資源ごみ (集団回収含む)	② 資源回収する古紙類・布類等の資源ごみ (集団回収含む)	② 設定済
		③ 資源回収する生ごみ、廃食用油等のハイマス	③ 未設定
	④ 小型家電	④ 小型家電	④ 設定済
⑤ 燃やすごみ (廃プラスチック類を含む)	⑤ 燃やすごみ (廃プラスチック類を含む)	⑤ 燃やすごみ (廃プラスチック類を含む)	⑤ 設定済
⑥ 燃やさないごみ	⑥ 燃やさないごみ	⑥ 燃やさないごみ	⑥ 設定済
⑦ その他専用の処理のために分別するごみ	⑦ その他専用の処理のために分別するごみ	⑦ その他専用の処理のために分別するごみ	⑦ 設定済 (カセットボンベ・スプレー缶)
⑧ 粗大ごみ	⑧ 粗大ごみ	⑧ 粗大ごみ	⑧ 設定済

4. 適正な循環的利用・適正処分の方法

処理システム指針では分別区分と同様に、適正な循環的利用・適正処分の方法について、容器包装、資源ごみ、燃やすごみ等の分別収集の区分ごとに、複数の選択肢が示されており、その中から各自の地域事情に応じて適切な方法を選択するものとなっている。

表5-1-3に処理システム指針における適正な循環的利用・適正処分の方法に対する本市における方法を示す。

表5-1-3 処理システム指針における適正な循環的利用・適正処分の方法

分別収集区分	適正な循環的利用・適正処分の方法		本市における方法	
①資源回収する容器包装	①-1 アルミ缶・スチール缶	素材別に排出源で分別するか、又は、一部の区分について混合収集し、収集後に選別する（ただし、再生利用が困難とならないよう混合収集するものの組合せに留意することが必要）こととなるため、分別の程度や混合収集するものの組合せに応じ、中間処理施設において異物の除去、種類別の選別を行い、種類に応じて圧縮又は梱包を行う。付着した汚れの洗浄が困難なものについて、容器包装に係る分別収集の対象からの適切な除去を図る。ガラスびんについてはリターナブルびんとそれ以外を分別・選別する。	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミ・スチール缶の回収業者等への売却等による再生利用 ・容器包装リサイクル協会の引き取り等による再商品化 ・除去した異物について、熱回収施設で適正処分 	①-4を除く項目について分別収集し、資源化処理を行っている。
	①-2 ガラスびん			
	①-3 ペットボトル			
	①-4 プラスチック製容器包装			
	①-5 紙製容器包装			
②資源回収する古紙類・市類等の資源ごみ	排出源で分別し、集団回収又は行政回収により集め、必要最小限の異物除去、必要に応じて梱包等を行い、そのまま売却	<ul style="list-style-type: none"> ・回収業者等への売却等による再生利用 ・除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分 	分別収集し、資源化処理を行っている。	
③資源回収する生ごみ、廃食用油等のバイオマス	排出源で分別する	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料化 ・堆肥化 ・メタン化（生ごみに併せ紙ごみ等のセルロース系のものをメタン化することもある） ・バイオディーゼル燃料化（メチルエステル化する） ・堆肥化・チップ化 	<ul style="list-style-type: none"> ・回収した堆肥・飼料の適正利用、チップの燃料利用 ・回収したメタンの発電や燃料としての利用、バイオディーゼル燃料の燃料利用 ・除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分 	現時点では分別収集していない。
	生ごみ			
	廃食用油			
	剪定枝等木質ごみ			
排出源で分別せず燃やすごみと混合収集し、生ごみ等のバイオマスを選別	<ul style="list-style-type: none"> ・メタン化 			
④小型家電	排出源で分別するか、又は、他の区分と混合収集し、収集後に選別する（ただし、再生利用が困難とならないよう混合収集するものの組合せに留意することが必要）	<ul style="list-style-type: none"> ・認定事業者等への引渡しによる有用金属の回収・再資源化 	分別収集又は直接搬入で受入れ、認定事業者等へ引き渡している。	
⑤燃やすごみ	ストーカ方式等による従来型の焼却方式（灰溶融方式併設を含む）	最終処分場で適正処分	<ul style="list-style-type: none"> ・燃焼に当たっては回収した熱をエネルギーとしてできる限り利用することを基本とする。エネルギー利用は、発電及び蒸気又は温水による熱供給（発電と熱供給の組合せを含む）をできるだけ行うこととする。 	燃えるごみとして分別収集し、焼却処理を行っている。燃焼によって生じた一部の余熱は温水として利用している。
		<ul style="list-style-type: none"> ・セメント原料化 ・灰溶融しスラグ化 ・薬剤等により安定化処理し最終処分 ・セメント原料化 ・山元還元 		
⑥燃やさないごみ	金属等の回収、燃やせる残さの選別、かさばるものの減容等の中間処理	<ul style="list-style-type: none"> ・金属等の回収業者等への売却等による再生利用 ・除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分 	粗大ごみ処理施設にて破砕・選別処理を行っている。回収した金属類は資源化業者へ引き渡しを行っている。また不燃物は最終処分場で適正に処分を行っている。	
⑦その他専用の処理のために分別するごみ	性状に見合った処理及び保管	<ul style="list-style-type: none"> ・性状に見合った再生利用又は適正処分 	カセット式ボンベ及びスプレー缶を分別収集し、施設内にて処理を行っている。	
⑧粗大ごみ	修理等による再使用、金属等の回収、燃やせる残さの選別、かさばるものの減容等の中間処理	<ul style="list-style-type: none"> ・修理等して再使用 ・金属等の回収業者等への売却等による再生利用 ・除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分 	燃えないごみと同様。	

5. 一般廃棄物処理システムの評価

1) 評価項目

処理システム指針では、一般廃棄物処理システムについて環境負荷面や経済面等から客観的な評価を行い、住民や事業者に対して明確に説明できるよう努める必要があるとしている。その客観的な評価のための標準的な評価項目を表5-1-4に示す。

表5-1-4 一般廃棄物処理システムの標準的な評価項目

視点	指標で測るもの	指標の名称	単位	計算方法	指数化の方法	指数の見方
循環型社会形成	廃棄物の発生	人口1人1日当たりごみ総排出量	kg/人・日	(年間収集量+年間直接搬入量+集団回収量)÷計画収集人口÷365日(又は366日。以下同じ。)	(1-[実績値-平均値]÷平均値)×100	指数が大きいほどごみ総排出量は少なくなる
	廃棄物の再生利用	廃棄物からの資源回収率	t/t	総資源化量÷(年間収集量+年間直接搬入量+集団回収量)	実績値÷平均値×100	指数が大きいほど資源回収率は高くなる
	エネルギー回収・利用	廃棄物からのエネルギー回収量	MJ/t	エネルギー回収量(正味) ^{※1} ÷熱回収施設(可燃ごみ処理施設)における総処理量	実績値÷平均値×100	指数が大きいほどエネルギー回収量は多くなる
	最終処分	廃棄物のうち最終処分される割合	t/t	最終処分量÷(年間収集量+年間直接搬入量+集団回収量)	(1-[実績値-平均値]÷平均値)×100	指数が大きいほど最終処分される割合は小さくなる
地球温暖化防止	温室効果ガスの排出	廃棄物処理に伴う温室効果ガスの人口1人1日当たり排出量	kg/人・日	温室効果ガス排出量(正味) ^{※2} ÷人口÷365日	(1-[実績値-平均値]÷平均値)×100	指数が大きいほど温室効果ガスの排出量は少なくなる
公共サービス	廃棄物処理サービス	住民満足度	-	※3	実績値÷平均値×100	指数が大きいほど住民満足度は高くなる
経済性	費用対効果	人口1人当たり年間処理経費	円/人・年	廃棄物処理に要する費用÷計画収集人口	(1-[実績値-平均値]÷平均値)×100	指数が大きいほど一人当たり処理経費は少なくなる
		資源回収に要する費用	円/t	資源化に要する総費用(正味)÷総資源化量	(1-[実績値-平均値]÷平均値)×100	指数が大きいほど費用対効果は高くなる
		エネルギー回収に要する費用	円/MJ	エネルギー回収に要する総費用(正味)÷エネルギー回収量(正味)	(1-[実績値-平均値]÷平均値)×100	指数が大きいほど費用対効果は高くなる
		最終処分減量に要する費用	円/t	最終処分減量に要する総費用÷(年間収集量+年間直接搬入量+集団回収量)	(1-[実績値-平均値]÷平均値)×100	指数が大きいほど費用対効果は高くなる

※1 エネルギー回収量:エネルギー回収量(所内・所外利用)[MJ]-施設での購入電力量[kWh]×3.6[MJ/kWh]-燃料の種類毎の消費量×燃料の種類毎の発熱量[MJ/単位]

※2 温室効果ガス排出量:各過程(収集、中間処理、最終処分)における温室効果ガスの排出量[kg-CO₂/年]

※3 住民満足度:アンケート調査等による評価

2) 本市の状況

表5-1-4に示す評価項目のうち、人口規模等が類似している自治体と比較可能な5項目について評価した結果を図5-1-1に示す。

評価に用いているデータは、令和3年度における一般廃棄物処理実態調査結果（令和元年度実績）である（データ出典は環境省 HP）。

いずれの項目も類似自治体平均値（50）よりも低い評価結果となっている。特に「人口1人1日当たりごみ総排出量」は偏差値が33.3と著しく低い値となっている。

標準的な指標1（偏差値によるレーダーチャート）

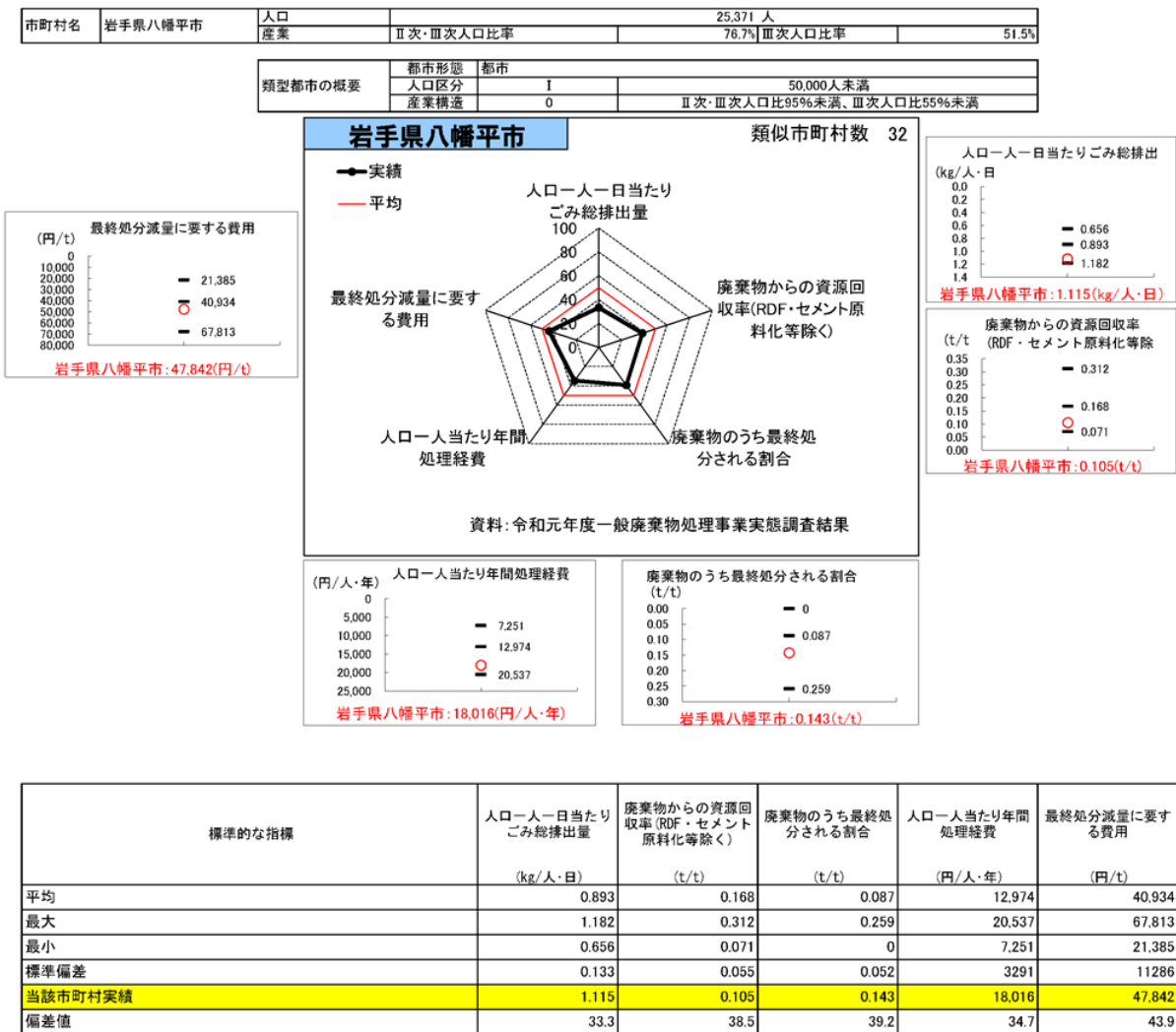


図5-1-1 一般廃棄物処理システム評価指標の評価結果

第2節 課題の抽出

1. 排出段階及び収集運搬段階に関する課題

家庭系ごみ、事業系ごみともに排出段階における発生抑制が計画どおりに進捗していない状況にあり、排出段階における発生抑制のより一層の推進が必要である。

ごみの排出（分別の指導）及び収集運搬に関する課題として以下の項目が挙げられる。

- 家庭系ごみの有料化によるごみ排出量削減
- 事業系ごみの排出量削減の推進
- 分別収集拡大に応じた収集運搬計画の見直し

1) 家庭系ごみの有料化による排出量削減

本市の人口1人1日当たりごみ総排出量は類似自治体と比較して非常に多く、過去5か年ともに1,000g/人・日を超過している状況にある。

ごみ総排出量の削減に効果があるとされているごみ有料化について、事業系ごみは既に搬入量に応じて手数料を徴収している。一方、家庭系ごみは燃えるごみ、ペットボトル及びトレイ類は指定袋を、紙類は指定袋又は指定紐を購入して排出することになっているものの、指定袋や指定紐の購入費用に処理手数料を上乗せしていないため、現状は有料化の手引きでいう「有料化」には該当しない。

家庭系ごみに対する有料化の導入については、今後も県内外の自治体における動向を見極めながら継続的に検討していく必要がある。

2) 事業系ごみの排出量削減の推進

事業系ごみは、平成28年度から令和元年度まで増加傾向を示し、令和2年度に減少傾向を示している。令和2年度はコロナ禍の影響を考慮すると、全体としては増加傾向の状況にあると考えられる。

今後は、事業者への啓発や指導についてより一層の推進が必要がある。

3) 分別収集拡大に応じた収集運搬計画の見直し

本市では家庭系ごみを大きく分けて3種類（可燃ごみ、不燃ごみ（粗大ごみと埋立ごみを含む）、資源ごみ）に区分している。特に資源ごみは、空き缶類、空きびん類、ペットボトル、トレイ類、紙類（新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、雑紙）と細かく分別排出することとしている。

今後はこれらに加えてプラスチック製容器包装、並びに令和4年4月から施行の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づくプラスチック資源についても分別排出することを検討している。

一方、このように分別区分が細かくなると、収集運搬に要する費用は右肩上がりとなる恐れがある。そのため、分別区分の変更を行う際は、分別区分全品目の収集頻度、収集ルートなどを再点検し、収集運搬に係る費用を低減させるべく収集運搬計画を見直す必要がある。

2. 資源化に関する課題

資源化に関する課題としては、以下の項目が挙げられる。

○資源化率の向上

1) 資源化率の向上

本市では廃棄物からの資源回収率が類似自治体と比較して低い状態にあり、過去5年の資源化率は10%程度に留まっている。

一方、図5-2-1は、1人1日当たり生活系ごみの区分別排出量を類似自治体（32市町村）と比較し偏差値化したものである。燃えないごみや資源ごみは類似自治体と比較して同程度の排出量となっているが、燃えるごみは他と比べて排出量が多い状態となっている。

このため、資源化率の向上を目指すには、燃えるごみである紙類やプラスチック類の分別排出の徹底を重点的に図る必要がある。また、資源化率の向上には燃えるごみの排出量を低減させることが重要であることから、生ごみの発生抑制に係る施策を推進していく必要がある。

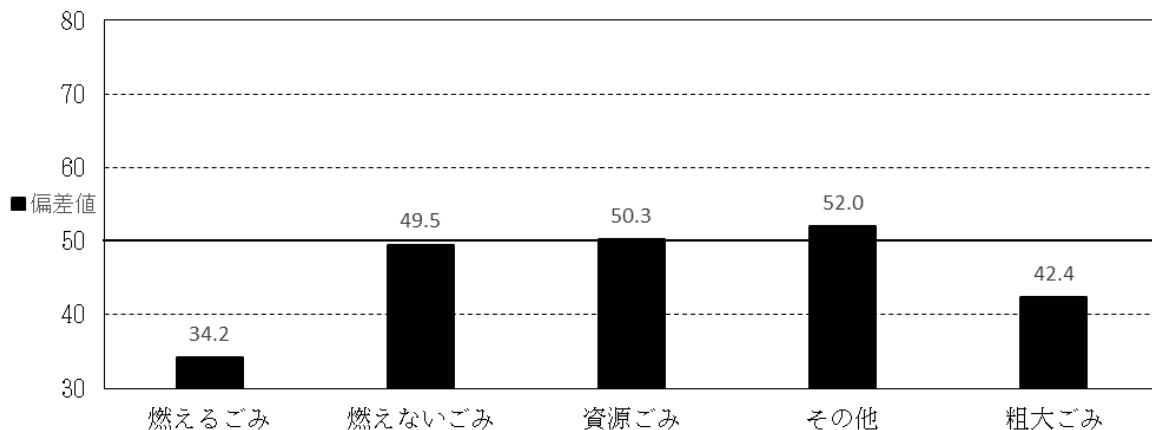


図5-2-1 ごみ区分別排出量指標（類似自治体との比較）

3. 中間処理に関する課題

中間処理に関する課題としては、以下の項目が挙げられる。

○広域ごみ処理施設稼働を見越したごみ焼却施設の適正な維持管理

1) 広域ごみ処理施設稼働を見越したごみ焼却施設の適正な維持管理

県の広域化計画に基づき、本市を含む県央ブロックを構成する自治体は「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」を設立し、ごみ処理及びし尿処理の広域化について検討を進めている。このうちごみ処理については新たな広域ごみ焼却施設の稼働開始を目指して検討を進めているところである。

一方、平成10年度に稼働を開始した本市清掃センターごみ焼却施設は、ごみ焼却施設を構成する各設備・機器は経年を主因とした性能の低下、不具合や故障の増加から、平成29年度から平成30年度に基幹的設備改良工事を実施したところである。しかし、施設全体としては、令和4年度で稼働から25年目を迎えるため、基幹的設備改良工事を実施しなかった設備を中心に引き続き経年を主因とした性能の低下、不具合や故障についての配慮が必要な状況である。

こうした背景を踏まえ、広域ごみ焼却施設が稼働するまでは、本市から発生する燃えるごみ等を本市清掃センターごみ焼却施設において適正に処理しなければならないことから適正な維持管理を実施していく必要がある。

4. 最終処分に関する課題

最終処分に関する課題としては、以下の項目が挙げられる。

- 栗日影沢最終処分場の廃止
- 一般廃棄物最終処分場の適正管理と残余容量（残余年数）把握

1) 栗日影沢最終処分場の廃止

本市が所有する最終処分場は、昭和 62 年に供用開始した栗日影沢最終処分場と、平成 24 年に供用開始した一般廃棄物最終処分場の 2 箇所である。このうち栗日影沢最終処分場は既に埋立を終了しており、今後は最終処分場の廃止に係る技術上の基準に基づき廃止に向けた手続きを進めていくとともに、廃止まで適切な維持管理を継続していく必要がある。

2) 一般廃棄物最終処分場の適正管理と残余容量（残余年数）把握

埋立中である一般廃棄物最終処分場については、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を遵守しつつ適正に管理していく必要がある。

また、「最終処分場残余容量算定マニュアル（環境省・平成 17 年 3 月）」に基づいて残余容量調査を実施し正確な残余年数を把握することで、嵩上げ工事の実施時期や次期最終処分場の整備開始時期の目途をつけることが可能となることから、少なくとも年に 1 回は当該調査を継続して実施し、現状把握を行う必要がある。

5. その他の課題

その他の課題としては、以下の項目が挙げられる。

○災害廃棄物処理計画への対処に係る体制構築

1) 災害廃棄物処理計画への対処に係る体制構築

近年は東日本大震災、台風災害といった大規模な災害が頻発している。これらの災害に伴って発生する災害廃棄物は一般廃棄物であることから、原則として自治体が所有する一般廃棄物処理施設において適正に処理することが求められる。

また、災害廃棄物は一度に大量に発生するとともに、可燃系や不燃系が混合した状態で各施設に搬入されるという特徴を有するため、災害が発生してから慌てて対応するのではなく、予め災害廃棄物の処理に関する詳細な計画を策定しておく必要がある。

このような状況から本市では、令和3年4月に災害廃棄物処理計画を策定し、平時からの災害廃棄物に対処する体制づくりの構築を進めているところである。今後は、災害廃棄物処理計画の市民への周知を図るなど、災害廃棄物への対処に係る体制構築の推進と強化を図っていく必要がある。

第6章 計画処理量の予測

第1節 ごみの発生量及び処理量推計

1. 各種予測を行う上での基本方針

将来のごみ発生量と処理・処分量の動向を把握するため、計画対象区域内人口と計画ごみ量の予測を行う。予測に当たっては、「ごみ処理施設構造指針解説（構造指針）」において参考推計方法として記載されている回帰式による予測を主として用いるものとする。構造指針では、計画対象区域内人口の予測に関しては過去10か年分のデータ、計画ごみ量の予測に関しては過去5か年分のデータを用いることとなっている。

回帰式予測は、過去の実績をグラフにプロットしてその規則性を見出し、さらにその規則性により適合する傾向線を最小二乗法により算出する方法である。回帰式を採用する場合、原則として相関係数の最も高い式を採用することとする。

なお、計画対象区域内人口を予測する場合には、回帰式による方法のほか、国立社会保障・人口問題研究所が公表している推計人口を活用する方法もある。

一方、ごみ量を予測する場合には、同じく回帰式による方法のほか、増加や減少の幅が著しく大きい式や、減少により値が“0”となるような実現性の低い式については、過去の実績との相関が認められないと判断し、別途過去5か年分の平均値や直近値を用いる方法もある。

以上から、計画対象区域内人口及び計画ごみ量の予測に採用する回帰式等を以下に示す。

① 直線回帰式	$y = a x + b$	} 回帰式
② 分数回帰式	$y = a / x + b$	
③ ルート回帰式	$y = a x^{1/2} + b$	
④ 対数回帰式	$y = a \log x + b$	
⑤ べき乗回帰式	$y = a x^b$	
⑥ 指数回帰式	$y = a b^x$	
⑦ 直近推移式	直近実績値が継続する	} その他
⑧ 実績平均式	過去5か年分実績の平均値が継続する	
⑨ 人口問題研究所の式	同研究所公表の推計値を採用する	

また、回帰式については、以下の方針に基づいて選定する。

<p>～ 人口推計及び計画ごみ量推計における回帰式等採用方針 ～</p> <p>a) 原則として相関係数が最も高い式を選定する。</p> <p>b) ただし、相関係数が最も高くとも、大きく減少したり、増加したりする式である場合は、現実性を考慮して直近推移式又は実績平均式を採用する。</p>

2. 計画対象区域内人口の予測

1) 人口予測結果（回帰予測）

過去10か年度（平成23～令和2年度）の各年10月1日現在における人口（広域振興圏別・市町村別人口の推移）を基に予測した人口を表6-1-1及び図6-1-1に示す。

表6-1-1 人口予測結果

年度	年目	実績						(単位：人)
平成23年度	1	28,266						
平成24年度	2	27,774						
平成25年度	3	27,323						
平成26年度	4	26,913						
平成27年度	5	26,355	直線式 $y = -477.67878x + 28758.1333$					
平成28年度	6	25,861	分数式 $y = 4194.16624(1/x) + 24902.442$					
平成29年度	7	25,411	ルート式 $y = -2016.1200(\sqrt{x}) + 30660.7746$					
平成30年度	8	25,055	対数式 $y = -1871.8505(\ln x) + 28958.2202$					
令和元年度	9	24,412	べき乗式 $y = 29061.8813 \times (x^{-0.0712998})$					
令和2年度	10	23,939	指数式 $y = 28861.2646 \times (0.9818455^x)$					
年度	年目	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	
令和3年度	11	23,461	23,901	23,628	23,761	23,772	23,503	
令和4年度	12	22,994	24,215	23,417	23,775	23,801	23,097	
令和5年度	13	22,527	24,534	23,218	23,802	23,843	22,699	
令和6年度	14	22,060	24,856	23,031	23,841	23,896	22,309	
令和7年度	15	21,593	25,182	22,852	23,889	23,959	21,926	
令和8年度	16	21,115	25,165	22,596	23,768	23,849	21,528	
令和9年度	17	20,638	25,149	22,348	23,655	23,746	21,137	
令和10年度	18	20,160	25,135	22,107	23,548	23,650	20,754	
令和11年度	19	19,682	25,123	21,873	23,447	23,559	20,377	
令和12年度	20	19,205	25,112	21,644	23,351	23,473	20,007	
令和13年度	21	18,727	25,102	21,422	23,259	23,391	19,644	
令和14年度	22	18,249	25,093	21,204	23,172	23,314	19,287	
令和15年度	23	17,772	25,085	20,992	23,089	23,240	18,937	
令和16年度	24	17,294	25,077	20,784	23,009	23,169	18,593	
令和17年度	25	16,816	25,070	20,580	22,933	23,102	18,256	
令和18年度	26	16,338	25,064	20,381	22,860	23,038	17,924	
令和19年度	27	15,861	25,058	20,185	22,789	22,976	17,599	
令和20年度	28	15,383	25,052	19,992	22,721	22,916	17,279	
令和21年度	29	14,905	25,047	19,804	22,655	22,859	16,966	
令和22年度	30	14,428	25,042	19,618	22,592	22,804	16,658	
相関係数(r)		0.9993	0.8036	0.9870	0.9481	0.9410	0.9987	
r(順位)		1	6	3	4	5	2	

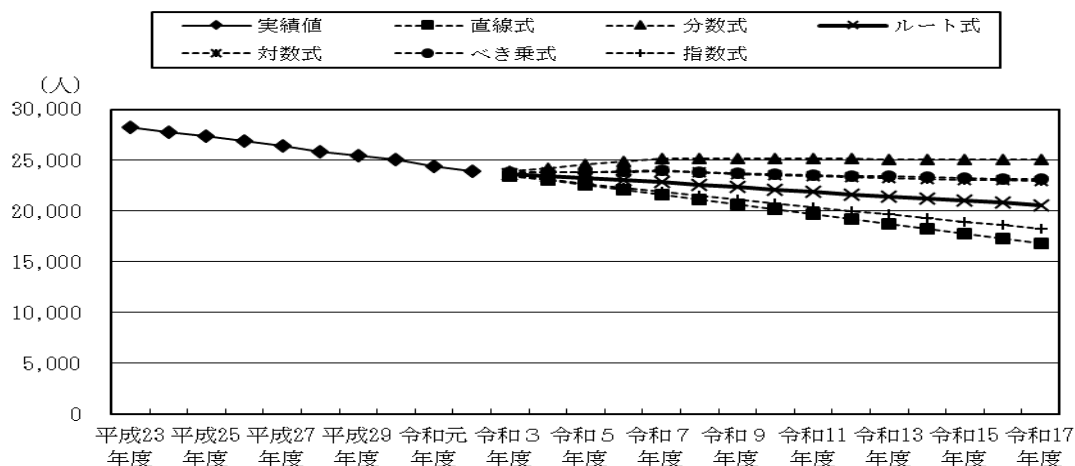


図6-1-1 人口予測結果（回帰予測）

2) 推計人口まとめ

10月1日現在人口をベースとした予測において、相関係数が最も高かった式(直線式)における回帰予測人口のほか、市総合計画における平成37(令和7)年度の計画目標人口(23,000人)をベースとした推計人口、人口問題研究所が公表している推計人口(平成30年3月推計)の3ケースを比較すると表6-1-2及び図6-1-2のとおりである。

本計画では以降のごみ量予測において、推計人口に多少の差異はあるものの、上位計画に位置する「総合計画」をベースとした推計人口(下表太枠)を用いることとする。

表6-1-2 計画対象区域内人口予測結果

		(単位:人)		
	岩手県毎月人口推計	総合計画	人口問題研究所	
平成23年度	28,266	28,266	28,215	
平成24年度	27,774	27,774	27,750	
平成25年度	27,323	27,323	27,285	
平成26年度	26,913	26,913	26,820	
平成27年度	26,355	26,355	26,355	
平成28年度	25,861	25,861	25,892	
平成29年度	25,411	25,411	25,430	
平成30年度	25,055	25,055	24,967	
令和元年度	24,412	24,412	24,505	
令和2年度	23,939	23,939	24,012	
令和3年度	23,461	23,751	23,510	
令和4年度	22,994	23,563	22,978	
令和5年度	22,527	23,376	22,446	
令和6年度	22,060	23,188	21,914	
令和7年度	21,593	23,000	21,382	
令和8年度	21,115	22,812	20,911	
令和9年度	20,638	22,624	20,441	
令和10年度	20,160	22,437	19,970	
令和11年度	19,682	22,249	19,500	
令和12年度	19,205	22,061	19,029	
備考	令和2年度までは県HP「広域振興圏別・市町村別人口の推移(各年10月1日現在)」の人口を用いた。平成22年、平成27年は国勢調査による数値である。また令和3年度以降はR2年度までの実績から相関係数が最も高い回帰式(直線式)の値を用いた。	令和2年度までは岩手県毎月人口推計と同値。補間方法は社人研と同様。総合計画では令和7年度の計画目標人口として23,000人を定めている。また、令和12年度は令和7年度と令和2年度の差を考慮して設定した。令和17年度は令和7年度と令和12年度の差を考慮して設定した。	平成17年度と平成22年度と平成27年度、令和2年度は実績値(国勢調査による)、令和7年度、令和12年度は推計値である。5年間隔での実績・推計であることから、その間の年度は補間を行った。	

※人口問題研究所について、網掛け部は実績人口又は推計人口である。

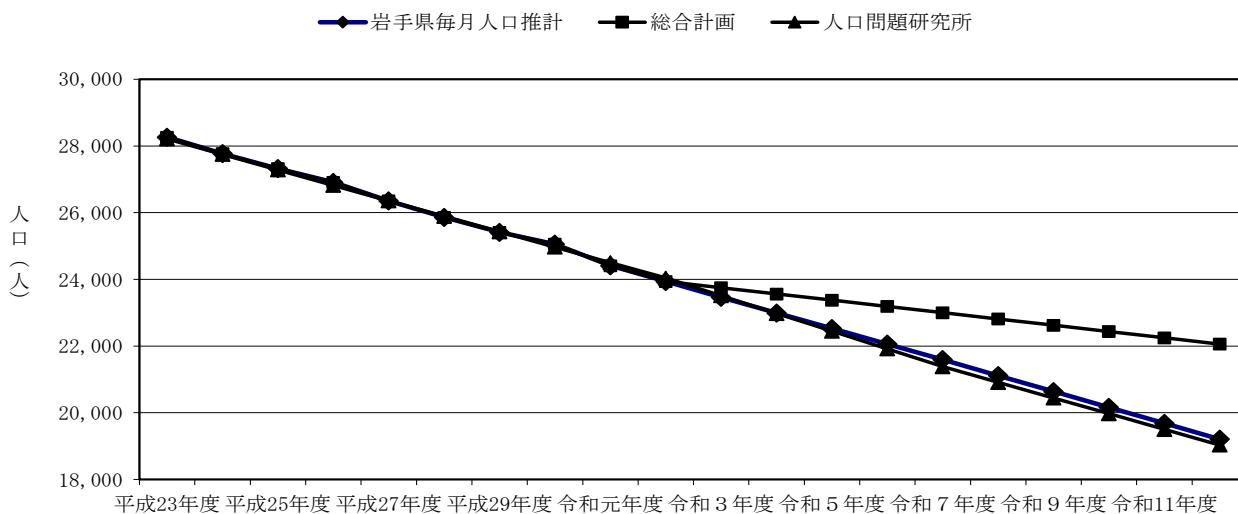


図6-1-2 計画対象区域内人口予測結果

3. ごみ排出量の予測

1) 予測方法

ごみ量の予測に当たっては、主に一般家庭から排出される「生活系ごみ」と、主に事業所から排出される「事業系ごみ」の2つに分類し、それぞれの排出原単位を推計した上で算出するものとする。

(1) 生活系ごみ

生活系ごみ量の予測に当たっては、排出原単位（1人1日当たりごみ排出量）を算出し、その将来推計値を求め、将来人口予測値を乗じることによって年間平均日排出量を算出する。排出原単位及び年間平均日排出量は以下の式により算出する。

【生活系ごみ排出原単位（g/人・日）】

$$= \frac{\text{年間生活系ごみ量 (t)} \div \text{人口 (人)} \div 365 \text{ or } 366 \text{ (日)} \times 1,000,000 \text{ (g/t)}}{}$$

【年間平均日排出量（t/日）】

$$= \frac{\text{生活系ごみ排出原単位 (g/人・日)} \times \text{人口 (人)} \div 1,000,000 \text{ (g/t)}}{}$$

なお、生活系資源ごみ量については、その材質から可燃系又は不燃系に分類し、それぞれを燃えるごみ又は燃えないごみ・粗大ごみ・埋立ごみと合算して排出原単位を算出することとする。

排出原単位の将来推計値を算出後、その構成割合（可燃ごみ・不燃ごみに対する各資源ごみ量の割合）によって再配分する。

(2) 事業系ごみ

事業系ごみ量の予測についても、生活系ごみと同様に排出原単位を1人1日当たりごみ排出量として算出する。排出原単位及び年間平均日排出量は以下の式により算出する。

【事業系ごみ排出原単位（g/人・日）】

$$= \frac{\text{年間事業系ごみ量 (t)} \div \text{人口 (人)} \div 365 \text{ or } 366 \text{ (日)} \times 1,000,000 \text{ (g/t)}}{}$$

【年間平均日排出量（t/日）】

$$= \frac{\text{事業系ごみ排出原単位 (g/人・日)} \times \text{人口 (人)} \div 1,000,000 \text{ (g/t)}}{}$$

なお、事業系資源ごみ量についても生活系ごみと同様に算出する。

排出原単位の将来推計値を算出後、その構成割合（可燃ごみ・不燃ごみに対する各資源ごみ量の割合）によって再配分する。

2) 予測フロー

予測方法の内容を図6-1-3に示す。

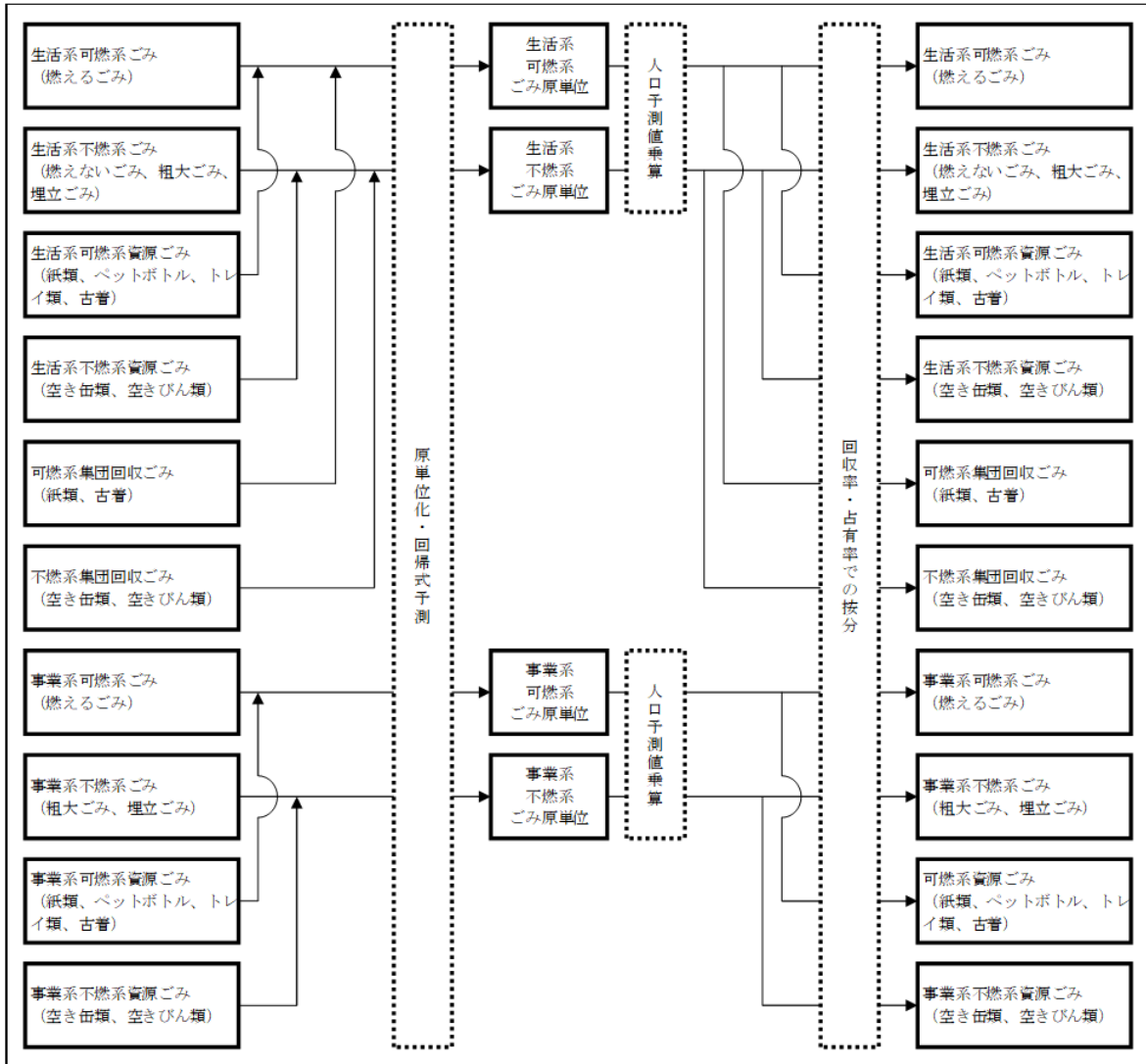


図6-1-3 ごみ処理予測フロー

3) 資源ごみ排出量の設定

(1) 占有率の設定

可燃系ごみ、不燃系ごみに含めて回帰予測した資源ごみ（可燃系・不燃系）のほか、燃えるごみや燃えないごみなどすべてのごみは、直近年度（令和2年度）における生活系ごみ又は事業系ごみに占める割合（占有率）を算出したうえで、当該占有率が将来的に変化しないものと仮定した。

(2) 回収率の設定

ごみの種類別に直近年度における排出実績量を回収率100%と設定し、原則としてこの回収率が将来的に変化しないものと仮定した。

なお、目標値設定後の計画ごみ排出量の推計に際しては、経年的に回収率が増加するものと仮定した。

4. ごみ排出量及びごみ排出原単位の実績

過去5か年度（平成28～令和2年度）におけるごみ排出量とごみ排出原単位の実績について、生活系と事業系及び可燃系と不燃系に分類した結果を表6-1-3～表6-1-6及び図6-1-4に示す。

ごみ排出原単位（合計）は過去5か年度において、1,000g/人・日以上となっており、ほぼ横ばいで推移している。同じくごみ排出量（総量）も過去5か年度において10,000t以上となっている。

表6-1-3 ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（生活系可燃系ごみ）

区 分		年 度	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
生活系ごみ	生活系可燃系ごみ	t		6,261.71	5,994.16	6,066.37	6,158.32	6,166.23
	可燃・燃えるごみ	t		5,686.45	5,447.08	5,532.71	5,635.76	5,665.98
	資源・紙類（新聞紙）	t		157.13	147.54	137.16	125.90	126.22
	資源・紙類（雑誌）	t		106.08	91.93	93.42	93.20	94.74
	資源・紙類（段ボール）	t		90.33	99.75	100.70	102.48	117.60
	資源・紙類（紙バック）	t		3.62	3.81	3.33	2.62	2.64
	資源・紙類（雑紙）	t		19.84	23.26	22.39	24.30	26.01
	資源・紙類（シュレッダー紙）	t		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	資源・プラ類（ペットボトル）	t		56.72	60.17	61.10	66.73	66.10
	資源・プラ類（トレイ類）	t		3.86	4.16	4.02	3.38	3.74
	資源・布類（古着）	t		3.37	2.53	2.29	2.27	0.65
	集団・紙類（新聞紙）	t		89.05	80.64	77.18	69.53	37.52
	集団・紙類（雑誌）	t		9.49	7.85	7.06	6.44	5.32
	集団・紙類（段ボール）	t		35.25	25.39	24.95	25.61	19.57
	集団・紙類（紙バック）	t		0.07	0.05	0.07	0.09	0.11
	集団・布類（古着）	t		0.46	0.01	0.00	0.03	0.03
計画収集人口	人		25,861	25,411	25,055	24,412	23,939	
年度日数	日		365	365	365	366	365	
原単位	g/人・日		663	646	663	689	706	
原単位	t/日		17.16	16.42	16.62	16.83	16.89	

表6-1-4 ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（生活系不燃系ごみ）

区 分		年 度	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
生活系ごみ	生活系不燃系ごみ	t		858.21	841.71	876.65	908.04	975.61
	不燃・燃えないごみ	t		223.09	216.03	233.04	234.03	251.61
	粗大・粗大ごみ	t		213.40	210.71	241.79	263.38	330.50
	埋立・埋立ごみ	t		18.23	2.40	2.64	7.53	11.36
	資源・金属（空き缶類）	t		89.94	97.47	94.96	101.21	106.44
	資源・びん（空きびん類）	t		261.41	260.33	249.37	247.94	235.12
	集団・金属（空き缶類）	t		37.58	40.26	40.65	43.74	35.28
	集団・びん（空きびん類）	t		14.56	14.52	14.20	10.22	5.30
計画収集人口	人		25,861	25,411	25,055	24,412	23,939	
年度日数	日		365	365	365	366	365	
原単位	g/人・日		91	91	96	102	112	
原単位	t/日		2.35	2.31	2.40	2.48	2.67	

表 6-1-5 ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（事業系可燃系ごみ）

区 分		年 度	単 位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業系ごみ	事業系可燃系ごみ		t	3,073.27	3,148.85	3,119.35	3,116.07	2,750.42
	可燃・燃えるごみ		t	3,056.69	3,127.52	3,097.92	3,098.80	2,736.85
	資源・紙類（新聞紙）		t	0.05	0.19	0.90	0.10	0.00
	資源・紙類（雑誌）		t	2.77	1.15	1.70	1.62	0.43
	資源・紙類（段ボール）		t	11.87	12.93	12.76	11.49	11.75
	資源・紙類（紙パック）		t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	資源・紙類（雑紙）		t	0.00	2.28	0.11	0.00	0.00
	資源・紙類（シュレッダー紙）		t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	資源・プラ類（ペットボトル）		t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	資源・プラ類（トレイ類）		t	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02
	資源・布類（古着）		t	1.82	4.68	5.85	4.04	1.37
	計画収集人口		人	25,861	25,411	25,055	24,412	23,939
年度日数		日	365	365	365	366	365	
原単位		g/人・日	326	339	341	349	315	
原単位		t/日	8.42	8.63	8.55	8.51	7.54	

表 6-1-6 ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（事業系不燃系ごみ）

区 分		年 度	単 位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業系ごみ	事業系不燃系ごみ		t	198.89	182.95	181.44	173.48	183.57
	不燃・燃えないごみ		t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	粗大・粗大ごみ		t	79.06	86.68	90.99	82.15	108.07
	埋立・埋立ごみ		t	23.83	4.07	0.64	0.93	0.11
	資源・金属（空き缶類）		t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	資源・びん（空きびん類）		t	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39
計画収集人口		人	25,861	25,411	25,055	24,412	23,939	
年度日数		日	365	365	365	366	365	
原単位		g/人・日	21	20	20	19	21	
原単位		t/日	0.54	0.50	0.50	0.47	0.50	

□生活系可燃系ごみ □生活系不燃系ごみ □事業系可燃系ごみ ■事業系不燃系ごみ

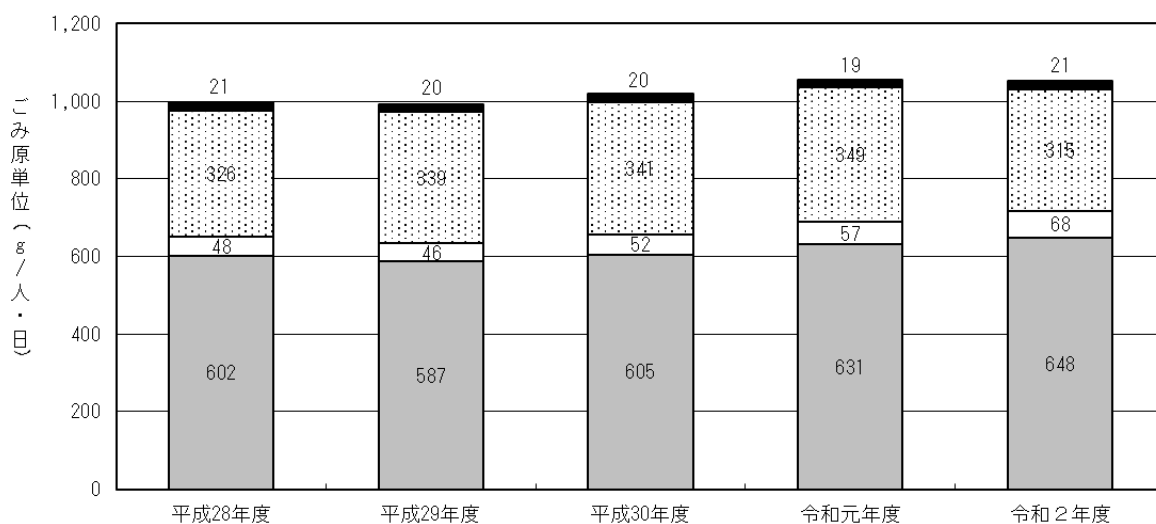


図 6-1-4 ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（全種類）

5. 将来ごみ量の予測

これまでに整理した過去5か年度のごみ排出原単位実績を用いて予測した排出原単位を表6-1-7～表6-1-10、及び図6-1-5～図6-1-8に示す。

生活系ごみの過去5か年度の傾向は増加傾向を示していることから、将来の排出原単位は増加傾向を反映した「ルート式」を採用する。

事業系ごみの可燃系は、平成28年度から令和元年度にかけて増加傾向を示したが、令和2年度には減少となっている。この減少は、コロナ禍による影響が大きいものと考えられ、一時的なものと想定される。このことから、事業系ごみの可燃系の排出原単位は、予測期間内で増加傾向を示す「対数式」を採用する。

事業系ごみの不燃系は、過去5か年度の実績値に変化はほとんどなく、一定の状況にある。このことから「実績平均」を採用する。

表6-1-7 生活系可燃系ごみ排出原単位予測結果

(単位:g/人・日)

年度	年目	実績	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均
平成28年度	1	663	$y=12.9x+634.7$	$y=-40.739176(1/x)+692.004223$	$y=38.9876508(\sqrt{x})+608.03851$	$y=27.0358187(\ln x)+647.513248$	$y=647.885218 \times (x^{0.03982006})$	$y=635.749437 \times (1.0191941^x)$		
平成29年度	2	646								
平成30年度	3	663								
令和元年度	4	689								
令和2年度	5	706								
年度	年目	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均	
令和3年度	6	712	685	704	696	696	713	706	673	
令和4年度	7	725	686	711	700	700	726	706	673	
令和5年度	8	738	687	718	704	704	740	706	673	
令和6年度	9	751	687	725	707	707	754	706	673	
令和7年度	10	764	688	731	710	710	769	706	673	
令和8年度	11	777	688	737	712	713	784	706	673	
令和9年度	12	790	689	743	715	715	799	706	673	
令和10年度	13	802	689	749	717	718	814	706	673	
令和11年度	14	815	689	754	719	720	830	706	673	
令和12年度	15	828	689	759	721	722	846	706	673	
令和13年度	16	841	689	764	722	724	862	706	673	
令和14年度	17	854	690	769	724	725	878	706	673	
令和15年度	18	867	690	773	726	727	895	706	673	
令和16年度	19	880	690	778	727	728	912	706	673	
令和17年度	20	893	690	782	729	730	930	706	673	
令和18年度	21	906	690	787	730	731	948	706	673	
令和19年度	22	919	690	791	731	733	966	706	673	
令和20年度	23	931	690	795	732	734	984	706	673	
相関係数(r)		0.8556	0.5543	0.7959	0.7207	0.7180	0.8530	-	-	
r(順位)		1	6	3	4	5	2	-	-	

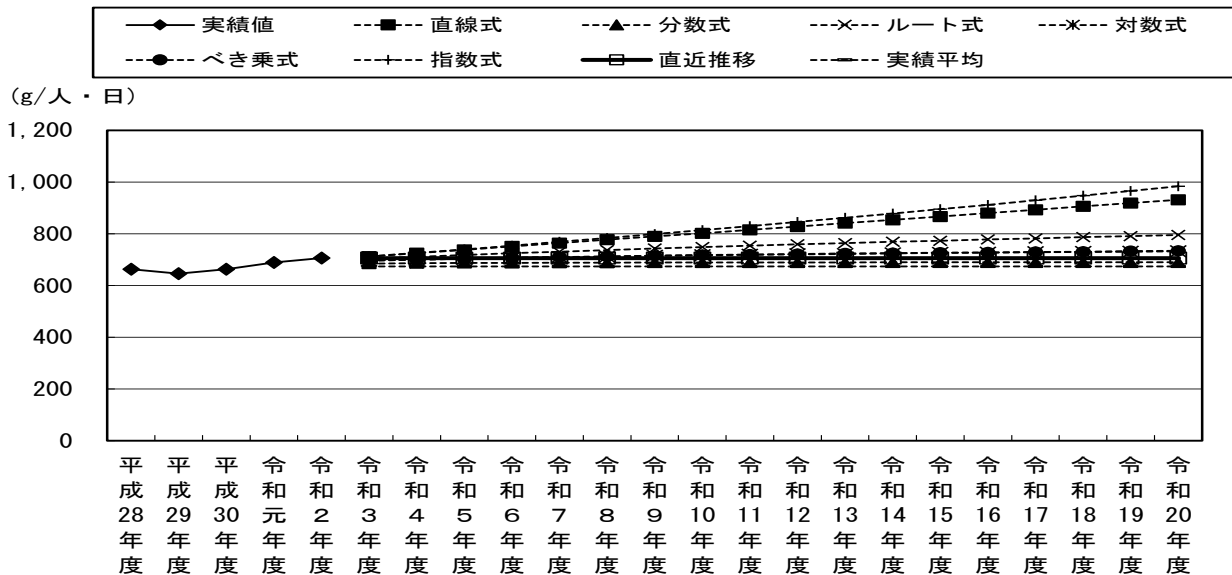


図6-1-5 生活系可燃系ごみ排出原単位予測結果

表6-1-8 生活系不燃系ごみ排出原単位予測結果

(単位:g/人・日)

年度	年目	実績	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均
平成28年度	1	91	直線式 $y=5.3x+82.5$	分数式 $y=-19.672650(1/x)+107.383843$	ルート式 $y=16.4556187(\sqrt{x})+70.8127069$	対数式 $y=11.8311278(\text{LN}x)+87.0717146$	べき乗式 $y=87.5491116 \times (x^{0.11875515})$	指数式 $y=83.6875454 \times (1.05436554^x)$		
平成29年度	2	91								
平成30年度	3	96								
令和元年度	4	102								
令和2年度	5	112								
年度	年目	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均	
令和3年度	6	114	104	111	108	108	115	112	98	
令和4年度	7	120	105	114	110	110	121	112	98	
令和5年度	8	125	105	117	112	112	128	112	98	
令和6年度	9	130	105	120	113	114	135	112	98	
令和7年度	10	136	105	123	114	115	142	112	98	
令和8年度	11	141	106	125	115	116	150	112	98	
令和9年度	12	146	106	128	116	118	158	112	98	
令和10年度	13	151	106	130	117	119	167	112	98	
令和11年度	14	157	106	132	118	120	176	112	98	
令和12年度	15	162	106	135	119	121	185	112	98	
令和13年度	16	167	106	137	120	122	195	112	98	
令和14年度	17	173	106	139	121	123	206	112	98	
令和15年度	18	178	106	141	121	123	217	112	98	
令和16年度	19	183	106	143	122	124	229	112	98	
令和17年度	20	189	106	144	123	125	241	112	98	
令和18年度	21	194	106	146	123	126	254	112	98	
令和19年度	22	199	106	148	124	126	268	112	98	
令和20年度	23	204	107	150	124	127	283	112	98	
相関係数(r)		0.9470	0.7212	0.9050	0.8497	0.8596	0.9533	-	-	
r(順位)		2	6	3	5	4	1	-	-	

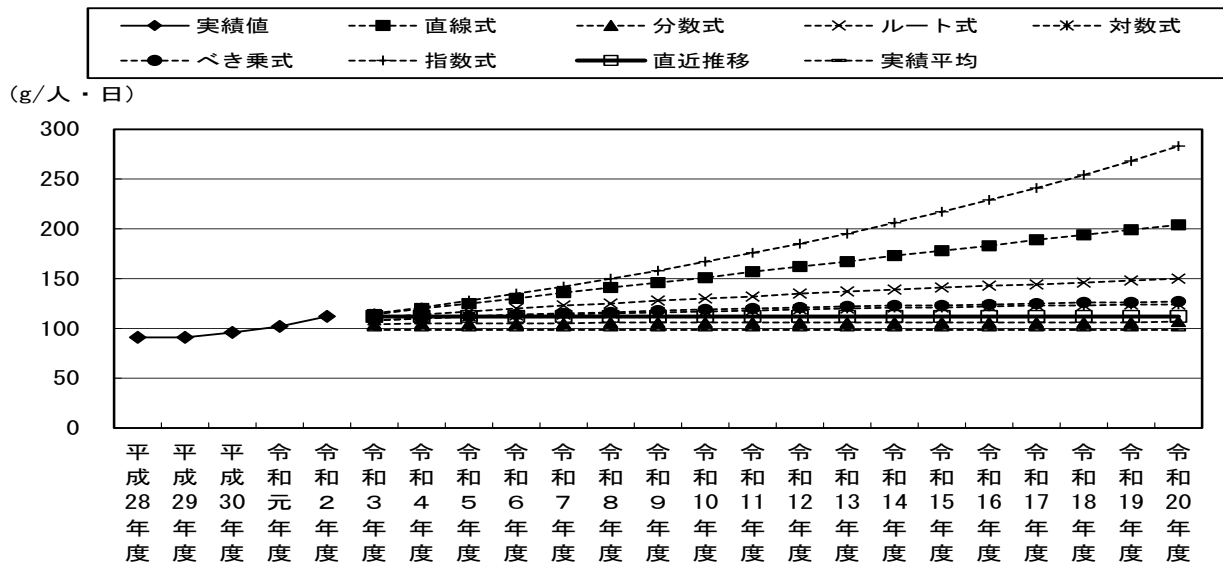


図6-1-6 生活系不燃系ごみ排出原単位予測結果

表6-1-9 事業系可燃系ごみ排出原単位予測結果

(単位:g/人・日)

年度	年目	実績	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均
平成28年度	1	326	$y=-1.2x+337.6$	$y=-7.6425554(1/x)+337.4901$	$y=-1.3616245(\sqrt{x})+336.282717$	$y=0.84873187(\ln x)+333.18734$	$y=333.214338 \times (x^{0.00177437})$	$y=337.767641 \times (0.99605005^x)$		
平成29年度	2	339								
平成30年度	3	341								
令和元年度	4	349								
令和2年度	5	315								
年度	年目	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均	
令和3年度	6	330	336	333	335	334	330	315	334	
令和4年度	7	329	336	333	335	334	329	315	334	
令和5年度	8	328	337	332	335	334	327	315	334	
令和6年度	9	327	337	332	335	335	326	315	334	
令和7年度	10	326	337	332	335	335	325	315	334	
令和8年度	11	324	337	332	335	335	323	315	334	
令和9年度	12	323	337	332	335	335	322	315	334	
令和10年度	13	322	337	331	335	335	321	315	334	
令和11年度	14	321	337	331	335	335	320	315	334	
令和12年度	15	320	337	331	335	335	318	315	334	
令和13年度	16	318	337	331	336	335	317	315	334	
令和14年度	17	317	337	331	336	335	316	315	334	
令和15年度	18	316	337	331	336	335	315	315	334	
令和16年度	19	315	337	330	336	335	313	315	334	
令和17年度	20	314	337	330	336	335	312	315	334	
令和18年度	21	312	337	330	336	335	311	315	334	
令和19年度	22	311	337	330	336	335	310	315	334	
令和20年度	23	310	337	330	336	335	308	315	334	
相関係数(r)		0.1410	0.1843	0.0493	0.0401	0.0278	0.1541	-	-	
r(順位)		3	1	4	5	6	2	-	-	

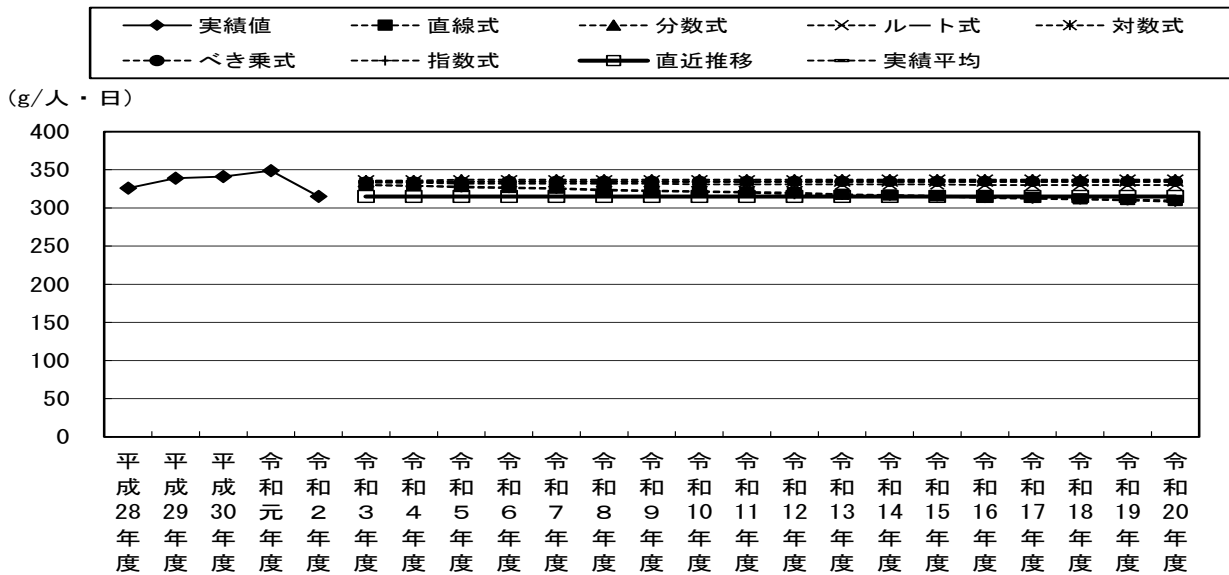


図6-1-7 事業系可燃系ごみ排出原単位予測結果

表6-1-10 事業系不燃系ごみ排出原単位予測結果

(単位:g/人・日)

年度	年目	実績	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均
平成28年度	1	21	直線式 $y=-0.1x+20.5$	分数式 $y=1.17212249(1/x)+19.6647307$	ルート式 $y=-0.4648982(\sqrt{x})+20.9793862$	対数式 $y=-0.4545712(\ln x)+20.6352511$	べき乗式 $y=20.6323827 \times (x^{0.022843})$	指数式 $y=20.4990320 \times (0.9948838^x)$		
平成29年度	2	20								
平成30年度	3	20								
令和元年度	4	19								
令和2年度	5	21								
令和3年度	6	20	20	20	20	20	20	20	21	20
令和4年度	7	20	20	20	20	20	20	20	21	20
令和5年度	8	20	20	20	20	20	20	20	21	20
令和6年度	9	20	20	20	20	20	20	20	21	20
令和7年度	10	20	20	20	20	20	20	19	21	20
令和8年度	11	19	20	19	20	20	20	19	21	20
令和9年度	12	19	20	19	20	19	19	19	21	20
令和10年度	13	19	20	19	19	19	19	19	21	20
令和11年度	14	19	20	19	19	19	19	19	21	20
令和12年度	15	19	20	19	19	19	19	19	21	20
令和13年度	16	19	20	19	19	19	19	19	21	20
令和14年度	17	19	20	19	19	19	19	19	21	20
令和15年度	18	19	20	19	19	19	19	19	21	20
令和16年度	19	19	20	19	19	19	19	19	21	20
令和17年度	20	19	20	19	19	19	19	19	21	20
令和18年度	21	18	20	19	19	19	19	18	21	20
令和19年度	22	18	20	19	19	19	19	18	21	20
令和20年度	23	18	20	19	19	19	19	18	21	20
相関係数(r)		0.1890	0.4544	0.2704	0.3453	0.3479	0.1944	-	-	-
r(順位)		6	1	4	3	2	5	-	-	-

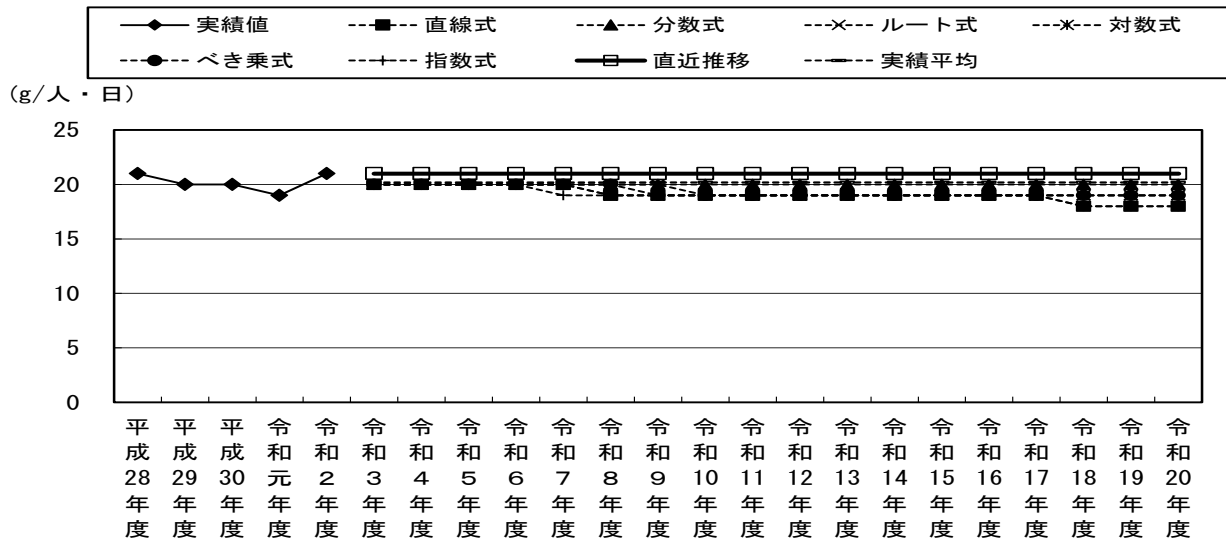


図6-1-8 事業系不燃系ごみ排出原単位予測結果

6. 計画ごみ排出量・処理処分量の見通し

以上の結果をまとめると、計画ごみ排出量および計画ごみ処理・処分量の予測結果（現状のまま推移した場合の予測結果）は表6-1-11～表6-1-14に示すとおりとなる。

表6-1-11 計画ごみ排出量の見通し (1/2)

八幡平市 (現状)		記号	千割値計算式	直近 占有率	回収率	単位	実績				
							H28	H29	H30	R1	R2
計画収集人口		(1)	総合計画	-	-	人	25,861	25,411	25,055	24,412	23,939
年度日数		(2)	実数	-	-	日/年	365	365	365	366	365
特生ごみ原単位		(3)	(4)+(5)	-	-	g/人・日	754	737	759	791	818
生活系可燃系ごみ原単位		(4)	ルート式	-	-	g/人・日	663	646	663	689	706
生活系下燃系ごみ原単位		(5)	ルート式	-	-	g/人・日	91	91	96	102	112
特生ごみ原単位		(6)	(7)+(8)	-	-	g/人・日	650	633	657	688	716
家庭系可燃系ごみ原単位		(7)	-	-	-	g/人・日	602	587	605	631	648
家庭系下燃系ごみ原単位		(8)	-	-	-	g/人・日	48	46	52	57	68
生活系ごみ排出量		(9)	(10)+(32)	-	-	t/年	7,119.92	6,835.87	6,943.02	7,066.36	7,141.84
生活系可燃系ごみ排出量		(10)	(1)×(2)×(4)÷1,000,000	-	-	t/年	6,261.71	5,994.16	6,066.37	6,158.32	6,166.23
燃えるごみ排出量		(11)	(10)-(12)-(25)	79.3%	-	t/年	5,686.44	5,447.07	5,532.70	5,635.74	5,665.98
資源ごみ排出量		(12)	(13)+(20)+(23)	-	-	t/年	440.95	433.15	424.41	420.88	437.70
紙類		(13)	(14)~(19)の合計	-	-	t/年	377.00	366.29	357.00	348.50	367.21
新聞紙		(14)	(9)×直近占有率×回収率	1.8%	100.0%	t/年	157.13	147.54	137.16	125.90	126.22
雑誌		(15)	(9)×直近占有率×回収率	1.3%	100.0%	t/年	106.08	91.93	93.42	93.20	94.74
段ボール		(16)	(9)×直近占有率×回収率	1.6%	100.0%	t/年	90.33	99.75	100.70	102.48	117.60
紙バック		(17)	(9)×直近占有率×回収率	0.0%	100.0%	t/年	3.62	3.81	3.33	2.62	2.64
雑誌		(18)	(9)×直近占有率×回収率	0.4%	100.0%	t/年	19.84	23.26	22.39	24.30	26.01
シュレッダー紙		(19)	(9)×直近占有率×回収率	-	-	t/年	-	-	-	-	-
プラスチック類		(20)	(21)~(22)の合計	-	-	t/年	60.58	64.33	65.12	70.11	69.84
ペットボトル		(21)	(9)×直近占有率×回収率	0.9%	100.0%	t/年	56.72	60.17	61.10	66.73	66.10
トレイ類		(22)	(9)×直近占有率×回収率	0.1%	100.0%	t/年	3.86	4.16	4.02	3.38	3.74
布類		(23)	(24)	-	-	t/年	3.37	2.53	2.29	2.27	0.65
古着		(24)	(9)×直近占有率×回収率	0.0%	100.0%	t/年	3.37	2.53	2.29	2.27	0.65
単回収排出量		(25)	(26)	-	-	t/年	134.32	113.94	109.26	101.70	62.55
紙類・布類		(26)	(27)~(31)の合計	-	-	t/年	134.32	113.94	109.26	101.70	62.55
新聞紙		(27)	(9)×直近占有率	0.5%	-	t/年	89.05	80.64	77.18	69.53	37.52
雑誌		(28)	(9)×直近占有率	0.1%	-	t/年	9.49	7.85	7.06	6.44	5.32
段ボール		(29)	(9)×直近占有率	0.3%	-	t/年	35.25	25.39	24.95	25.61	19.57
紙バック		(30)	(9)×直近占有率	0.0%	-	t/年	0.07	0.05	0.07	0.09	0.11
古着		(31)	(9)×直近占有率	0.0%	-	t/年	0.46	0.01	-	0.03	0.03
生活系下燃系ごみ排出量		(32)	(1)×(2)×(5)÷1,000,000	-	-	t/年	858.21	841.71	876.65	908.04	975.61
燃えないごみ排出量		(33)	(32)-(34)-(35)-(41)	3.5%	-	t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61
粗大ごみ排出量		(34)	(9)×直近占有率	4.6%	-	t/年	213.40	210.71	241.79	263.38	330.50
埋立ごみ排出量		(35)	(9)×直近占有率	0.2%	-	t/年	18.23	2.40	2.64	7.53	11.36
資源ごみ排出量		(36)	(37)+(39)	-	-	t/年	351.35	357.80	344.33	349.15	341.56
金属類		(37)	(38)	-	-	t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44
空き缶類		(38)	(9)×直近占有率×回収率	1.5%	100.0%	t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44
びん類		(39)	(40)	-	-	t/年	261.41	260.33	249.37	247.94	235.12
空きびん類		(40)	(9)×直近占有率×回収率	3.3%	100.0%	t/年	261.41	260.33	249.37	247.94	235.12
単回収排出量		(41)	(42)+(44)	-	-	t/年	52.14	54.78	54.85	53.96	40.58
金属類		(42)	(43)	-	-	t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28
空き缶類		(43)	(9)×直近占有率	0.5%	-	t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28
びん類		(44)	(45)	-	-	t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30
空きびん類		(45)	(9)×直近占有率	0.1%	-	t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30
特生ごみ原単位		(46)	(47)+(48)	-	-	g/人・日	347	359	361	368	336
事業系可燃系ごみ原単位		(47)	特数式	-	-	g/人・日	326	339	341	349	315
事業系下燃系ごみ原単位		(48)	実績平均	-	-	g/人・日	21	20	20	19	21
事業系ごみ排出量		(49)	(50)+(65)	-	-	t/年	3,272.16	3,331.80	3,300.79	3,289.55	2,933.99
事業系可燃系ごみ排出量		(50)	(1)×(2)×(47)÷1,000,000	-	-	t/年	3,073.27	3,148.85	3,119.35	3,116.07	2,750.42
燃えるごみ排出量		(51)	(50)-(52)	93.3%	-	t/年	3,056.69	3,127.52	3,097.92	3,098.80	2,736.85
資源ごみ排出量		(52)	(53)+(60)+(63)	-	-	t/年	16.58	21.33	21.43	17.27	13.57
紙類		(53)	(54)~(59)の合計	-	-	t/年	14.69	16.55	15.47	13.21	12.18
新聞紙		(54)	(49)×直近占有率	-	-	t/年	0.05	0.19	0.90	0.10	-
雑誌		(55)	(49)×直近占有率	0.0%	-	t/年	2.77	1.15	1.70	1.62	0.43
段ボール		(56)	(49)×直近占有率	0.4%	-	t/年	11.87	12.93	12.76	11.49	11.75
紙バック		(57)	(49)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-
雑誌		(58)	(49)×直近占有率	-	-	t/年	-	2.28	0.11	-	-
シュレッダー紙		(59)	(49)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-
プラスチック類		(60)	(61)~(62)の合計	-	-	t/年	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02
ペットボトル		(61)	(49)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-
トレイ類		(62)	(49)×直近占有率	0.0%	-	t/年	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02
布類		(63)	(64)	-	-	t/年	1.82	4.68	5.85	4.04	1.37
古着		(64)	(49)×直近占有率	0.0%	-	t/年	1.82	4.68	5.85	4.04	1.37
事業系下燃系ごみ排出量		(65)	(1)×(2)×(48)÷1,000,000	-	-	t/年	198.89	182.95	181.44	173.48	183.57
燃えないごみ排出量		(66)	計上しない	-	-	t/年	-	-	-	-	-
粗大ごみ排出量		(67)	(65)-(66)-(68)-(69)	3.7%	-	t/年	79.06	86.68	90.99	82.15	108.07
埋立ごみ排出量		(68)	(49)×直近占有率	0.0%	-	t/年	23.83	4.07	0.64	0.93	0.11
資源ごみ排出量		(69)	(70)+(72)	-	-	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39
金属類		(70)	(71)	-	-	t/年	-	-	-	-	-
空き缶類		(71)	(49)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-
びん類		(72)	(73)	-	-	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39
空きびん類		(73)	(49)×直近占有率	2.6%	-	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39
総ごみ量		(74)	(75)~(80)の合計	-	-	t/年	10,392.08	10,167.67	10,243.81	10,355.91	10,075.83
燃えるごみ排出量		(75)	(11)+(51)	-	-	t/年	8,743.13	8,574.59	8,630.62	8,734.54	8,402.83
燃えないごみ排出量		(76)	(33)+(66)	-	-	t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61
粗大ごみ排出量		(77)	(34)+(67)	-	-	t/年	292.46	297.39	332.78	345.53	438.57
埋立ごみ排出量		(78)	(35)+(68)	-	-	t/年	42.06	6.47	3.28	8.46	11.47
資源ごみ排出量		(79)	(12)+(36)+(52)+(69)	-	-	t/年	904.88	904.48	879.98	877.70	868.22
単回収排出量		(80)	(25)+(41)	-	-	t/年	186.46	168.72	164.11	155.66	103.13

表6-1-12 計画ごみ排出量の見通し(2/2)

予測値										記号
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
23.751	23.563	23.376	23.188	23.000	22.812	22.624	22.437	22.249	22.061	(1)
365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	(2)
815	825	835	845	854	862	871	879	886	894	(3)
704	711	718	725	731	737	743	749	754	759	(4)
111	114	117	120	123	125	128	130	132	135	(5)
714	722	732	740	748	755	763	770	776	783	(6)
647	653	660	666	671	677	682	687	692	696	(7)
67	69	72	74	77	78	81	83	84	87	(8)
7,065.33	7,095.41	7,143.94	7,151.75	7,169.34	7,177.34	7,212.22	7,198.58	7,195.11	7,198.73	(9)
6,103.06	6,114.95	6,142.93	6,136.12	6,136.75	6,136.54	6,152.33	6,133.94	6,123.15	6,111.67	(10)
5,608.46	5,618.25	5,642.86	5,635.49	5,634.89	5,634.11	5,647.47	5,630.04	5,619.47	5,607.76	(11)
431.00	432.83	435.78	436.26	437.33	437.83	439.95	439.11	438.91	439.12	(12)
360.34	361.87	364.34	364.74	365.64	366.05	367.83	367.12	366.95	367.13	(13)
127.18	127.72	128.59	128.73	129.05	129.19	129.82	129.57	129.51	129.58	(14)
91.85	92.24	92.87	92.97	93.20	93.31	93.76	93.58	93.54	93.58	(15)
113.05	113.53	114.30	114.43	114.71	114.84	115.40	115.18	115.12	115.18	(16)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(17)
28.26	28.38	28.58	28.61	28.68	28.71	28.85	28.79	28.78	28.79	(18)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(19)
70.66	70.96	71.44	71.52	71.69	71.78	72.12	71.99	71.96	71.99	(20)
63.59	63.86	64.30	64.37	64.52	64.60	64.91	64.79	64.76	64.79	(21)
7.07	7.10	7.14	7.15	7.17	7.18	7.21	7.20	7.20	7.20	(22)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(23)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(24)
63.60	63.87	64.29	64.37	64.53	64.60	64.91	64.79	64.77	64.79	(25)
63.60	63.87	64.29	64.37	64.53	64.60	64.91	64.79	64.77	64.79	(26)
35.33	35.48	35.72	35.76	35.85	35.89	36.06	35.99	35.98	35.99	(27)
7.07	7.10	7.14	7.15	7.17	7.18	7.21	7.20	7.20	7.20	(28)
21.20	21.29	21.43	21.46	21.51	21.53	21.64	21.60	21.59	21.60	(29)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(30)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(31)
962.27	980.46	1,001.01	1,015.63	1,032.59	1,040.80	1,059.89	1,064.64	1,071.96	1,087.06	(32)
241.59	256.72	272.33	286.15	301.31	308.71	324.26	330.39	338.04	352.79	(33)
325.01	326.39	328.62	328.98	329.79	330.16	331.76	331.13	330.98	331.14	(34)
14.13	14.19	14.29	14.30	14.34	14.35	14.42	14.40	14.39	14.40	(35)
339.14	340.58	342.91	343.29	344.13	344.51	346.18	345.53	345.37	345.54	(36)
105.98	106.43	107.16	107.28	107.54	107.66	108.18	107.98	107.93	107.98	(37)
105.98	106.43	107.16	107.28	107.54	107.66	108.18	107.98	107.93	107.98	(38)
233.16	234.15	235.75	236.01	236.59	236.85	238.00	237.55	237.44	237.56	(39)
233.16	234.15	235.75	236.01	236.59	236.85	238.00	237.55	237.44	237.56	(40)
42.40	42.58	42.86	42.91	43.02	43.07	43.27	43.19	43.18	43.19	(41)
35.33	35.48	35.72	35.76	35.85	35.89	36.06	35.99	35.98	35.99	(42)
35.33	35.48	35.72	35.76	35.85	35.89	36.06	35.99	35.98	35.99	(43)
7.07	7.10	7.14	7.15	7.17	7.18	7.21	7.20	7.20	7.20	(44)
7.07	7.10	7.14	7.15	7.17	7.18	7.21	7.20	7.20	7.20	(45)
355	355	355	355	355	355	355	355	355	355	(46)
335	335	335	335	335	335	335	335	335	335	(47)
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	(48)
3,079.27	3,054.90	3,038.95	3,006.28	2,981.91	2,957.53	2,941.19	2,908.91	2,884.54	2,860.17	(49)
2,904.15	2,881.17	2,866.13	2,835.31	2,812.33	2,789.34	2,773.93	2,743.48	2,720.50	2,697.51	(50)
2,891.83	2,868.95	2,853.97	2,823.28	2,800.40	2,777.51	2,762.17	2,731.84	2,708.96	2,686.07	(51)
12.32	12.22	12.16	12.03	11.93	11.83	11.76	11.64	11.54	11.44	(52)
12.32	12.22	12.16	12.03	11.93	11.83	11.76	11.64	11.54	11.44	(53)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(54)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(55)
12.32	12.22	12.16	12.03	11.93	11.83	11.76	11.64	11.54	11.44	(56)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(57)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(58)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(59)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(60)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(61)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(62)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(63)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(64)
175.12	173.73	172.82	170.97	169.58	168.19	167.26	165.43	164.04	162.66	(65)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(66)
95.06	94.30	93.81	92.81	92.05	91.29	90.79	89.80	89.04	88.30	(67)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(68)
80.06	79.43	79.01	78.16	77.53	76.90	76.47	75.63	75.00	74.36	(69)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(70)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(71)
80.06	79.43	79.01	78.16	77.53	76.90	76.47	75.63	75.00	74.36	(72)
80.06	79.43	79.01	78.16	77.53	76.90	76.47	75.63	75.00	74.36	(73)
10,144.60	10,150.31	10,182.89	10,158.03	10,151.25	10,134.87	10,153.41	10,107.49	10,079.65	10,058.90	(74)
8,500.29	8,487.20	8,496.83	8,458.77	8,435.29	8,411.62	8,409.64	8,361.88	8,328.43	8,293.83	(75)
241.59	256.72	272.33	286.15	301.31	308.71	324.26	330.39	338.04	352.79	(76)
420.07	420.69	422.43	421.79	421.84	421.45	422.55	420.93	420.02	419.44	(77)
14.13	14.19	14.29	14.30	14.34	14.35	14.42	14.40	14.39	14.40	(78)
862.52	865.06	869.86	869.74	870.92	871.07	874.36	871.91	870.82	870.46	(79)
106.00	106.45	107.15	107.28	107.55	107.67	108.18	107.98	107.95	107.98	(80)

表6-1-13 計画ごみ処理・処分量の見通し(1/2)

八幡平市(現状)	記号	予測値計算式	直近比率	単位	実績				
					H28	H29	H30	R1	R2
中間処理前ごみ量	(81)	(82)+(87)+(92)+(97)		t/年	10,333.64	10,245.69	10,288.43	10,448.35	10,271.40
ごみ焼却施設	(82)	(83)~(86)の合計		t/年	8,874.76	8,712.20	8,800.54	8,949.70	8,660.02
燃えるごみ排出量	(83)	(75)		t/年	8,743.13	8,574.59	8,630.62	8,734.54	8,402.83
破碎後可燃物	(84)	(109)		t/年	100.93	119.59	134.31	153.46	139.48
手選別後可燃物	(85)	(117)		t/年	30.70	18.02	35.61	55.70	63.71
その他(他市町村受入)	(86)	計上しない		t/年	-	-	-	-	-
粗大ごみ処理施設	(87)	(88)~(91)の合計		t/年	605.49	610.88	660.78	680.78	736.62
燃えないごみ排出量	(88)	(76)		t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61
粗大ごみ排出量	(89)	(77)		t/年	292.46	297.39	332.78	345.53	438.57
資源(空き缶類)排出量	(90)	(38)+(71)		t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44
その他(他市町村受入)	(91)	計上しない		t/年	-	-	-	-	-
手選別処理施設	(92)	(93)~(96)の合計		t/年	418.06	416.96	404.41	408.47	380.37
資源(空きびん類)排出量	(93)	(40)+(73)		t/年	357.41	352.53	339.18	338.34	310.51
資源(ホットボトル)排出量	(94)	(21)+(61)		t/年	56.72	60.17	61.10	66.73	66.10
資源(トレイ類)排出量	(95)	(22)+(62)		t/年	3.93	4.26	4.13	3.40	3.76
その他	(96)	計上しない		t/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
一時保管施設	(97)	(98)~(104)の合計		t/年	435.33	505.65	420.70	409.42	434.39
資源(新聞紙)排出量	(98)	(14)+(54)		t/年	157.18	147.73	138.06	126.00	126.22
資源(雑誌)排出量	(99)	(15)+(55)		t/年	108.85	93.08	95.12	94.82	95.17
資源(段ボール)排出量	(100)	(16)+(56)		t/年	102.20	112.68	113.46	113.97	129.35
資源(紙パック)排出量	(101)	(17)+(57)		t/年	3.62	3.81	3.33	2.62	2.64
資源(雑紙)排出量	(102)	(18)+(58)		t/年	19.84	25.54	22.50	24.30	26.01
資源(シュレッダー紙)排出量	(103)	(19)+(59)		t/年	-	-	-	-	-
その他(施設内排出)	(104)	実績5か年平均		t/年	43.64	122.81	48.23	47.71	55.00
中間処理後ごみ量	(105)	(106)+(108)+(113)+(119)		t/年	2,505.74	2,637.74	2,569.10	2,594.45	2,725.70
ごみ焼却施設	(106)	(107)		t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32
焼却灰(焼却残渣)	(107)	(82)×直近比率	12.3%	t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32
粗大ごみ処理施設	(108)	(109)~(112)の合計		t/年	605.49	610.88	660.78	680.77	736.62
破碎後可燃物	(109)	(87)-(110)-(111)-(112)		t/年	100.93	119.59	134.31	153.46	139.48
破碎後不燃物	(110)	(87)×直近比率	32.8%	t/年	211.85	208.18	230.35	225.76	261.06
破碎後資源物(金属類)	(111)	(87)×直近比率	41.3%	t/年	285.17	274.12	289.39	286.71	333.57
破碎後資源物(小型家電)	(112)	(87)×直近比率	1.1%	t/年	7.54	9.00	6.73	8.84	8.51
手選別処理施設	(113)	(114)~(118)の合計		t/年	418.06	416.96	404.41	408.47	380.37
資源(空きびん類)	(114)	(92)×直近比率	41.3%	t/年	191.63	215.91	185.05	181.98	157.25
資源(ホットボトル)	(115)	(92)×直近比率	10.5%	t/年	42.62	35.56	45.23	35.46	39.95
資源(トレイ類)	(116)	(92)×直近比率	0.4%	t/年	1.80	1.53	1.48	1.59	1.67
手選別後可燃物	(117)	(92)-(114)-(115)-(116)-(118)		t/年	30.70	18.02	35.61	55.70	63.71
手選別後不燃物	(118)	(92)×直近比率	31.0%	t/年	151.31	145.94	138.38	133.74	117.79
一時保管施設	(119)	(120)~(125)の合計		t/年	435.33	505.65	420.70	409.42	434.39
資源(新聞紙)	(120)	(97)-[(121)~(125)の合計]		t/年	153.05	150.25	142.00	132.45	131.83
資源(雑誌)	(121)	(97)×直近比率	25.9%	t/年	129.81	108.44	110.72	109.08	112.52
資源(段ボール)	(122)	(97)×直近比率	34.8%	t/年	124.37	131.30	132.77	130.99	151.15
資源(紙パック)	(123)	(97)×直近比率	0.5%	t/年	2.89	2.63	2.57	2.35	2.21
資源(雑紙)	(124)	(97)×直近比率	7.1%	t/年	21.39	108.44	27.75	28.94	31.04
資源(シュレッダー紙)	(125)	(97)×直近比率	1.3%	t/年	3.82	4.59	4.83	5.61	5.64
資源化量	(126)	(127)+(133)		t/年	1,150.03	1,210.48	1,112.75	1,079.63	1,078.44
資源化業者	(127)	(128)~(133)の合計		t/年	964.09	1,041.77	948.64	924.00	975.34
破碎後資源物(金属類)	(128)	(111)		t/年	285.17	274.12	289.39	286.71	333.57
破碎後資源物(小型家電)	(129)	(112)		t/年	7.54	9.00	6.73	8.84	8.51
資源(空きびん類)	(130)	(114)		t/年	191.63	215.91	185.05	181.98	157.25
資源(ホットボトル)	(131)	(115)		t/年	42.62	35.56	45.23	35.46	39.95
資源(トレイ類)	(132)	(116)		t/年	1.80	1.53	1.48	1.59	1.67
資源(新聞紙)	(133)	(120)		t/年	153.05	150.25	142.00	132.45	131.83
資源(雑誌)	(134)	(121)		t/年	129.81	108.44	110.72	109.08	112.52
資源(段ボール)	(135)	(122)		t/年	124.37	131.30	132.77	130.99	151.15
資源(紙パック)	(136)	(123)		t/年	2.89	2.63	2.57	2.35	2.21
資源(雑紙)	(137)	(124)		t/年	21.39	108.44	27.75	28.94	31.04
資源(シュレッダー紙)	(138)	(125)		t/年	3.82	4.59	4.83	5.61	5.64
集団回収業者	(139)	(140)~(145)の合計		t/年	186.00	168.71	164.11	155.63	103.10
集団回収(新聞紙)	(140)	(27)		t/年	89.05	80.64	77.18	69.53	37.52
集団回収(雑誌)	(141)	(28)		t/年	9.49	7.85	7.06	6.44	5.32
集団回収(段ボール)	(142)	(29)		t/年	35.25	25.39	24.95	25.61	19.57
集団回収(紙パック)	(143)	(30)		t/年	0.07	0.05	0.07	0.09	0.11
集団回収(空き缶類)	(144)	(43)		t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28
集団回収(空きびん類)	(145)	(45)		t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30
最終処分量	(146)	(147)		t/年	1,452.08	1,464.83	1,453.82	1,463.75	1,504.64
一般廃棄物最終処分場	(147)	(148)~(151)の合計		t/年	1,452.08	1,464.83	1,453.82	1,463.75	1,504.64
埋立ごみ	(148)	(78)		t/年	42.06	6.47	3.23	3.46	11.47
焼却灰(焼却残渣)	(149)	(107)		t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32
破碎後不燃物	(150)	(110)		t/年	211.85	208.18	230.35	225.76	261.06
手選別後不燃物	(151)	(118)		t/年	151.31	145.94	138.38	133.74	117.79
総ごみ量	(152)	(74)		t/年	10,392.08	10,167.67	10,243.81	10,355.91	10,075.83
総ごみ量(集団回収除く)	(153)	(74)-(80)		t/年	10,205.62	9,998.95	10,079.70	10,200.25	9,972.70
総ごみ量(生活系資源ごみ・集団回収除く)	(154)	(74)-(12)-(36)-(80)		t/年	9,413.32	9,208.00	9,310.36	9,430.22	9,199.44
生活系総ごみ量(資源ごみ・集団回収除く)	(155)	(11)+(38)+(34)+(35)		t/年	6,141.16	5,876.20	6,010.17	6,140.67	6,259.45
1人1日当たりごみ排出量	(156)	(152)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	1,101	1,096	1,120	1,159	1,153
1人1日当たりごみ排出量(集団回収除く)	(157)	(153)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	1,081	1,078	1,102	1,142	1,141
1人1日当たり生活系ごみ排出量	(158)	(3)		g/人・日	754	737	759	791	818
1人1日当たり家庭系ごみ排出量	(159)	(155)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	651	634	657	687	716
1人1日当たり事業系ごみ排出量	(160)	(46)		g/人・日	347	359	361	368	336
資源化率	(161)	(126)÷(152)		%	11.1	11.9	10.9	10.4	10.7
資源化率(集団回収除く)	(162)	((126)-(139))÷(153)		%	9.4	10.4	9.4	9.1	9.8
最終処分率	(163)	(146)÷(152)		%	14.0	14.4	14.2	14.1	14.9
最終処分率(集団回収除く)	(164)	(146)÷(153)		%	14.2	14.6	14.4	14.4	15.1

表6-1-14 計画ごみ処理・処分量の見通し(2/2)

千測値											記号
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
10,338.21	10,347.43	10,383.89	10,362.01	10,358.68	10,343.86	10,366.15	10,321.25	10,294.94	10,277.51	(81)	
8,750.55	8,741.48	8,755.79	8,720.85	8,701.13	8,679.15	8,681.50	8,634.54	8,602.58	8,571.34	(82)	
8,500.29	8,487.20	8,496.83	8,458.77	8,435.29	8,411.62	8,409.64	8,361.88	8,328.43	8,293.83	(83)	
185.77	189.69	194.07	197.28	201.02	202.75	206.91	207.95	209.57	213.01	(84)	
64.49	64.59	64.89	64.80	64.82	64.78	64.95	64.71	64.58	64.50	(85)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(86)	
767.64	783.84	801.92	815.22	830.69	837.82	854.99	859.30	865.99	880.21	(87)	
241.59	256.72	272.33	286.15	301.31	308.71	324.26	330.39	338.04	352.79	(88)	
420.07	420.69	422.43	421.79	421.84	421.45	422.55	420.93	420.02	419.44	(89)	
105.98	106.43	107.16	107.28	107.54	107.66	108.18	107.98	107.93	107.98	(90)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(91)	
383.88	384.54	386.20	385.69	385.81	385.53	386.59	385.17	384.40	383.91	(92)	
313.22	313.58	314.76	314.17	314.12	313.75	314.47	313.18	312.44	311.92	(93)	
63.59	63.86	64.30	64.37	64.52	64.60	64.91	64.79	64.76	64.79	(94)	
7.07	7.10	7.14	7.15	7.17	7.18	7.21	7.20	7.20	7.20	(95)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(96)	
436.14	437.57	439.98	440.25	441.05	441.36	443.07	442.24	441.97	442.05	(97)	
127.18	127.72	128.59	128.73	129.05	129.19	129.82	129.57	129.51	129.58	(98)	
91.85	92.24	92.87	92.97	93.20	93.31	93.76	93.58	93.54	93.58	(99)	
126.37	126.75	126.46	126.46	126.64	126.67	127.16	126.82	126.66	126.62	(100)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(101)	
28.26	28.38	28.58	28.61	28.68	28.71	28.85	28.79	28.78	28.79	(102)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(103)	
63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	(104)	
2,716.48	2,733.60	2,757.60	2,766.15	2,780.00	2,784.32	2,804.56	2,800.57	2,802.09	2,811.87	(105)	
1,128.82	1,127.65	1,129.50	1,124.99	1,122.45	1,119.61	1,119.91	1,113.86	1,109.73	1,105.70	(106)	
1,128.82	1,127.65	1,129.50	1,124.99	1,122.45	1,119.61	1,119.91	1,113.86	1,109.73	1,105.70	(107)	
767.64	783.84	801.92	815.22	830.69	837.82	854.99	859.30	865.99	880.21	(108)	
185.77	189.69	194.07	197.28	201.02	202.75	206.91	207.95	209.57	213.01	(109)	
251.79	257.10	263.03	267.39	272.47	274.80	280.44	281.85	284.04	288.71	(110)	
321.64	328.43	336.00	341.58	348.06	351.05	358.24	360.05	362.85	368.81	(111)	
8.44	8.62	8.82	8.97	9.14	9.22	9.40	9.45	9.53	9.68	(112)	
383.88	384.54	386.20	385.69	385.81	385.53	386.59	385.17	384.40	383.91	(113)	
158.54	158.82	159.50	159.29	159.34	159.22	159.66	159.08	158.76	158.55	(114)	
40.31	40.38	40.55	40.50	40.51	40.48	40.59	40.44	40.36	40.31	(115)	
1.54	1.54	1.54	1.54	1.54	1.54	1.55	1.54	1.54	1.54	(116)	
64.49	64.59	64.89	64.80	64.82	64.78	64.95	64.71	64.58	64.50	(117)	
119.00	119.21	119.72	119.56	119.60	119.51	119.84	119.40	119.16	119.01	(118)	
436.14	437.57	439.98	440.25	441.05	441.36	443.07	442.24	441.97	442.05	(119)	
132.58	133.02	133.76	133.84	134.08	134.17	134.68	134.44	134.35	134.38	(120)	
112.96	113.33	113.95	114.02	114.23	114.31	114.76	114.54	114.47	114.49	(121)	
151.78	152.27	153.11	153.21	153.49	153.59	154.19	153.90	153.81	153.83	(122)	
2.18	2.19	2.20	2.20	2.21	2.21	2.22	2.21	2.21	2.21	(123)	
30.97	31.07	31.24	31.26	31.31	31.34	31.46	31.40	31.38	31.39	(124)	
5.67	5.69	5.72	5.72	5.73	5.74	5.76	5.75	5.75	5.75	(125)	
1,072.61	1,081.81	1,093.54	1,099.41	1,107.19	1,110.54	1,120.69	1,120.78	1,122.96	1,128.92	(126)	
966.61	975.36	986.39	992.13	999.64	1,002.87	1,012.51	1,012.80	1,015.01	1,020.94	(127)	
321.64	328.43	336.00	341.58	348.06	351.05	358.24	360.05	362.85	368.81	(128)	
8.44	8.62	8.82	8.97	9.14	9.22	9.40	9.45	9.53	9.68	(129)	
158.54	158.82	159.50	159.29	159.34	159.22	159.66	159.08	158.76	158.55	(130)	
40.31	40.38	40.55	40.50	40.51	40.48	40.59	40.44	40.36	40.31	(131)	
1.54	1.54	1.54	1.54	1.54	1.54	1.55	1.54	1.54	1.54	(132)	
132.58	133.02	133.76	133.84	134.08	134.17	134.68	134.44	134.35	134.38	(133)	
112.96	113.33	113.95	114.02	114.23	114.31	114.76	114.54	114.47	114.49	(134)	
151.78	152.27	153.11	153.21	153.49	153.59	154.19	153.90	153.81	153.83	(135)	
2.18	2.19	2.20	2.20	2.21	2.21	2.22	2.21	2.21	2.21	(136)	
30.97	31.07	31.24	31.26	31.31	31.34	31.46	31.40	31.38	31.39	(137)	
5.67	5.69	5.72	5.72	5.73	5.74	5.76	5.75	5.75	5.75	(138)	
106.00	106.45	107.15	107.28	107.55	107.67	108.18	107.98	107.95	107.98	(139)	
35.33	35.48	35.72	35.76	35.85	35.89	36.06	35.99	35.98	35.99	(140)	
7.07	7.10	7.14	7.15	7.17	7.18	7.21	7.20	7.20	7.20	(141)	
21.20	21.29	21.43	21.46	21.51	21.53	21.64	21.60	21.59	21.60	(142)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(143)	
35.33	35.48	35.72	35.76	35.85	35.89	36.06	35.99	35.98	35.99	(144)	
7.07	7.10	7.14	7.15	7.17	7.18	7.21	7.20	7.20	7.20	(145)	
1,513.74	1,518.15	1,526.54	1,526.24	1,528.86	1,528.27	1,534.61	1,529.51	1,527.32	1,527.82	(146)	
1,513.74	1,518.15	1,526.54	1,526.24	1,528.86	1,528.27	1,534.61	1,529.51	1,527.32	1,527.82	(147)	
14.13	14.19	14.29	14.30	14.34	14.35	14.42	14.40	14.39	14.40	(148)	
1,128.82	1,127.65	1,129.50	1,124.99	1,122.45	1,119.61	1,119.91	1,113.86	1,109.73	1,105.70	(149)	
251.79	257.10	263.03	267.39	272.47	274.80	280.44	281.85	284.04	288.71	(150)	
119.00	119.21	119.72	119.56	119.60	119.51	119.84	119.40	119.16	119.01	(151)	
10,144.60	10,150.31	10,182.89	10,158.03	10,151.25	10,134.87	10,153.41	10,107.49	10,079.65	10,058.90	(152)	
10,038.60	10,043.86	10,075.74	10,050.75	10,043.70	10,027.20	10,045.23	9,999.51	9,971.70	9,950.92	(153)	
9,268.46	9,270.45	9,297.05	9,271.20	9,262.24	9,244.86	9,259.10	9,214.87	9,187.42	9,166.26	(154)	
6,189.19	6,215.55	6,258.10	6,264.92	6,280.33	6,287.33	6,317.91	6,305.96	6,302.88	6,306.09	(155)	
1,170	1,180	1,190	1,200	1,209	1,217	1,226	1,234	1,241	1,249	(156)	
1,158	1,168	1,178	1,188	1,196	1,204	1,213	1,221	1,228	1,236	(157)	
815	825	835	845	854	862	871	879	886	894	(158)	
714	723	731	740	748	755	763	770	776	783	(159)	
355	355	355	355	355	355	355	355	355	355	(160)	
10.6	10.7	10.7	10.8	10.9	11.0	11.0	11.1	11.1	11.2	(161)	
9.6	9.7	9.8	9.9	10.0	10.0	10.1	10.1	10.2	10.3	(162)	
14.9	15.0	15.0	15.0	15.1	15.1	15.1	15.1	15.2	15.2	(163)	
15.1	15.1	15.2	15.2	15.2	15.2	15.3	15.3	15.3	15.4	(164)	

第2節 減量化・資源化の目標設定

前節で行ったごみ排出量等の推計は、あくまで過去の実績に基づいた回帰式による推計結果であり、ごみ減量化及び資源化の施策等の効果については考慮していない。

本節では、国・県の目標値を基に、本市における減量化・資源化の目標値を設定する。

1. 減量化・資源化の目標値の設定

ごみ減量化及び資源化施策を実施した場合のごみ量等について、目標値を設定した上で推計を行う。

1) 国の目標

「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針（環境省告示第34号）」（以下「基本的な方針」という。）に示された目標値は、表6-2-1のとおりである。

なお、基本的な方針については平成32（令和2）年度を目標年度としているが、基本方針の内容に大幅な変更の必要がないことから令和2年度時点で改定を行わないこととなっている。

表6-2-1 国の目標（再掲）

項目	現況 (平成24年度)	目標値 (平成32年度)
排出量	4,523万トン	平成24年度実績に対し 約12%削減
再生利用率	約21%	約27%
最終処分量	約465万トン	平成24年度実績に対し 約14%削減
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量	-	500グラム

再生利用率：資源の回収等による資源化量をごみ排出量で除した値

2) 県の目標

第3次岩手県循環型社会形成推進計画に示された目標値は、表6-2-2のとおりである。

表6-2-2 県の目標値（再掲）

項目	現況 (平成30年度)	目標値 (令和7年度)
県民一人1日当たり 家庭系ごみ排出量	506 g/人・日	465 g/人・日
県民一人1日当たり 事業系ごみ排出量	295 g/人・日	271 g/人・日
リサイクル率	18.2%	23.0%
最終処分量	41.3千t	35.8千t

※家庭系ごみは、生活系ごみから資源ごみや集団回収を除いた量である。

3) 本計画における減量化目標値の設定

上位計画である国及び県の減量化の目標を踏まえ、本計画における目標値を定める。

(1) 目標年度

国が定める目標年度は平成 32 (令和 2) 年度であり、本計画見直し (令和 3 年度) 以前となる。

県が定める目標年度は令和 7 年度であるが、本計画見直し (令和 3 年度) から 4 年後にあたり、計画期間としては過度に短いため本計画における目標設定年度としては相応しくない。

一方、減量化が計画どおりに進捗していない点を鑑み、目標年度までの計画期間が短すぎると、施策の効果が十分に現れない恐れがある。

以上のことから、本計画における減量化の目標年度は、本計画の目標年次と同じ令和 12 年度とする。

(2) 目標値

減量化の目標値として、国の目標値は「1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量 500 g (第 4 次循環型社会形成推進基本計画では 440 g)」である。これに対応する県の目標値は「県民 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量 465 g (生活系ごみ排出量から資源となるもの (資源ごみと集団回収量) を除いた量)」である。また、事業系ごみについては県において「県民 1 人 1 日当たりの事業系ごみ排出量 271 g」を目標値として設定している。

これに対し、本市の令和 2 年度における 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量は 718 g (生活系ごみ排出量から資源となるもの (資源ごみと集団回収量) を除いた量)、1 人 1 日当たりの事業系ごみ排出量は 336 g となっており、いずれの指標についても現時点では国と県の目標値には届いていない状態にある。

本計画では、本市の現状を鑑み、国や県の目標を達成することは困難であると判断されるため、可能な限り県の目標値に近づけることを念頭に、家庭系と事業系それぞれについて 1 年で 2 % ずつの削減を計画目標とする。

すなわち、計画目標年次である令和 12 年度において、以下の値まで削減することを目標とする。

・「1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量を 573 g/人・日以下」

・「1 人 1 日当たりの事業系ごみ排出量を 268 g/人・日以下」

また、ごみ量原単位について、施策を実施した場合及び、現状のまま推移した場合の予測について、家庭系ごみは図 6-2-1、事業系ごみは図 6-2-2 にそれぞれ示す。

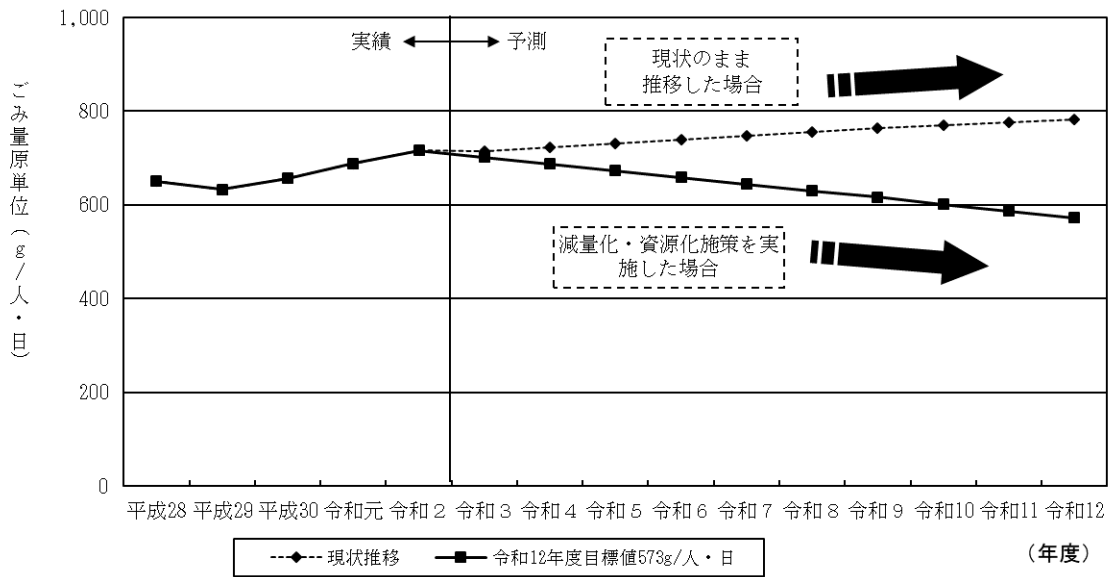


図6-2-1 ごみ量原単位の現状と目標（家庭系ごみ排出量）

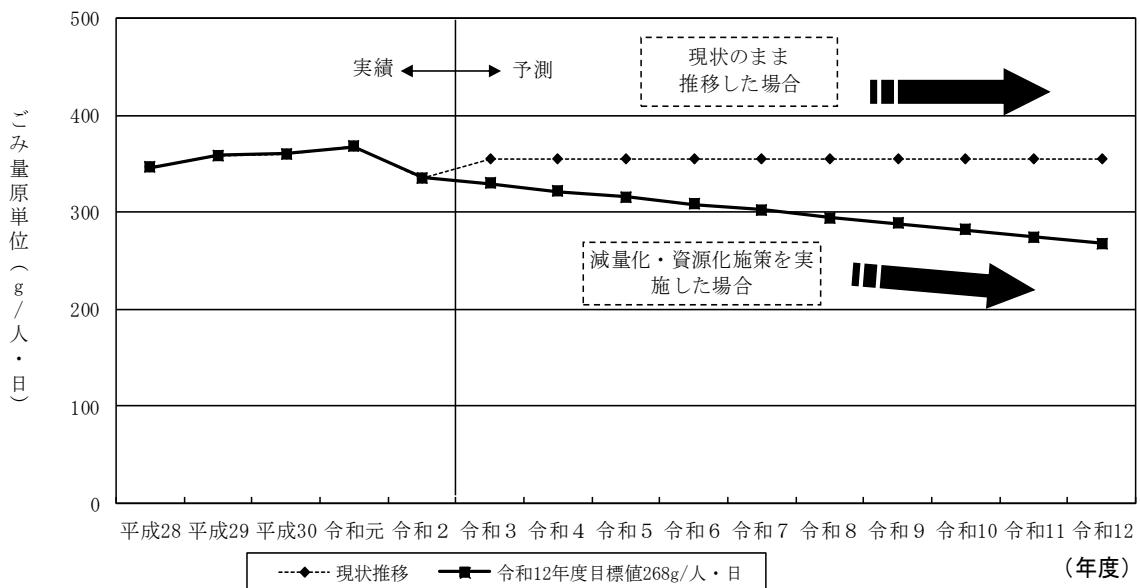


図6-2-2 ごみ量原単位の現状と目標（事業系ごみ排出量）

4) 本計画における資源化目標値の設定

上位計画である国及び県の資源化の目標を踏まえ、本計画における目標値を定める。

(1) 目標年度

目標年度は、減量化目標と同様に、本計画の目標年度である令和 12 年度とする。

(2) 目標値

国は平成 32 (令和 2) 年度における資源化率 (再生利用率、リサイクル率) の目標を約 27%、県は令和 7 年度における資源化率の目標値を約 23.0%と定めている。

これに対し、本市の令和 2 年度における資源化率 (集団回収を含む) は 10.7%であり、国及び県のどちらの目標値にも遠く及ばない状態にある。

本計画では、本市の現状を鑑み、減量化目標と同様に国や県の目標値を達成することは困難であると判断されるため、可能な限り県の目標値に近づけることを念頭に、これまでと同様に目標年度 (令和 12 年度) におけるリサイクル率の目標値を以下の値とする。

・「資源化率 20.6%以上」

資源化率は、ごみの減量化を進めていく一方で、資源となり得るごみを燃えるごみや燃えないごみに混入させずに、資源ごみとして分別排出させることを住民に対して啓発し続けていく地道な活動によって向上させていく必要があるため、資源化率向上のための施策を積極的に実施していくものとする。

5) 本計画における最終処分目標値の設定

上位計画である国及び県の最終処分に関する目標を踏まえ、本計画における目標値を定める。

(1) 目標年度

目標年度は、減量化目標や資源化目標と同様に、本計画の目標年度である令和12年度とする。

(2) 目標値

本市の令和2年度における最終処分量は、1,505 t/年であり、総ごみ排出量(10,076 t/年)に対する比率(最終処分率)は14.9%となっている。

本計画では、ごみの減量化目標値や資源化率目標値を達成した場合、最終処分量は大幅に削減できることから、**目標年度(令和12年度)において最終処分量の目標値は1,200t以下を達成することを目標とする。**

6) 各種目標値のまとめ

減量化、資源化並びに最終処分に関する本計画における目標値をまとめると、表6-2-3に示すとおりである。

表6-2-3 目標値のまとめ

項目		現況 (令和2年度)	目標値 (令和12年度)
ごみ排出 原単位	家庭系ごみ*	716 g/人・日	573 g/人・日以下
	事業系ごみ	336 g/人・日	268 g/人・日以下
資源化率		10.7%	20.6%以上
最終処分量		1,505t	1,200t以下

2. 目標値設定後の計画ごみ排出量及び処理・処分量の見通し

目標値設定後の計画ごみ排出量及び計画ごみ処理・処分量の予測結果を表6-2-4～表6-2-7に示す。

表6-2-4 目標値設定後の計画ごみ排出量の見通し (1/2)

八幡平市 (目標)	記号	予測値計算式	直近 占有率	回収率	単位	実績				
						H28	H29	H30	R1	R2
計画収集人口	(1)	総合計画	-	-	人	25,861	25,411	25,055	24,412	23,939
年度日数	(2)	実数	-	-	日/年	365	365	365	366	365
将来ごみ原単位	(3)	(4)+(5)	-	-	g/人・日	754	737	759	791	818
生活系可燃系ごみ原単位	(4)	-	-	-	g/人・日	669	646	669	689	706
生活系不燃系ごみ原単位	(5)	-	-	-	g/人・日	91	91	96	102	112
将来ごみ原単位	(6)	(7)+(8)	-	-	g/人・日	650	639	657	688	716
家庭系可燃系ごみ原単位	(7)	目標設定 (年2%ずつ減少)	-	-	g/人・日	602	587	605	631	649
家庭系不燃系ごみ原単位	(8)	目標設定 (年2%ずつ減少)	-	-	g/人・日	48	46	52	57	68
生活系ごみ排出量	(9)	(10)+(32)	-	-	t/年	7,119.92	6,835.87	6,943.02	7,066.96	7,141.84
生活系可燃系ごみ排出量	(10)	(1)×(2)×(4)÷1,000,000	-	-	t/年	6,281.71	5,994.16	6,086.97	6,158.92	6,166.29
燃えるごみ排出量	(11)	(10)-(12)-(25)	79.3%	-	t/年	5,686.44	5,447.07	5,532.70	5,635.74	5,665.98
資源ごみ排出量	(12)	(13)+(20)+(29)	-	-	t/年	440.95	438.15	424.41	420.88	437.70
紙類	(13)	(12)×R2実績比率	-	-	t/年	377.00	366.29	357.00	348.50	367.21
新聞紙	(14)	(13)×R2実績比率	1.8%	100.0%	t/年	157.13	147.54	137.18	125.90	126.22
雑誌	(15)	(13)×R2実績比率	1.3%	100.0%	t/年	106.08	91.93	93.42	93.20	94.74
段ボール	(16)	(13)×R2実績比率	1.6%	100.0%	t/年	90.39	99.75	100.70	102.48	117.60
紙バック	(17)	(13)-(14)-(15)-(16)-(18)	0.0%	100.0%	t/年	3.62	3.81	3.39	2.62	2.64
雑紙	(18)	(13)×R2実績比率	0.4%	100.0%	t/年	19.84	23.26	22.39	24.90	28.01
パルプ紙	(19)	計上しない	-	-	t/年	-	-	-	-	-
プラスチック類	(20)	(12)×R2実績比率	-	-	t/年	60.58	64.33	65.12	70.11	69.84
ペットボトル	(21)	(20)×R2実績比率	0.9%	100.0%	t/年	56.72	60.17	61.10	66.79	66.10
トレイ類	(22)	(20)×R2実績比率	0.1%	100.0%	t/年	3.86	4.16	4.02	3.38	3.74
布類	(23)	(24)	-	-	t/年	3.37	2.59	2.29	2.27	0.65
古着	(24)	(12)-(13)-(20)	0.0%	100.0%	t/年	3.37	2.59	2.29	2.27	0.65
集団回収排出量	(25)	(26)	-	-	t/年	184.92	119.94	109.26	101.70	62.55
紙類・布類	(26)	(10)-(11)-(12)	-	-	t/年	184.92	119.94	109.26	101.70	62.55
新聞紙	(27)	(26)×R2実績比率	0.5%	-	t/年	89.05	80.64	77.18	69.59	37.52
雑誌	(28)	(26)-(27)-(29)	0.1%	-	t/年	9.49	7.85	7.06	6.44	5.32
段ボール	(29)	(26)×R2実績比率	0.3%	-	t/年	35.25	25.39	24.95	25.61	19.57
紙バック	(30)	計上しない	0.0%	-	t/年	0.07	0.05	0.07	0.09	0.11
古着	(31)	計上しない	0.0%	-	t/年	0.46	0.01	-	0.09	0.09
生活系不燃系ごみ排出量	(32)	(1)×(2)×(5)÷1,000,000	-	-	t/年	858.21	841.71	876.65	908.04	975.61
燃えないごみ排出量	(33)	(48)	3.5%	-	t/年	229.09	216.02	233.04	234.02	251.61
粗大ごみ排出量	(34)	(49)	4.6%	-	t/年	219.40	210.71	241.79	269.98	330.50
埋立ごみ排出量	(35)	(50)	0.2%	-	t/年	18.23	2.40	2.64	7.59	11.36
資源ごみ排出量	(36)	(32)-(33)-(34)-(35)×R2実績比率	-	-	t/年	351.35	357.00	344.93	349.15	341.56
金属類	(37)	(38)	-	-	t/年	89.94	97.47	94.98	101.21	106.44
空き缶類	(38)	(36)×R2実績比率	1.5%	100.0%	t/年	89.94	97.47	94.98	101.21	106.44
びん類	(39)	(40)	-	-	t/年	261.41	260.93	249.37	247.94	235.12
空きびん類	(40)	(36)×R2実績比率	3.3%	100.0%	t/年	261.41	260.93	249.37	247.94	235.12
集団回収排出量	(41)	(32)-(33)-(34)-(35)-(36)	-	-	t/年	52.14	54.78	54.85	53.96	40.58
金属類	(42)	(43)	-	-	t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28
空き缶類	(43)	(36)×R2実績比率	0.5%	-	t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28
びん類	(44)	(45)	-	-	t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30
空きびん類	(45)	(41)-(42)	0.1%	-	t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30
家庭系ごみ排出量	(46)	(51)+(52)	-	-	t/年	6,141.16	5,876.20	6,010.17	6,140.67	6,259.45
燃えるごみ排出量	(47)	(1)×(2)×(7)÷1,000,000	90.5%	-	t/年	5,686.44	5,447.07	5,532.70	5,635.74	5,665.98
燃えないごみ排出量	(48)	(52)-(49)-(50)	4.0%	-	t/年	229.09	216.02	233.04	234.02	251.61
粗大ごみ排出量	(49)	(46)×R2実績比率	5.3%	-	t/年	219.40	210.71	241.79	269.98	330.50
埋立ごみ排出量	(50)	(46)×R2実績比率	0.2%	-	t/年	18.23	2.40	2.64	7.59	11.36
家庭系可燃系ごみ排出量	(51)	(1)×(2)×(7)÷1,000,000	-	-	t/年	5,686.44	5,447.07	5,532.70	5,635.74	5,665.98
家庭系不燃系ごみ排出量	(52)	(1)×(2)×(8)÷1,000,000	-	-	t/年	454.72	429.13	477.47	504.93	593.47
将来ごみ原単位	(53)	(54)+(55)	-	-	g/人・日	947	939	961	968	998
事業系可燃系ごみ原単位	(54)	目標設定 (年2%ずつ減少)	-	-	g/人・日	326	339	341	349	315
事業系不燃系ごみ原単位	(55)	目標設定 (年2%ずつ減少)	-	-	g/人・日	21	20	20	19	21
事業系ごみ排出量	(56)	(57)+(72)	-	-	t/年	3,272.16	3,331.80	3,300.79	3,289.55	2,999.99
事業系可燃系ごみ排出量	(57)	(1)×(2)×(54)÷1,000,000	-	-	t/年	3,079.27	3,148.85	3,119.95	3,116.07	2,750.42
燃えるごみ排出量	(58)	(57)-(59)	99.3%	-	t/年	3,056.69	3,127.52	3,097.92	3,098.80	2,736.85
資源ごみ排出量	(59)	(60)+(67)+(70)	-	-	t/年	16.58	21.93	21.43	17.27	19.57
紙類	(60)	(61)~(68)の合計	-	-	t/年	14.69	18.55	15.47	13.21	12.18
新聞紙	(61)	(56)×直近占有率	-	-	t/年	0.05	0.19	0.90	0.10	-
雑誌	(62)	(58)×直近占有率	0.0%	-	t/年	2.77	1.15	1.70	1.62	0.49
段ボール	(63)	(56)×直近占有率	0.4%	-	t/年	11.87	12.93	12.76	11.49	11.75
紙バック	(64)	(56)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-
雑紙	(65)	(58)×直近占有率	-	-	t/年	-	2.28	0.11	-	-
パルプ紙	(66)	(56)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-
プラスチック類	(67)	(68)~(69)の合計	-	-	t/年	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02
ペットボトル	(68)	(56)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-
トレイ類	(69)	(56)×直近占有率	0.0%	-	t/年	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02
布類	(70)	(71)	-	-	t/年	1.82	4.68	5.85	4.04	1.37
古着	(71)	(56)×直近占有率	0.0%	-	t/年	1.82	4.68	5.85	4.04	1.37
事業系不燃系ごみ排出量	(72)	(1)×(2)×(55)÷1,000,000	-	-	t/年	198.89	182.95	181.44	179.48	189.57
燃えないごみ排出量	(73)	計上しない	-	-	t/年	-	-	-	-	-
粗大ごみ排出量	(74)	(72)-(73)-(75)-(76)	3.7%	-	t/年	79.06	86.68	90.99	82.15	108.07
埋立ごみ排出量	(75)	(56)×直近占有率	0.0%	-	t/年	23.39	4.07	0.64	0.99	0.11
資源ごみ排出量	(76)	(77)+(79)	-	-	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.99
金属類	(77)	(78)	-	-	t/年	-	-	-	-	-
空き缶類	(78)	(56)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-
びん類	(79)	(80)	-	-	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.99
空きびん類	(80)	(56)×直近占有率	2.6%	-	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.99
総ごみ量	(81)	(82)~(87)の合計	-	-	t/年	10,392.08	10,167.87	10,249.81	10,355.91	10,075.89
燃えるごみ排出量	(82)	(11)+(58)	-	-	t/年	8,749.19	8,574.59	8,680.62	8,794.54	8,402.89
燃えないごみ排出量	(83)	(33)+(73)	-	-	t/年	229.09	216.02	233.04	234.02	251.61
粗大ごみ排出量	(84)	(34)+(74)	-	-	t/年	292.46	297.39	332.78	345.59	438.57
埋立ごみ排出量	(85)	(35)+(75)	-	-	t/年	42.06	6.47	3.28	8.46	11.47
資源ごみ排出量	(86)	(12)+(36)+(59)+(76)	-	-	t/年	904.88	904.48	879.98	877.70	868.22
集団回収排出量	(87)	(25)+(41)	-	-	t/年	186.46	168.72	164.11	155.66	109.13

表6-2-5 目標値設定後の計画ごみ排出量の見通し (2/2)

予測値											記号
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
23,751	23,563	23,376	23,188	23,000	22,812	22,624	22,437	22,249	22,061	(1)	
365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	(2)	
815	812	809	805	803	799	796	794	790	787	(3)	
703	701	698	695	693	690	687	685	682	679	(4)	
112	111	111	110	110	109	109	109	108	108	(5)	
702	687	673	659	644	630	616	601	587	573	(6)	
635	622	609	596	583	570	557	544	531	518	(7)	
67	65	64	63	61	60	59	57	56	55	(8)	
7,065.33	6,983.60	6,921.49	6,813.22	6,741.19	6,652.78	6,591.18	6,502.47	6,415.50	6,337.13	(9)	
6,094.39	6,028.95	5,971.82	5,882.22	5,817.74	5,745.20	5,688.62	5,609.81	5,538.44	5,469.42	(10)	
5,504.89	5,349.51	5,210.37	5,044.32	4,894.29	4,746.04	4,612.17	4,455.09	4,312.19	4,171.07	(11)	
515.79	594.48	666.24	733.13	807.98	874.23	941.85	1,010.34	1,072.92	1,136.01	(12)	
432.72	498.74	558.94	615.06	677.86	733.44	790.17	847.63	900.13	953.06	(13)	
148.74	171.43	192.12	211.41	233.00	252.10	271.60	291.35	309.40	327.59	(14)	
111.64	128.67	144.21	158.69	174.89	189.23	203.86	218.69	232.23	245.89	(15)	
138.58	159.72	179.00	196.97	217.09	234.89	253.05	271.46	288.27	305.22	(16)	
3.11	3.59	4.02	4.42	4.87	5.27	5.69	6.09	6.47	6.85	(17)	
30.65	35.33	39.59	43.57	48.01	51.95	55.97	60.04	63.76	67.51	(18)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(19)	
82.30	94.86	106.31	116.98	128.92	139.49	150.28	161.21	171.20	181.26	(20)	
77.89	89.78	100.62	110.72	122.02	132.02	142.23	152.58	162.03	171.55	(21)	
4.41	5.08	5.69	6.26	6.90	7.47	8.05	8.63	9.17	9.71	(22)	
0.77	0.88	0.99	1.09	1.20	1.30	1.40	1.50	1.59	1.69	(23)	
0.77	0.88	0.99	1.09	1.20	1.30	1.40	1.50	1.59	1.69	(24)	
73.71	84.96	95.21	104.77	115.47	124.93	134.60	144.38	153.33	162.34	(25)	
73.71	84.96	95.21	104.77	115.47	124.93	134.60	144.38	153.33	162.34	(26)	
44.21	50.96	57.11	62.85	69.26	74.94	80.74	86.60	91.97	97.38	(27)	
6.44	7.42	8.31	9.14	10.08	10.90	11.75	12.61	13.39	14.17	(28)	
23.06	26.58	29.79	32.78	36.13	39.09	42.11	45.17	47.97	50.79	(29)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(30)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(31)	
970.94	954.65	949.67	931.00	923.45	907.58	902.56	892.66	877.06	867.71	(32)	
248.46	236.34	233.09	228.60	216.83	213.09	209.96	197.99	194.42	189.36	(33)	
321.33	311.97	304.02	294.49	285.46	276.97	269.32	259.88	251.70	243.53	(34)	
11.04	10.72	10.45	10.12	9.81	9.52	9.26	8.93	8.65	8.37	(35)	
348.68	353.61	359.41	355.55	367.67	364.67	370.05	380.64	377.45	381.16	(36)	
108.66	110.20	112.00	110.80	114.58	113.64	115.32	118.62	117.62	118.78	(37)	
108.66	110.20	112.00	110.80	114.58	113.64	115.32	118.62	117.62	118.78	(38)	
240.02	243.41	247.41	244.75	253.09	251.03	254.73	262.02	259.83	262.38	(39)	
240.02	243.41	247.41	244.75	253.09	251.03	254.73	262.02	259.83	262.38	(40)	
41.43	42.01	42.70	42.24	43.68	43.33	43.97	45.22	44.84	45.29	(41)	
36.02	36.52	37.12	36.73	37.98	37.67	38.22	39.32	38.99	39.37	(42)	
36.02	36.52	37.12	36.73	37.98	37.67	38.22	39.32	38.99	39.37	(43)	
5.41	5.49	5.58	5.51	5.70	5.66	5.75	5.90	5.85	5.92	(44)	
5.41	5.49	5.58	5.51	5.70	5.66	5.75	5.90	5.85	5.92	(45)	
6,085.72	5,908.54	5,757.93	5,577.53	5,406.39	5,245.62	5,100.71	4,921.89	4,766.96	4,612.33	(46)	
5,504.89	5,349.51	5,210.37	5,044.32	4,894.29	4,746.04	4,612.17	4,455.09	4,312.19	4,171.07	(47)	
248.46	236.34	233.09	228.60	216.83	213.09	209.96	197.99	194.42	189.36	(48)	
321.33	311.97	304.02	294.49	285.46	276.97	269.32	259.88	251.70	243.53	(49)	
11.04	10.72	10.45	10.12	9.81	9.52	9.26	8.93	8.65	8.37	(50)	
5,504.89	5,349.51	5,210.37	5,044.32	4,894.29	4,746.04	4,612.17	4,455.09	4,312.19	4,171.07	(51)	
580.83	559.03	547.56	533.21	512.10	499.58	488.54	466.80	454.77	441.26	(52)	
330	322	316	309	303	295	289	282	275	268	(53)	
309	302	296	290	284	277	271	265	258	252	(54)	
21	20	20	19	19	18	18	17	17	16	(55)	
2,860.81	2,769.36	2,703.57	2,615.26	2,543.69	2,456.28	2,393.03	2,309.44	2,233.25	2,158.01	(56)	
2,678.76	2,597.35	2,532.46	2,454.45	2,384.18	2,306.41	2,243.98	2,170.22	2,095.19	2,029.17	(57)	
2,667.32	2,586.27	2,521.65	2,443.99	2,374.01	2,296.58	2,234.41	2,160.98	2,086.26	2,020.54	(58)	
11.44	11.08	10.81	10.46	10.17	9.83	9.57	9.24	8.93	8.63	(59)	
11.44	11.08	10.81	10.46	10.17	9.83	9.57	9.24	8.93	8.63	(60)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(61)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(62)	
11.44	11.08	10.81	10.46	10.17	9.83	9.57	9.24	8.93	8.63	(63)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(64)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(65)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(66)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(67)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(68)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(69)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(70)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(71)	
182.05	172.01	171.11	160.81	159.51	149.87	149.05	139.22	138.06	128.84	(72)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(73)	
107.67	100.01	100.82	92.81	93.37	86.01	86.83	79.17	80.00	72.73	(74)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(75)	
74.38	72.00	70.29	68.00	66.14	63.86	62.22	60.05	58.06	56.11	(76)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(77)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(78)	
74.38	72.00	70.29	68.00	66.14	63.86	62.22	60.05	58.06	56.11	(79)	
74.38	72.00	70.29	68.00	66.14	63.86	62.22	60.05	58.06	56.11	(80)	
9,926.14	9,752.96	9,625.06	9,428.48	9,284.88	9,109.06	8,984.21	8,811.91	8,648.75	8,495.14	(81)	
8,172.21	7,935.78	7,732.02	7,488.31	7,268.30	7,042.62	6,846.58	6,616.07	6,398.45	6,191.61	(82)	
248.46	236.34	233.09	228.60	216.83	213.09	209.96	197.99	194.42	189.36	(83)	
429.00	411.98	404.84	387.30	378.83	362.98	356.15	339.05	331.70	316.26	(84)	
11.04	10.72	10.45	10.12	9.81	9.52	9.26	8.93	8.65	8.37	(85)	
950.29	1,031.17	1,106.75	1,167.14	1,251.96	1,312.59	1,383.69	1,460.27	1,517.36	1,581.91	(86)	
115.14	126.97	137.91	147.01	159.15	168.26	178.57	189.60	198.17	207.63	(87)	

表6-2-6 目標値設定後の計画ごみ処理・処分量の見通し (1/2)

八幡平市 (目標)	記号	予測値計算式	直近比率	単位	実績				
					H28	H29	H30	R1	R2
中間処理前ごみ量	(88)	(89)+(94)+(99)+(104)		t/年	10,333.64	10,245.69	10,286.43	10,448.35	10,271.40
ごみ焼却施設	(89)	(90)~(93)の合計		t/年	8,874.76	8,712.20	8,800.54	8,949.70	8,660.02
焼えるごみ排出量	(90)	(82)		t/年	8,743.13	8,574.59	8,630.62	8,734.54	8,402.83
粗大可燃残渣	(91)	(116)		t/年	100.93	119.59	134.31	159.46	193.48
手選別可燃残渣	(92)	(124)		t/年	30.70	18.02	35.61	55.70	63.71
その他(他市町村受入)	(93)	計上しない		t/年	-	-	-	-	-
粗大ごみ処理施設	(94)	(95)~(98)の合計		t/年	605.49	610.88	660.78	680.76	796.62
焼えないごみ排出量	(95)	(83)		t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61
粗大ごみ排出量	(96)	(84)		t/年	292.46	297.39	332.78	345.53	438.57
資源(空き缶類)排出量	(97)	(38)+(78)		t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44
その他(他市町村受入)	(98)	計上しない		t/年	-	-	-	-	-
手選別処理施設	(99)	(100)~(103)の合計		t/年	418.06	416.96	404.41	408.47	380.37
資源(空きびん類)排出量	(100)	(40)+(80)		t/年	357.41	352.53	339.18	338.34	310.51
資源(ペットボトル)排出量	(101)	(21)+(68)		t/年	56.72	60.17	61.10	66.73	66.10
資源(トレイ類)排出量	(102)	(22)+(69)		t/年	3.93	4.26	4.13	3.40	3.76
その他	(103)	計上しない		t/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
一時保管施設	(104)	(105)~(111)の合計		t/年	435.33	505.65	420.70	409.42	434.39
資源(新聞紙)排出量	(105)	(14)+(61)		t/年	157.18	147.73	138.06	126.00	126.22
資源(雑紙)排出量	(106)	(15)+(62)		t/年	108.85	93.08	95.12	94.82	95.17
資源(段ボール)排出量	(107)	(16)+(63)		t/年	102.20	112.68	113.46	113.97	129.35
資源(紙バック)排出量	(108)	(17)+(64)		t/年	3.62	3.81	3.33	2.62	2.64
資源(雑紙)排出量	(109)	(18)+(65)		t/年	19.84	25.54	22.50	24.30	26.01
資源(シュレッダー紙)排出量	(110)	(19)+(66)		t/年	-	-	-	-	-
その他(施設内排出)	(111)	実績5か年平均		t/年	43.64	122.81	48.23	47.71	55.00
中間処理後ごみ量	(112)	(113)+(115)+(120)+(126)		t/年	2,505.74	2,637.74	2,569.10	2,594.45	2,725.70
ごみ焼却施設	(113)	(114)		t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32
焼却灰(焼却残渣)	(114)	(89)×直近比率	12.9%	t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32
粗大ごみ処理施設	(115)	(116)~(119)の合計		t/年	605.49	610.89	660.78	680.77	796.62
粗大可燃残渣	(116)	(94)-(117)-(118)-(119)		t/年	100.93	119.59	134.31	159.46	193.48
粗大不燃残渣	(117)	(94)×直近比率	32.8%	t/年	211.85	208.18	230.35	225.76	261.06
粗大資源物(金属類)	(118)	(94)×直近比率	41.9%	t/年	285.17	274.12	289.39	286.71	333.57
粗大資源物(小型家電)	(119)	(94)×直近比率	1.1%	t/年	7.54	9.00	6.73	8.84	8.51
手選別処理施設	(120)	(121)~(125)の合計		t/年	418.06	416.96	404.41	408.47	380.37
手選別資源物(空きびん類)	(121)	(99)×直近比率	41.3%	t/年	191.63	215.91	185.05	181.98	157.25
手選別資源物(ペットボトル)	(122)	(99)×直近比率	10.8%	t/年	42.62	35.56	45.29	35.46	39.95
手選別資源物(トレイ類)	(123)	(99)×直近比率	0.4%	t/年	1.80	1.53	1.48	1.59	1.67
手選別可燃残渣	(124)	(99)-(121)-(122)-(123)-(125)		t/年	30.70	18.02	35.61	55.70	63.71
手選別不燃残渣	(125)	(99)×直近比率	31.0%	t/年	151.31	145.94	136.98	133.74	117.79
一時保管施設	(126)	(127)~(132)の合計		t/年	435.33	505.65	420.70	409.42	434.39
保管資源物(新聞紙)	(127)	(104)-{(128)~(132)の合計}	-	t/年	153.05	150.25	142.00	132.45	131.83
保管資源物(雑紙)	(128)	(104)×直近比率	25.9%	t/年	129.81	108.44	110.72	109.08	112.52
保管資源物(段ボール)	(129)	(104)×直近比率	34.8%	t/年	124.37	131.30	132.77	130.99	151.15
保管資源物(紙バック)	(130)	(104)×直近比率	0.5%	t/年	2.89	2.63	2.57	2.35	2.21
保管資源物(雑紙)	(131)	(104)×直近比率	7.1%	t/年	21.39	108.44	27.75	28.94	31.04
保管資源物(シュレッダー紙)	(132)	(104)×直近比率	1.3%	t/年	3.82	4.59	4.89	5.61	5.64
資源化業者	(133)	(134)+(146)		t/年	1,150.09	1,210.48	1,112.75	1,079.63	1,078.44
資源化業者	(134)	(135)~(145)の合計		t/年	964.09	1,041.77	948.64	924.00	975.34
粗大資源物(金属類)	(135)	(118)		t/年	285.17	274.12	289.39	286.71	333.57
粗大資源物(小型家電)	(136)	(119)		t/年	7.54	9.00	6.73	8.84	8.51
手選別資源物(空きびん類)	(137)	(121)		t/年	191.63	215.91	185.05	181.98	157.25
手選別資源物(ペットボトル)	(138)	(122)		t/年	42.62	35.56	45.29	35.46	39.95
手選別資源物(トレイ類)	(139)	(123)		t/年	1.80	1.53	1.48	1.59	1.67
保管資源物(新聞紙)	(140)	(127)		t/年	153.05	150.25	142.00	132.45	131.83
保管資源物(雑紙)	(141)	(128)		t/年	129.81	108.44	110.72	109.08	112.52
保管資源物(段ボール)	(142)	(129)		t/年	124.37	131.30	132.77	130.99	151.15
保管資源物(紙バック)	(143)	(130)		t/年	2.89	2.63	2.57	2.35	2.21
保管資源物(雑紙)	(144)	(131)		t/年	21.39	108.44	27.75	28.94	31.04
保管資源物(シュレッダー紙)	(145)	(132)		t/年	3.82	4.59	4.89	5.61	5.64
集団回収業者	(146)	(147)~(152)の合計		t/年	186.00	168.71	164.11	155.63	103.10
集団回収(新聞紙)	(147)	(27)		t/年	89.05	80.64	77.18	69.53	37.52
集団回収(雑紙)	(148)	(28)		t/年	9.49	7.85	7.06	6.44	5.32
集団回収(段ボール)	(149)	(29)		t/年	35.25	25.39	24.95	25.61	19.57
集団回収(紙バック)	(150)	(30)		t/年	0.07	0.05	0.07	0.09	0.11
集団回収(空き缶類)	(151)	(43)		t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28
集団回収(空きびん類)	(152)	(45)		t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30
最終処分量	(153)	(154)		t/年	1,452.08	1,464.83	1,453.82	1,463.75	1,504.64
一般廃棄物最終処分場	(154)	(155)~(158)の合計		t/年	1,452.08	1,464.83	1,453.82	1,463.75	1,504.64
埋立ごみ	(155)	(85)		t/年	42.06	6.47	3.28	8.46	11.47
焼却灰(焼却残渣)	(156)	(114)		t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32
粗大不燃残渣	(157)	(117)		t/年	211.85	208.18	230.35	225.76	261.06
手選別不燃残渣	(158)	(125)		t/年	151.31	145.94	136.98	133.74	117.79
総ごみ量	(159)	(81)		t/年	10,392.08	10,167.67	10,243.81	10,355.91	10,075.83
総ごみ量(集団回収除く)	(160)	(81)-(87)		t/年	10,205.62	9,998.95	10,079.70	10,200.25	9,972.70
総ごみ量(生活系資源ごみ・集団回収除く)	(161)	(81)-(12)-(36)-(87)		t/年	9,413.32	9,208.00	9,310.96	9,430.22	9,193.44
家庭系総ごみ量	(162)	(11)+(33)+(34)+(35)		t/年	6,141.16	5,876.20	6,010.17	6,140.67	6,259.45
1人1日当たりごみ排出量	(163)	(159)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	1,101	1,096	1,120	1,159	1,153
1人1日当たりごみ排出量(集団回収除く)	(164)	(160)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	1,081	1,078	1,102	1,142	1,141
1人1日当たり生活系ごみ排出量	(165)	(3)		g/人・日	754	737	759	791	818
1人1日当たり家庭系ごみ排出量	(166)	(162)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	651	634	657	687	716
1人1日当たり事業系ごみ排出量	(167)	(53)		g/人・日	347	359	361	368	336
資源化率	(168)	(133)÷(159)		%	11.1	11.9	10.9	10.4	10.7
資源化率(集団回収除く)	(169)	((133)-(146))÷(160)		%	9.4	10.4	9.4	9.1	9.8
最終処分率	(170)	(153)÷(159)		%	14.0	14.4	14.2	14.1	14.9
最終処分率(集団回収除く)	(171)	(153)÷(160)		%	14.2	14.6	14.4	14.4	15.1

表6-2-7 目標値設定後の計画ごみ処理・処分量の見通し (2/2)

予測値											記号
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
10,119.55	9,930.37	9,791.90	9,581.79	9,425.36	9,236.70	9,101.85	8,915.23	8,741.77	8,576.00	(88)	
8,429.09	8,188.28	7,984.73	7,736.36	7,515.46	7,285.86	7,089.97	6,855.94	6,636.40	6,426.68	(89)	
8,172.21	7,935.78	7,732.02	7,488.31	7,268.30	7,042.62	6,846.58	6,616.07	6,398.45	6,191.61	(90)	
190.24	183.57	181.48	175.86	171.88	166.91	164.90	158.67	155.78	151.11	(91)	
66.64	68.93	71.23	72.19	75.28	76.33	78.49	81.20	82.17	83.96	(92)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(93)	
786.12	758.52	749.93	726.70	710.24	689.71	681.43	655.66	643.74	624.40	(94)	
248.46	236.34	233.09	228.60	216.83	213.09	209.96	197.99	194.42	189.36	(95)	
429.00	411.98	404.84	387.30	378.83	362.98	356.15	339.05	331.70	316.26	(96)	
108.66	110.20	112.00	110.80	114.58	113.64	115.32	118.62	117.62	118.78	(97)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(98)	
396.70	410.27	424.01	429.73	448.15	454.38	467.23	483.28	489.09	499.75	(99)	
314.40	315.41	317.70	312.75	319.23	314.89	316.95	322.07	317.89	318.49	(100)	
77.89	89.78	100.62	110.72	122.02	132.02	142.23	152.58	162.03	171.55	(101)	
4.41	5.08	5.69	6.26	6.90	7.47	8.05	8.63	9.17	9.71	(102)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(103)	
507.64	573.30	633.23	689.00	751.51	806.75	863.22	920.35	972.54	1,025.17	(104)	
148.74	171.43	192.12	211.41	233.00	252.10	271.60	291.35	309.40	327.59	(105)	
111.64	128.67	144.21	158.69	174.89	189.23	203.86	218.69	232.23	245.89	(106)	
150.02	170.80	189.81	207.43	227.26	244.72	262.62	280.70	297.20	313.85	(107)	
3.11	3.59	4.02	4.42	4.87	5.27	5.69	6.09	6.47	6.85	(108)	
30.65	35.33	39.59	43.57	48.01	51.95	55.97	60.04	63.76	67.51	(109)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(110)	
63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	63.48	(111)	
2,777.81	2,798.38	2,837.20	2,843.42	2,879.39	2,890.72	2,926.49	2,943.71	2,961.47	2,978.36	(112)	
1,087.35	1,056.29	1,030.03	997.99	969.49	939.88	914.61	884.42	856.10	829.04	(113)	
1,087.35	1,056.29	1,030.03	997.99	969.49	939.88	914.61	884.42	856.10	829.04	(114)	
786.12	758.52	749.93	726.70	710.24	689.71	681.43	655.66	643.74	624.40	(115)	
190.24	183.57	181.48	175.86	171.88	166.91	164.90	158.67	155.78	151.11	(116)	
257.85	248.79	245.98	238.36	232.96	226.22	223.51	215.06	211.15	204.80	(117)	
329.38	317.82	314.22	304.49	297.59	288.99	285.52	274.72	269.73	261.62	(118)	
8.65	8.34	8.25	7.99	7.81	7.59	7.50	7.21	7.08	6.87	(119)	
396.70	410.27	424.01	429.73	448.15	454.38	467.23	483.28	489.09	499.75	(120)	
163.84	169.44	175.12	177.48	185.09	187.66	192.97	199.59	201.99	206.40	(121)	
41.65	43.08	44.52	45.12	47.06	47.71	49.06	50.74	51.35	52.47	(122)	
1.59	1.64	1.70	1.72	1.79	1.82	1.87	1.93	1.96	2.00	(123)	
66.64	68.93	71.23	72.19	75.28	76.33	78.49	81.20	82.17	83.96	(124)	
122.98	127.18	131.44	133.22	138.93	140.86	144.84	149.82	151.62	154.92	(125)	
507.64	573.30	633.23	689.00	751.51	806.75	863.22	920.35	972.54	1,025.17	(126)	
154.32	174.29	192.50	209.45	228.45	245.25	262.42	279.80	295.66	311.64	(127)	
131.48	148.48	164.01	178.45	194.64	208.95	223.57	238.37	251.89	265.52	(128)	
176.66	199.51	220.36	239.77	261.53	280.75	300.40	320.28	338.44	356.76	(129)	
2.54	2.87	3.17	3.45	3.76	4.03	4.32	4.60	4.86	5.13	(130)	
36.04	40.70	44.96	48.92	53.36	57.28	61.29	65.34	69.05	72.79	(131)	
6.60	7.45	8.23	8.96	9.77	10.49	11.22	11.96	12.64	13.33	(132)	
1,167.89	1,240.59	1,314.95	1,372.81	1,450.00	1,508.78	1,578.71	1,644.14	1,702.82	1,762.16	(133)	
1,052.75	1,113.62	1,177.04	1,225.80	1,290.85	1,340.52	1,400.14	1,454.54	1,504.65	1,554.53	(134)	
329.38	317.82	314.22	304.49	297.59	288.99	285.52	274.72	269.73	261.62	(135)	
8.65	8.34	8.25	7.99	7.81	7.59	7.50	7.21	7.08	6.87	(136)	
163.84	169.44	175.12	177.48	185.09	187.66	192.97	199.59	201.99	206.40	(137)	
41.65	43.08	44.52	45.12	47.06	47.71	49.06	50.74	51.35	52.47	(138)	
1.59	1.64	1.70	1.72	1.79	1.82	1.87	1.93	1.96	2.00	(139)	
154.32	174.29	192.50	209.45	228.45	245.25	262.42	279.80	295.66	311.64	(140)	
131.48	148.48	164.01	178.45	194.64	208.95	223.57	238.37	251.89	265.52	(141)	
176.66	199.51	220.36	239.77	261.53	280.75	300.40	320.28	338.44	356.76	(142)	
2.54	2.87	3.17	3.45	3.76	4.03	4.32	4.60	4.86	5.13	(143)	
36.04	40.70	44.96	48.92	53.36	57.28	61.29	65.34	69.05	72.79	(144)	
6.60	7.45	8.23	8.96	9.77	10.49	11.22	11.96	12.64	13.33	(145)	
115.14	126.97	137.91	147.01	159.15	168.26	178.57	189.60	198.17	207.63	(146)	
44.21	50.96	57.11	62.85	69.26	74.94	80.74	86.60	91.97	97.38	(147)	
6.44	7.42	8.31	9.14	10.08	10.90	11.75	12.61	13.39	14.17	(148)	
23.06	26.58	29.79	32.78	36.13	39.09	42.11	45.17	47.97	50.79	(149)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(150)	
36.02	36.52	37.12	36.73	37.98	37.67	38.22	39.32	38.99	39.37	(151)	
5.41	5.49	5.58	5.51	5.70	5.66	5.75	5.90	5.85	5.92	(152)	
1,479.22	1,442.98	1,417.90	1,379.69	1,351.19	1,316.48	1,292.22	1,258.23	1,227.52	1,197.13	(153)	
1,479.22	1,442.98	1,417.90	1,379.69	1,351.19	1,316.48	1,292.22	1,258.23	1,227.52	1,197.13	(154)	
11.04	10.72	10.45	10.12	9.81	9.52	9.26	8.93	8.65	8.37	(155)	
1,087.35	1,056.29	1,030.03	997.99	969.49	939.88	914.61	884.42	856.10	829.04	(156)	
257.85	248.79	245.98	238.36	232.96	226.22	223.51	215.06	211.15	204.80	(157)	
122.98	127.18	131.44	133.22	138.93	140.86	144.84	149.82	151.62	154.92	(158)	
9,926.14	9,752.96	9,625.06	9,428.48	9,284.88	9,109.06	8,984.21	8,811.91	8,648.75	8,495.14	(159)	
9,811.00	9,625.99	9,487.15	9,281.47	9,125.73	8,940.80	8,805.64	8,622.31	8,450.58	8,287.51	(160)	
8,946.53	8,677.90	8,461.50	8,192.79	7,950.08	7,701.90	7,493.74	7,231.33	7,000.21	6,770.34	(161)	
6,085.72	5,908.54	5,757.93	5,577.53	5,406.39	5,245.62	5,100.71	4,921.89	4,766.96	4,612.33	(162)	
1.145	1.134	1.125	1.114	1.104	1.094	1.085	1.076	1.065	1.055	(163)	
1.132	1.119	1.109	1.097	1.087	1.074	1.063	1.053	1.041	1.029	(164)	
815	812	809	805	803	799	796	794	790	787	(165)	
792	687	673	659	644	630	616	601	587	573	(166)	
330	322	316	309	303	295	289	282	275	268	(167)	
11.8	12.7	13.7	14.6	15.6	16.6	17.6	18.7	19.7	20.7	(168)	
10.7	11.6	12.4	13.2	14.1	15.0	15.9	16.9	17.8	18.8	(169)	
14.9	14.8	14.7	14.6	14.6	14.5	14.4	14.3	14.2	14.1	(170)	
15.1	15.0	14.9	14.9	14.8	14.7	14.7	14.6	14.5	14.4	(171)	

第7章 ごみ処理基本計画

第1節 基本方針

1. 基本方針

前章までにおいて、本市における収集運搬、減量化、資源化、中間処理、最終処分に係る課題が明らかとなった。

また、国や県が定める目標値を踏まえた数値目標を設定した。

これらを踏まえて、以下に示す事項を本計画の基本方針とする。

【ごみ処理の基本方針】

- ①地域の循環型社会構築に向けて、ごみ量の削減・資源化率の向上を目指す。
- ②広域ごみ焼却施設の稼働を見据えた、ごみ焼却施設の適正な維持管理を図る。
- ③埋立終了した栗日影沢最終処分場の廃止に向けた手続きを行う。

2. 目標値

ごみ処理に関する目標値は前章で定めたとおりであり、当該目標値を達成するために、次節以降の計画に基づいて様々な施策を講じることとする。

【目標値（令和12年度）】（再掲）

ごみ排出原単位	:	家庭系ごみ 573 g/人・日以下
	:	事業系ごみ 268 g/人・日以下
資源化率	:	20.6%以上
最終処分量	:	1,200 t 以下

第2節 排出抑制・再資源化計画

ごみの排出抑制・再資源化を進めていくためには、本市と住民の役割を明確にし、連携協力して取り組む必要がある。

1. 本市の役割

1) 家庭系ごみ有料化をはじめとした排出量削減策の検討

本市の人口1人1日当たりのごみ総排出量は1,000g/人・日を超えていることから、これを削減することを目指していく。

家庭系ごみの有料化は排出量削減策として有効な方法の一つであるが、住民に対して経済的負担を強いることになること、また、ごみ処理広域化へ向けた議論もあることから、県内外の自治体における動向を見極めながら慎重に検討する必要がある。

2) 分別収集区分の拡大について

現在は資源ごみとして11種類（空き缶類、空きびん類、ペットボトル、トレイ類、新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、雑紙、シュレッダー紙、古布）を分別収集している。一方、令和4年4月より「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されることから、プラスチック資源について、分別排出・分別収集を検討しなければならないが、分別収集区分の追加は住民の手間を増やすことになるため、分別区分を拡大する際は住民に対して十分な説明を行う必要がある。

3) 事業系ごみの排出量削減の推進について

事業者に対し、ごみ分別の徹底及び紙等の分別した資源ごみを事業者独自でリサイクル事業者へ引き渡す等の啓発を行うことにより、ごみ排出量の削減を促す必要がある。

2. 住民の役割

1) 分別収集区分の遵守

資源化率の向上のため、本市が定めた分別収集区分を遵守する。

また、プラスチックの分別排出・分別収集が実施された際は、本市が新たに配布する「ごみの正しい分け方・出し方」を参照しながら分別排出を行うものとする。

2) 集団回収の継続

本市では、古紙類、缶類及びびん類を対象とした集団回収を実施している。

集団回収は、ごみの資源化だけでなく、地域コミュニティの育成にも役立つものであることから、今後も積極的に継続実施していくものとする。

第3節 中間処理計画

1. ごみ焼却施設の適正な維持管理

本市を含む県央ブロックの構成自治体は、令和14年度以降に新たな広域ごみ焼却施設の稼働開始を目指して検討を進めており、当該年度まで既存のごみ焼却施設を活用し適正に処理しなければならない。

そのため、平成29年度及び平成30年度において基幹的設備改良工事を実施したが、施設全体としては、令和4年度で稼働から25年目を迎えるため、基幹的設備改良工事を実施しなかった部分を中心に、性能の低下、不具合や故障に対する配慮が必要である。

こうした背景を踏まえ、本市では、新たな広域ごみ焼却施設が稼働するまでの間、本市清掃センターごみ焼却施設について、適正な維持管理が必要である。

第4節 最終処分計画

1. 栗日影沢最終処分場の廃止

栗日影沢最終処分場は既に埋立を終了しており、埋立終了後も原水、放流水（生活環境保全関連・有害物質関連）及び地下水の水質や発生ガス量等の測定を継続して行っている。

廃止手続きが完了するまではこれらの測定を継続する必要があるため、測定には費用が掛かるため、廃止することが望ましいことから、今後は廃止に向けた手続きを進めていくものとする。

2. 一般廃棄物最終処分場の適正管理と残余容量（残余年数）把握

埋立中である一般廃棄物最終処分場は、技術上の基準を遵守しつつ適正に管理していくものとする。

また、令和3年11月の測量実施時において埋立残余容量は14,102 m³となっており、残余年数は11年1か月となっている。

「最終処分場残余容量算定マニュアル」に基づき、年1回の測量調査を継続実施し、常に最新の残余容量を把握していく。